

令和5年7月臨時教育委員会会議

1. 日 時

令和5年7月26日（水）午前10時00分～午後3時30分

2. 場 所

河内長野市役所8階 802会議室

3. 出席委員

松本教育長、藤本教育長職務代理者、嘉名委員、田中委員、大矢委員

4. 会議録署名委員

松本教育長、藤本教育長職務代理者、大矢委員

5. 事務局出席者

（1）事務局

尾西教育推進部長兼教育総務課長、小川生涯学習部長、安田教育推進部理事、篠崎教育指導課長、小池参事、森口教育指導課主幹、片岡教育指導課主幹、川畑教育指導課主幹、小林教育指導課主幹、墨村教育指導課主幹、門脇教育指導課主幹、松村教育総務課長補佐、早川教育総務課主幹

（2）その他

河内長野市立小学校教科用図書選定委員会

河内長野市立中学校教科用図書選定委員会

北野選定委員、田中選定委員、小滝選定委員、川崎選定委員、吉岡選定委員

6. 会議要録

開 会

松本教育長

ただいまより教育委員会会議を開催することといたします。

それでは、出席委員が定足数に達しておりますので、令和5年7月臨時

教育委員会会議を開会いたします。

(1) 署名委員の指名

松本教育長

今回の会議録の署名は、私のほかに藤本教育長職務代理者と大矢委員にお願いします。

藤本教育長職務代理者、大矢委員

了解しました。

(2) 議事（要旨）

松本教育長

それでは本日の案件に入ります。

それでは、議案第19号「学校教育法附則第9条に規定にする一般図書の給付について」、事務局より説明を求めます。

篠崎教育指導課長

議案第19号「学校教育法附則第9条に規定にする一般図書の給付について」ご説明いたします。

議案書は1ページ、議案説明資料も1ページをご覧ください。

まず、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条6項」に基づきまして、教科書等の取扱いの権限が教育委員会に有しておりますことから、教育委員会会議においてご承認賜るものでございます。

議案につきまして、学校教育法第34条及び第49条により、小学校及び中学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書を使用しなければならないとありますものの、支援学級においては、学校教育法附則第9条により、検定教科書以外の一般図書を採択することが可能となっております。もし、検定教科書に代わる附則第9条による一般図書を採択することになった場合は、一般図書が支援学級に在籍する個々の子どもの教育指導計画に沿った教科用図書として適切かどうかを慎重に判断する必要があります。

また、検定教科書と附則第9条によって採択した一般図書の両方は給付できないことから、採択権のある市教育委員会はどちらか一方しか採択ができ

ません。

そして、保護者からの「みんなと同じ教科書を給付して欲しい」という願いもあり、教育委員会としましては、現在、検定教科書を配布した上で、学校に割り当てられている図書購入の予算を活用して、各学校において、子ども達に有用な一般図書を購入する方法をとっております。

このことから、令和6年度につきましても、従来通り、拡大教科書を除き、学校教育法附則第9条の規定による一般図書の給付は行わず、当該学年用の検定教科書を給付する旨、議決を求めるものございます。

説明は以上です。ご審議のうえ、ご承認賜りますようよろしくお願いいたします。

松本教育長

ただ今、事務局より説明がありましたが。ご異議ございませんでしょうか。

教育委員全員

異議なし。

松本教育長

それでは、議案第19号「学校教育法附則第9条に規定にする一般図書の給付について」は承認いたします。

続いて、議案第20号「令和6年度使用中学校教科用図書の採択について」、事務局より説明を求めます。

篠崎教育指導課長

それでは、議案第20号「令和6年度使用中学校教科用図書の採択について」ご説明いたします。

議案書は2ページから3ページを、議案説明資料は2ページをご覧ください。

中学校の令和6年度使用教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第15条第1項の規定及び、令和5年4月3日付け教小中第1057号大阪府教育委員会教育長通知（「教科書採択における公正確保の徹底等について」及び「令和6年度使用

教科書の採択事務処理について」)に基づき、令和２年度に採択した教科書と同一である、議案書４ページにお示しいたします令和６年度使用中学校教科用図書一覧のとおり採択する旨、議決を求めるものでございます。

説明は以上です。ご審議のうえ、ご承認賜りますようお願いいたします。

松本教育長

ただ今、事務局より説明がありましたが。ご異議ございませんでしょうか。

教育委員全員

異議なし。

松本教育長

それでは、議案第２０号「令和６年度使用中学校教科用図書の採択について」は承認いたします。

続いて、議案第２１号「令和６年度使用小学校教科用図書の採択について」、事務局より説明を求めます。

篠崎教育指導課長

それでは議案第２１号「令和６年度使用小学校教科用図書の採択について」ご説明いたします。

議案書は４ページを、議案説明資料は３ページをご覧ください。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第１４条及び同法施行令第１５条第１項及び、令和５年４月３日付け教小中第１０５７号大阪府教育委員会教育長通知（「教科書採択における公正確保の徹底等について」及び「令和６年度使用教科書の採択事務処理について」）に基づき、令和６年度使用小学校教科用図書につきましては、「小学校教科用図書目録（令和６年度使用）」に搭載されているもののうちから採択するものとされています。

適正な採択をはかるため、令和５年５月１１日付けで、河内長野市立小学校教科用図書選定委員会に対し諮問を行いましたところ、令和５年７月２１日付けで同委員会より教育長に答申が手渡されました。教育委員の皆様のお手元には、教育長を通じて、すでに答申および答申資料を配布させていただいております。

本答申は、令和6年度使用教科用図書選定の観点に基づき「目標の取扱いに関すること」「内容の取扱いおよび程度に関すること」「学習と指導に対する配慮および創意工夫に関すること」「組織・配列に関すること」「補充・発展的な学習に関すること」の5つの観点で、調査研究され、とりまとめられたものです。

なお、今回の検定教科書につきましては、どの発行者も、二次元コードを多用に紙面に配置し、学びを支援する様々なデジタルコンテンツへの活用を促しております。このことに関する特長につきましては、答申の中にも触れられております。しかしながら、デジタルコンテンツは、教科書とは別の媒体であり、教科書発行者がインターネット上に公開している、デジタル教材です。二次元コードでWEBサイトへアクセスすれば利用は容易にできますが、インターネット環境下であれば、教科書を介さなくても、そのコンテンツの視聴や利用することが可能となっていますことを申し添えます。

では、この後、選定委員より各種目の答申について報告をいたします。答申および選定委員の報告も踏まえ、令和6年度使用小学校教科用図書の採択につきまして、ご審議のうえ採決賜りますよう、よろしくお願いいたします。

松本教育長

それでは、あらためまして、選定委員長をはじめ選定委員会委員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

委員の皆様もご存じのとおり、令和元年度に、現行の「学習指導要領」に基づいて、著作・編成された、教科書の採択が行われました。

ある年限が経過いたしますと、社会的な変化があることによる、学術的な変更などもあり、法律によって、4年ごとに教科書採択を行うこととなっておりますことから、今回採択を行っていただくものです。

基本的には、「学習指導要領」自体は変更されておきませんので、それに基づいて、各社が作成されたものですから、大きく変わっていることはなかったかと思います。

ただ、表現の方法、絵や図を変更、そして、この間、「1人1台学習者用端末」が整備されましたことが踏まえられ、前回よりも、二次元コード（いわゆるQRコード）が貼り付いていること、などの変更などが、されていると思いました。加えて、二次元コードに関しては、委員の皆様も事前にご覧

になられていると思いますが、その内容に関しては、先ほど事務局から説明のあった通りですので、審議に特段の扱いは行わないものと考えておりますので、委員の皆様も、この点について、よろしくお願いいたします。

なお、現行の「学習指導要領」は、「知識・技能」とともに、「思考力・判断力・表現力」や「主体的に学習に取り組む態度」などを育成するために、学習する内容に加えて、学習の仕方、授業展開の方法にも言及されています。

そのことをくみ取った教科書になっていると思います。

また、教科によっては、暗記教科といわれてきたものもあり、「教科書を教える」つまり、教科書に記載された内容を覚えるという意識がどうしてもあります。そうではなく、今は、「教科書で教える」と言われる時代となりました。実際には、教科書の「資料」を基に考えさせる教科書を参考にするなどの使い方にシフトを変えなければならず、その観点で教科書を見なければならないということでもあります。

なお、毎回のことなのですが、「目標の取扱いに関すること」、「内容の取扱いおよび程度に関すること」、「学習と指導に対する配慮および創意工夫に関すること」、「組織・配列に関すること」「補充・発展的な学習に関すること」の5つの観点で、調査委員会が、その特長的なことを整理したものをもとに、選定委員からの報告を参考にさせていただいて、河内長野市の子どもたちに、最も適していると考えられるものを、選んでいただきたいと思います。

加えまして、今回は、それぞれ教育委員の皆様が教科用図書や資料をご覧になって、そして、本日、報告説明を受けてのお考えを発言いただき、その中で、当初のお考えも変わられるかと思しますので、ある程度のご発言をいただきました後で、一つに絞っていただきたいと思います。

教科の意見の進み具合により、必要ないかもしれませんが、念のため、各委員が、これだというものを、別紙の投票用紙に、ご記入いただき、数の多い「教科用図書」を採択することといたします。

最後に、近隣の自治体で、教科書採択の公正確保に、疑義が生じる事案が発生いたしました。

今までも、そうでありましたが、これを機会に、さらに公正性を第一にして、あらゆる働き掛けに影響されることなく、採択権者の判断と責任により、採択を行わなければなりません。再度、ここで確認をし、審議に入りたいと思います。

松本教育長

それでは、図画工作の審議を行います。選定委員から図画工作について報告してください。

北野選定委員

図画工作の選定報告をいたします。

選定の対象は、【開隆堂出版】【日本文教出版】の2者となります。

項目Aの(2)について、【日文】では、5・6年下38ページから41ページのように、日本各地で昔から受けつがれてきた形や色、イメージなどに着目した写真を見比べながら、共通点や違い、特徴などを見つけられるよう工夫されています。

項目Bの(3)について、【日文】では、5・6年上68ページのように、高学年では、フェルメールやモネなどの作品や現代アートなど、幅広い地域と時代の作品をミニ・アートカードにして紹介されており、児童の興味・関心を高めるとともに、カードを使って様々な活動ができるよう工夫されています。

項目Cの(1)について、【開隆堂】では、3・4年下16、17ページのように「ぞうけいあそび」で、協働して製作する教材が設定されていて、互いの表現を大切にしながらまとめていくよう工夫されています。【日文】では、5・6年上16、17ページのように「消してかく」という教材において、「色を塗る」ではなく、「塗った色を消す」という逆の発想で作品を生み出すという楽しさから創作意欲が高まるよう工夫されています。

項目Dの(2)について、【開隆堂】では、1・2年下5ページから7ページなどの見開きで單元ごとの作品の写真や作品作りに取り組んでいる写真が紹介されており、見通しを持って学習を進められるよう工夫されています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございません

か。

藤本教育長職務代理者

私からいいですか。【日文】の5・6年上の68ページを見てもらえますか。選定委員からも報告がありましたが、世界的に有名な作家の作品や現代アートなど、多くの作品がミニ・アートカードになっており、図工の学習に関心が向くと思いますね。

大矢委員

私もそのページはおもしろいと思いました。このカードを使っているいろんなことができるんじゃないでしょうか。例えば、自分自身でテーマを決めて、ミニ・アートカードを並べて、オリジナルの美術館を作ったりできるんですよね。これなら、どの子も積極的に取り組めるのではないのでしょうか。

松本教育長

そうですね。作品の鑑賞をするにしても、このようにカード化していると、今の子どもはこういったカード化したものをうまく使いますからね。自分だけの美術展というのはおもしろいのではないしょうか。

他にご意見はございませんか。

田中明文委員

私から1ついいですか。【開隆堂】の裏表紙をみてください。どの学年でも、自分のマークを描けるようになっています。これは子どもたちの心をくすぐるおもしろい仕掛けだと思います。いわゆるアイコンってやつですか。

藤本教育長職務代理者

たしかに。自分のマークを考えるというのは、図工に関心が向くしかけですよね。私ももう1つ。裏表紙では、【日文】をみてください。「つながる図工」と題して、図工の学びを生活や世の中へつなげるような事例が示されていて、こちら興味深いと思います。

松本教育長

なるほど、2者とも工夫されているというところですか。

他にご意見はありませんか。

嘉名委員

いいですか。選定委員答申の【日文】の観点B(3)で、「事故防止に留意する資料が発達段階に応じて取り扱われている」とありますが、図工は、道具をよく使いますので、事故やケガの防止は大切なポイントだと思います。この点で両者の取り扱いはどうなっているか、選定委員にお聞きしてよろしいですか。

松本教育長

選定委員の方、お願いします。

北野選定委員

はい。様々な道具の使い方が示されていますが、ここでは彫刻刀を例に出して説明します。彫刻刀を使う場合、彫刻刀を持たない手も、刃（は）に添えて彫り進めることが事故を防ぐために大切です。しかし、子どもたちは彫る箇所に集中してしまい、ついつい刃（は）の進む方向に、添え手をもっていってしまうことがあります。そうすると、刃（は）がすべってしまった時に、添え手に彫刻刀があたり、指を傷つけるような事故が起こることになります。そのため正しい彫刻刀の持ち方、彫り方を学ぶことはとても大切であり、その点においては、両者ともに取り扱われています。【開隆堂】の3・4年下59ページをご覧ください。中段に持ち方や彫り方が示してあり、右下の安全のところで「刃（は）の前に手を出さない」と注意書きがあります。次に【日文】の3・4年下62ページをご覧ください。左側に準備の写真がありますが、これが児童の視点に立ったものとなっています。つまり手前から奥に彫り進める写真になっています。また、添え手の注意書きについても右下に書かれています。

このように、文章とともにわかりやすいようにイラストも用いて示されています。

嘉名委員

ありがとうございます。なるほど、両者ともに、しっかり注意がされているということですね。しかし、写真の向きに違いがあるというのはおもしろいですね。確かに、苦手な児童にとっては、【日文】にあるような自分から見た視点の方が分かりやすいでしょうね。よく理解できました。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

大矢委員

私から1ついいでしょうか。選定委員からも報告がありましたが、【日文】のCの(1)に「消してかく」という活動がありますよね。私も非常にユニークな題材と感じたのですが、一度5・6年上16ページを見てもらえますか。図工というのは一般的に描いたり、作ったりしてどんどん形作られていくものというイメージがあると思うのですが、この活動は黒く塗ったものを、塗るとは逆の「消す」作業をすることで形作られていくんですよね。これはまさに逆転の発想であり、創造力を育むとてもおもしろい教材と考えます。

嘉名委員

写真をみたら作業の様子がよくわかりますが、子どもたちはわくわくしながら、手や消しゴムを真っ黒にして、無心で創作するんでしょうね。これがきっと、創造するということなのでしょうね。学校での様子がイメージできる教材ですね。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

松本教育長

それでは、図工について採択いたします。
本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【日文】が4票、【開隆堂】が1票。

図画工作は【日文】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

松本教育長

続きまして英語の審議を行います。選定委員から英語について報告してください。

北野選定委員

英語の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東京書籍】【開隆堂出版】【三省堂】【教育出版】【光村図書出版】【啓林館】の6者となります。

項目Bの(1)について、【開隆堂】では、6年生75ページのように、英語でお互いのことを伝え合う活動が設定されています。

項目Bの(2)については、【開隆堂】では、6年84ページのように、「Around the World」や「Our World」で、様々な視点から国際理解が深められるように工夫されています。

項目Cの(3)について、【光村】では、5年生18,19ページのように、UnitのStepのページでスモールステップの活動が組み入れ、英語の知識・技能を着実に身に付けることができるよう配置されています。

項目D(2)について、【啓林館】では、各学年108ページから129ページのように、「Word list」では、単語だけでなく、Unit番号や二次元バーコードも併せて記載して、学習を効果的に進められるよう工夫されています。

項目Eの(2)について、【開隆堂】では、5年生60ページのように、「Let's Play.」では、アクティビティの進め方が示されており、活動のルールを理解し安心して取り組めるよう工夫されています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

大矢委員

はい。私は、自分が中学校からしか英語を学んでいなかったもので、今の子ども、自分の子どもを見ても、小学校から英語を学べるのはうらやましいと思う反面、大変だなとも思ってしまいます。だから、英語を勉強するときに、少しでも次に何をしていくかというような、見通しが持てればいいのではないかなと思っていました。そういう点で教科書を見ていると、【開隆堂】が工夫されているなと思いました。【開隆堂】の6年51ページを見て下さい。ページの端に、今は全8時間のうちの何時間目の活動を行っているのかが分かるようになっていきます。これなら見通しを持って学べるのではないのでしょうか。

藤本教育長職務代理者

私は、英語を教えているという点で見えていましたが、大矢委員のお話しされた特長と合わせて感想があります。例えば【開隆堂】の6年61ページです。GOALの姿を単元のはじめに示しています。そして、達成するためのスモールステップでの活動目標が示されているのがいいと思いました。ゴールまでの見通しを持ちながら、一つひとつ積み重ねていくことで、子どもたちは意欲を持って学びに向かうのではないかと思います。この見通しを持つという点で、【開隆堂】はいいと思いました。

松本教育長

大矢委員と藤本委員の視点はよく分かりました。
では、他の観点でご意見をいただきたいと思います。どうでしょうか。

田中明文委員

はい。英語の授業では、児童が英語を使って考えや気持ちを話したり伝え

合ったりする活動は欠かせないものですよ。そのような活動を通して、コミュニケーションを図る力を育てることが指導要領の目標にも挙げられています。その点では、この6者に共通して取り上げられているように思います。コミュニケーションを行う場面について、選定委員で何か話題になりましたか。

北野選定委員

はい。【開隆堂】の5年57ページ。右上にありますActivity3のイラストをご覧ください。そのイラストの右下にあります「Let's say it.」のように、会話がより楽しめるような表現が取り上げられています。また、6年18、19ページのように、教科書の多くのページに英語を使用してお互いの事を知るためのペアやグループで伝え合う活動があります。他には、【啓林館】の6年29ページ。Activityとありますように、友だちとのやりとりから気づきを促す場面が多く設定されています。

田中明文委員

なるほど、意見も出されていたということですね。わかりました。今、ご説明いただいたところでは、たしかに【開隆堂】の教科書をめくってみると、伝え合う活動がどのページにもあることが分かりますね。

河内長野市では、昔から担任の先生だけでなく、外国人のネイティブの先生が英語の授業を行っていました。ですので、英語の授業は対話することが多いので、楽しみながら学ぶことで、コミュニケーション能力をしっかりとつけ、社会に出た時に臆せず、誰とでも進んでコミュニケーションをとろうとするような、態度を身に付けてもらいたいですね。

大矢委員

もう1度いいですか。田中委員のおっしゃっていることよく分かります。私は報告にもあった【開隆堂】5年10ページの「授業で使える20の表現」がいいと思いました。たった20ほどの表現なのですが、結構いろいろな場面で使えるように思います。これを身に付けることができれば、中学校の英語の授業でも使えると思います。もっと言うと、授業だけでなく、これから

の生活の場面でも覚えておくの良いフレーズじゃないでしょうか。

藤本教育長職務代理者

その通りだと思いますね。この教科書は、その点で特長があると思いますよ。

松本教育長

では、その活動が児童の実態に応じて適切であるか、また、学習内容を児童が身につけられたかを確認するための評価については、いかがでしょうか。選定委員にお聞きしても、いいですか。

北野選定委員

はい。少々お待ちください。その点では【開隆堂】5年93ページをご覧ください。このように指導と評価の一体化を図るため、記録に残す評価を行う場面が各単元に明示されており、計画的な指導に活かしやすいよう工夫されています。

田中明文委員

英語の授業はとくに活動を多く取り入れていますよね。どのようなポイントで評価しているのかがマークで示されていると、児童自身で自己評価できるので、成長の確認がしやすくなります。また、先生にとっても児童の学習進度や理解度を適切に把握し、個に応じた指導ができると思います。

嘉名委員

なるほど。私は評価という点においては、【開隆堂】5年128ページです。CAN-DO チェックとして表に示しているのが良いと思いました。この表を見ると、それぞれの単元で4技能のどんな力をつけるのかが簡単に分かります。それに、この表に記述して残しておけるのも、児童自身の成長や次につなげるために頑張ろうと思っているところも、ひと目で分かるようになっているのが良いと思います。

松本教育長

選定委員と委員のみなさん、おっしゃっていただいたような点では、達成感を実感させることで、英語への意欲を上げようとしているということです。その点で、【開隆堂】は工夫されていると分かりました。

嘉名委員

少し評価という観点からそれるのかもしれませんが、【開隆堂】の6年80ページを見てください。年3回の「Let's Check」というコーナーがあります。それまでに学習した基礎的な力が身に付いているかペーパーテスト形式で確認したり、83ページのようにパフォーマンステストで応用力を確認したりすることができます。これまで学んだことを結び付けて考えることが出来ているかを確認する。これは、中学校でより難しいことを学び、結び付けて学んでいくことにつながり、とても効果があるのではないかと私は感じました。

松本教育長

それでは、英語について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【開隆堂】が5票。

英語は【開隆堂】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

松本教育長

引き続きまして、音楽の審議を行います。選定委員から音楽について報告してください。

田中一弘選定委員

音楽の選定をいたします。選定の対象は、【教育芸術社】【教育出版】の2

者となります。では、各調査の観点ごとに、特に特長のある内容について報告いたします。

項目Bの（１）について、【教芸】の６年P35のように、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動を進めるために、キャラクターのセリフによるヒントが示されています。

項目Cの（１）について、【教出】では、４年P26,50のように「音のスケッチ」で音楽を作る学習を取り入れており、表現力を身に付けられるよう工夫されています。同じく、【教芸】では、２年P14～19のように２拍子や３拍子を手合わせなどで楽しく体感しながら学べるよう工夫されています。

項目Cの（２）について、【教芸】では、６年P22,23のように「音楽づくり」をする際に、音符やリズムを選択することで曲が作れるよう工夫されており、体験的な学習方法を支援する工夫がされています。

項目Cの（３）について、【教出】では、５年P78のように『音楽のもと』まとめで音楽を形づくっている要素をイラストで視覚的に捉えられるよう工夫されています。【教芸】でも、３年P9のように「そだてよう」で、教材と関連させながら、スモールステップの活動を積み重ねることで、音楽の力を育てることができるよう工夫されています。

項目Dの（１）について、【教出】では、３年P40の「ふじ山」のように、風景の写真を折り込みで掲載し、情景をイメージしながら歌えるよう工夫されています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

田中明文委員

私から一つ質問をします。現行の学習指導要領では、育成すべき３つの資質能力が示されております。思考力・判断力・表現力の育成の観点で、選定委員にお聞きしたいのですが、よろしいでしょうか。特に音楽という技能教科といいますか、こういう分野は子どもたちに３つの力を付けていくのは難

しいと思います。そこで例えば、音楽の表現活動とか、鑑賞活動とかで、思考・判断・表現にあたる部分で何か配慮されている工夫はありますか。

松本教育長

では、選定委員、よろしくお願いします。

田中一弘選定委員

答申にもありますように、【教出】6年18ページでは、まなびナビの「学び合う音楽」というコーナーがあり、思考から表現までの学びの進め方が段階的に示されています。【教芸】は、4年13ページのように、題材ごとに「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」等のアイコンを添えて学習のポイントが示されています。これは、学習のめあてがつかみやすく、「思考・判断・表現」の観点を意識しながら表現活動や鑑賞活動の学習を進められる工夫がされています。

田中明文委員

なるほど、ありがとうございます。題材ごとに学習のポイントが示されていると、見通しをもって学習活動をすすめることができるということですね。「何を学ぶか」とか「どのように学ぶか」や「何ができるようになるか」が明確になると、この活動で身に付けることが分かり、子どもにとっては励みになりますね。まずは子どもが主体的に学ぶということが大事ですね。そのうえで、思考・判断・表現の力を付けていくことが期待できるということですね。

松本教育長

よろしいでしょうか。では、他にありますか。

嘉名委員

意見を1ついいですか。今、おっしゃった主体的な取組みといえば、【教芸】6年23ページの「音楽づくり」をご覧ください。音符やリズムを選択することで曲を簡単に作ることができるといった、体験的な学習方法を支援する工

夫がされています。ワークシートが用意されて、書き込みやすい配慮がされていると思いました。

もう1つ、【教芸】の、1年生38ページの鍵盤ハーモニカの学習ですね。ドとソの位置を習ってから、「ドレミ」を習い、「ドレミファソ」までの音階をスモールステップといいますか、段階的に習うようにしています。

もう1ついいですか。4年41ページを見てください。私は、このページがよく工夫されていて感心しました。リコーダーのサミングなんですけど、1ページを使って、指づかいのポイントを大きく写真で、見て分かりやすく扱っています。自分が子どものころ、これは難しかったなと感じていたのです。たくさん言いましたが、全体を通して、音楽が苦手な子にもわかりやすくつくられているように感じました。

松本教育長

私も同感で、小学校の校長をしていた時は、音楽を教えている教員から、このリコーダーの指導が難しいと言っていたことを、この教科書を見て思い出しました。この工夫はいいと思いますよ。他にご意見はございませんか。

藤本教育長職務代理者

私も意見を。【教芸】の、6年33ページです。どんな感じがしたかを自由に書く「感じたこと」とか、聞き取ったことや体の動きから気づいたことを書く「気付いたこと」のようにですね、書きこむ枠があって、いろいろな活動ができる工夫がしていると思います。音楽は、ついつい歌うとか演奏するとかに目が行きがちですが、学んだり感じたりしたことを言葉にして書き表すことも大事だと思うんです。

田中明文委員

私も同じです。今の学習指導要領は言語活動を重視しているのです。まさに、こういう活動を音楽でもやっていく必要がありますね。観点を絞って書き込みが出来る枠があると、子どもにとっては考えを整理することができていいと思いますよ。

ついでに、【教芸】の4年63ページでは、発言の例が吹き出しで表わされ

ています。これは、対話的な学びと言われる言語活動を促すためには、とても効果的であると思います。

松本教育長

なるほど。委員の皆様もよく見て頂いていますね。他にご意見はございませんか。

嘉名委員

答申にもありますが、【教出】の2年70,71ページでは「ショートタイムラーニング」というものがあります。「みんなで九九」や英語の歌なんかがあって、他の教科と関連しています。

【教芸】でも、4年28,29ページです。地域に伝わる音楽が都道府県別にあります。社会科と関連して学習できるのは、おもしろい工夫だと思いました。

大矢委員

今のお話の中で、地域に伝わる音楽とありました。【教芸】は、多分全部の学年の裏表紙に地域の文化と、地域の芸能についてのコーナーがあると思います。

河内長野市は、学校と家庭と地域が一緒になって子どもたちを育てていくことに取り組んでいますよね。子どもたちが、地域の行事に参加して、地域と共に育っていくというのは、とても重要だと思います。こういう内容は、全国の文化や芸能について知る機会にもなって、とても工夫されていると思いました。

松本教育長

他にご意見はございませんか。ないようですね。それでは、音楽について採択いたします。本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【教芸】が5票。音楽は【教芸】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

松本教育長

それでは、社会の審議を行います。選定委員から社会について報告してください。

田中一弘選定委員

社会の選定報告をいたします。

選定対象は、【東京書籍】【教育出版】【日本文教出版】の3者となります。

項目Bの（1）について、【東書】では、5年生下62ページ等で、単元の中で自分の考えを書き込むことができるページが随所に取り扱われています。

項目Bの（2）について、【日文】では、5年119ページ等で、グラフについて、色のみで表現せず、グラフの中に柄をつけたり、線種を変えたりして見やすいよう配慮されています。

項目Bの（3）について、【日文】では、4年生の100ページからの「地震による災害」の学習で、身近な場所で起こった阪神・淡路大震災の復興に関する内容が取り扱われています。

項目Cの（1）について、【東書】では、6年歴史編91ページ等で、各見開きごとに、「まなびのポイント」を設け、学習段階に応じた学習活動を例示し、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されています。

項目Cの（3）について、【教出】では、4年216ページのように、当該学年で学習したキーワードにチェックを入れる欄があり、既習事項の中で特に重要な言葉について確かめることができる工夫がされています。

項目Dの（2）について、【東書】では、5年上5ページ等で、「5年生で学ぶこと」が設定されており、児童が事前に見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。特に、特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

田中明文委員

では、私からいいですか。【東書】6年歴史編100ページを見ていただけますか。ここでは日本遺産について扱っています。これに関連させると、本市の日本遺産についての学習を行うことができると思います。私は教諭の頃は社会を専門に研究していましたから、社会は、まず子どもの身近な地域から、市、府、日本、世界、そして歴史と広がっていくんですね。そういう点でも、改めて身近な日本遺産にふれると、より身につくんですね。

藤本教育長職務代理者

私も田中委員の意見に同感です。本市の日本遺産を関連させた学習を通して、本市の魅力を再確認することで、ふるさとや郷土への愛着が育まれるといいですね。

松本教育長

本市の良さを再確認するという点では、私もいいと思います。他にご意見ありませんか。

大矢委員

私からもいいですか。【日文】4年100ページをご覧くださいませか。選定委員からの報告でもありましたが、ここでは、阪神・淡路大震災の復興について取り上げられています。

子どもたちが住んでいる身近な地域で大きな被害がでた阪神・淡路大震災を学習することは、震災を風化させないためにも、それから、自然災害の備えや知識を学んで、防災意識を高めるうえでも非常に大切なことだと思います。

松本教育長

先程も選定委員から説明があったところですね。なるほど。他にありませんか。

嘉名委員

私からいいですか。【東書】の5年上5ページを見ていただけますか。【日文】の5年の表紙もめくっていただけますか。ここでは、その学年で学ぶことが示されています。授業でも見通しをもって取り組むことが大切だと言われています。

その点では、中学校への見通しも大切だと思います。これ以外に、特長のある部分について選定委員から説明をお願いします。

田中一弘選定委員

はい。【東書】は6年政治・国際編110ページ、111ページ、【教出】は6年291ページ、【日文】は6年278ページをご覧ください。それぞれ、中学校の学習について、触れられていますが、内容としては、【東書】が最も取り扱われています。

嘉名委員

わかりました。3者とも中学校への見通しの記載はあるということですね。その中でも特長的なのが【東書】だということですね。

松本教育長

ありがとうございます。その他ご意見いかがでしょうか。

大矢委員

私からもいいですか。【東書】だけが、5・6年生の教科書が分冊になっていますよね。今の時代、タブレットパソコンを家に持って帰る機会も多いです。子どもたちの負担を軽減するという点でこれは非常に良いと思いますね。

松本教育長

社会科では、習得した知識を定着させるとともに、学習したことや調べたことをまとめて表現することも大切だと考えます。各校をまわっていても、歴史新聞などが教室に掲示されているのも見かけます。例えば「まとめる」や「表現する」活動については3者で違いはありましたか。選定委員お願いします。

田中一弘選定委員

はい。3者とも、新聞にまとめることや自分の考えを整理して発表する活動などは共通して取り扱っています。ただ、多様な表現活動という点では、【東書】が充実していると思いました。例えば、【東書】の6年歴史編54ページをご覧ください。学んだことをもとにマンガのせりふを考えるという表現活動が設定されています。同じく【東書】の41ページでは平安時代の特色をキャッチフレーズに表す活動が設定されるなど、子どもたちが興味をもって取り組むことができる「まとめ活動」や「表現活動」が多く設けられています。

松本教育長

なるほど、確かにこのような活動は、子どもたちは喜んで取り組みそうですね。どうでしょう。その他ご意見はございませんか。

松本教育長

それでは、社会について採択いたします。本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【東書】が5票。

社会は【東書】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

松本教育長

それでは、地図の審議を行います。選定委員から地図について報告してください。

田中一弘選定委員

地図の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東京書籍】と【帝国書院】の2者となります。

項目Bの(2)について、【帝国】では、38ページのように、地形の起伏を表す色分けのコントラストを高くすることで、山地や平地の高低が分かりやすくなるよう工夫されています。

項目Bの(3)について、【東書】では、28ページなどで、地図の切れ目がどのページにつながっているか、矢印とページ数で大きく表示されています。【帝国】では、21ページから30ページに、中学年向けの「広く見渡す地図(160万分の1図)」から、高学年向けの「都道府県を見る地図(100万分の1図)」の順に配列されており、発達段階に配慮されています。

項目Cの(3)について、【東書】では、28ページをはじめ複数のページで扱われている「ホップステップマップでジャンプ」で、地図にまつわる様々な問題が用意されており、考える機会が得られるとともに、発表する学習につなげることができます。【帝国】では、40ページをはじめ、複数のページで扱われている「地図マスターへの道」で、地図にまつわる様々な問題が100問用意されており、考える機会が得られるとともに、発表する学習につなげることができます。また、124ページには「地図マスターへの道」のまとめが設定されており、目標を持って取り組んだり、達成感を得ながら社会科の知識や地図帳の活用を身に付けたりすることができるよう工夫されています。

項目Eの(1)について、【帝国】では111ページから114ページで、統計のページでは、統計だけでなく、主な農産物や工業生産額の帯グラフも合わせて掲載され、視覚的理解を促す内容となっています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

藤本教育長職務代理者

では、私からいいですか。【帝国】48 ページをみていただけますか。近畿地方の地図ですが、本市のあたりを見ると、伝統産業である「つまようじ」の記載があります。毎回ここは話題にしてしまいましたが、やはり子どもたちが地図帳をもらって、まず気にするのは、自分の住んでいるところだと思うんです。その時に、河内長野のところに記載があると、やっぱりうれしいと思うんですね。

嘉名委員

【東書】は32 ページが同じ近畿地方の地図ですが、こちらにはつまようじがないですね。【帝国】には河内長野のお寺についても記載がありますが【東書】にはお寺もないですね。滝畑ダムに関しては2 者とも掲載されていますが、私も藤本委員と同様に河内長野の記載は、子どもの興味関心をわかせる1 つになるものなので、【帝国】の記載はいいのではないのでしょうか。

松本教育長

なるほど。この地図を見ると一目瞭然ですね。では、他にありませんか。

田中明文委員

私からもいいですか。【帝国】の111 ページから114 ページを見ていただけますか。選定委員からも報告があった統計のページですが、ここでは、都道府県ごとの面積や農産物の生産額、貿易額等の統計が記載されていますが、それだけでなく、右側には主な農産物や工業製品の都道府県別生産量の帯グラフも掲載されていますよね。学習指導要領でも重要視されている資料の比較は、この記載から学べることになります。情報化社会では、グラフなどを比べてその違い、類似することから、その地域と関連付けることが言われていますから。これがあることで、例えば農業生産や魚介類の生産が多い都道府県はどこなんだろうかと、統計データにも興味を持つ子どもが増えるよう

に思いますね。

大矢委員

そうですね。こういったちょっとした工夫で、どこの都道府県は何の生産が多いとかといった知識が習得できるように思います。

私も1ついいですか。先ほど選定委員から報告があったページが良かったと思います。【帝国】が66ページの「地図マスター」ですね。【東書】では28ページの「ホップステップマップでジャンプ」です。地図帳のいたる所に、そのページに関する問題が示されて、楽しみながら学習できるようになっていると思います。それから、チェックできるようにもなっていて、達成感も味わえるのではないのでしょうか。

松本教育長

大矢委員は保護者として、子ども目線でのご意見ですね。他の委員はどうでしょうか。

田中明文委員

ちょっと私から選定委員に質問よろしいですか。地図帳は、現行の学習指導要領から、3年生で初めて使用することになっていますが、3年生という発達段階をふまえた配慮という点で両者の特長を教えてください。

田中一弘選定委員

はい、さきほど田中委員からご意見がありました、帯グラフのイラストも配慮の1つだと考えますが、もう少し分かりやすい箇所で申し上げますと、【東書】1ページから3ページをご覧くださいませ。

ここでの世界地図は、文字をあまり使わず、イラストを多用しており、初めて地図帳を手にする子どもたちの発達段階を考慮したものとなっております。

続けて、【帝国】21ページから30ページにかけての地図をご覧ください。これは【帝国】だけの特長ですが、情報量を少なくしたり、文字の字体をかえたりするなど、初めて地図帳を手にする3年生の発達段階に配慮した日本

地図が掲載されています。

田中明文委員

たしかに、なるほど、比べると違いがありますね。【帝国】21 ページからの地図と 33 ページ以降の地図と比較すると、よくわかります。3 年生という発達段階を考えると、そういった配慮は必要でしょうね。

松本教育長

私もこの配慮は納得できますね。特に地図を学び始めた子どもへの情報を見やすくしているところは際立った工夫でしょうね。他にご意見はありませんか。

嘉名委員

私からも意見を言わせていただいてよろしいでしょうか。はじめての地図帳と考えると、【帝国】は 7 ページを見ていただけますか。このページから 20 ページまでを地図帳の使い方の説明にさいています。最初に使い方を教え、何度も見直せるようになっていて、工夫していると思います。

松本教育長

他にありませんか。

藤本教育長職務代理者

個人的には【帝国】のほうが、はっきり見えるように思うのですが。先ほどの選定委員でも説明がありましたよね。コントラストが高いことで、高低差がより鮮明になるということですか。

田中一弘選定委員

はい。選定委員会でも議論になりました。例えば【帝国】の 59 ページ 60 ページと、【東書】の 39 ページ 40 ページを見ていただけますか。実は 2 者を比較すると、同じ中部地方の地図でありながら、見え方が違うと思います。実は 2 者を比較すると、土地の高さによる色分けの種類が違います。【帝国】

の方が色分けのコントラストを高くしてあり、見え方が違います。そのため、特に山地が多い地域などでは大きく見え方が違うのではないのでしょうか。

嘉名委員

感じ方は人それぞれでしょうが、小学生が使用するという事を考えれば、【帝国】の方が高低差に関してとらえやすいように思います。

松本教育長

では、そろそろよろしいでしょうか。

それでは、地図について採択いたします。本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【帝国】が4票、【東書】が1票。地図は【帝国】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

(休憩)

松本教育長

それでは、生活の審議を行います。選定委員から生活について報告してください。

小滝選定委員

生活の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東京書籍】【大日本図書】【学校図書】【教育出版】【光村図書】【啓林館】の6者となります。

項目Aの(1)について、【教出】では上26ページのように、生活科の学習目標を「六つの力」に分けて示し、117ページから掲載されている、学び

方の手立てとなる「学びのポケット」の7項目と対応させることで学習活動が効果的に行えるよう工夫されています。

項目Bの(3)について、【東書】上巻末には、季節ごとに花や昆虫が実物大で掲載されており、児童が関心を持って学習を進められるよう工夫されています。

項目Cの(2)について、【教出】では、上77ページにありますように、板書例が掲載されており、めあてに沿った学習活動や学習方法を支援する工夫がされています。

項目Dの(2)について、【光村】は下39ページのように、ページ右に「こんなこともあるかもね」を設定し、イラストで単元に関連する内容を掲載することで、児童が関心を持って学習を進められるよう設定されています。

項目Eの(2)について、【教出】下128ページ129ページの「コンピューターを使おう」では、端末も含めたICT機器の活用場面を多数掲載し、併せて使用時のルールやマナーも学べるよう設定されています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。特に特長的なところで、ご意見ご質問はございませんか。

田中明文委員

私からいいですか。授業では始めに「めあて」というのを提示しますよね。それを子ども達が見て確認して、そうすることで、学習の見通しを持つことができます。先程、選定委員から、「めあて」についての報告がありましたが、【教出】を取り上げたのはどんな特長があったからなのか、もう少し詳しく知りたいのですが。選定委員から説明してもらってもいいですか。

小滝選定委員

はい。では、【教出】の下64ページをご覧ください。先程報告しました上77ページだけでなく、下にも、このように「めあて」を提示して1時間の学習内容が分かるように示しております。また、他者でも同様に板書例の掲載

がありました。【啓林】下 68 ページも見てください。比べてみると【教出】は「めあて」を黄色で囲っていたり、文字の下に黄色の線を引いています。また、青色も使って、学習活動で大切にしたいことが分かりやすく示されていることが分かります。

田中明文委員

なるほど、確かに、見やすいですね。選定委員の説明でよく理解できました。もう 1 ついいですか。【教出】で特長的なところ、下の 99 ページを見てください。「めあて」が分かりやすく提示されているのは先程のことでいいんですが、もう 1 点。思考ツールを活用しています。こういう黒板のまとめ方は思考が整理されて、低学年の子ども達にとっても理解しやすく、思考力・判断力の育成につながると思いますよ。

嘉名委員

では、私も。その思考ツールですけど、【教出】にうまくまとめられているページがありました。下の 113 ページを見てください。いろいろな考え方が持てるように「つなげる・ひろげる」というのがありますよね。これは、思考ツールでいう「イメージマップ」、わかるでは「Xチャート」、そして、付箋を使って学習活動に取り組むアイディアも掲載されています。これなんか、河内長野市で取り組んでいるんですよね。合っているのではないですか。

大矢委員

私も、そのアイディアを生かすというところで。たしか、【教出】でした。下の 57 ページを見てください。付箋を色分けして考えを整理する学習活動ですが、実際にこうやってグループになって学習を進めている場面を写真で掲載しているとイメージが付きやすいと思います。

松本教育長

まさしく、本市で取り組んでいる思考を深める手法という点では、よく工夫されています。他の観点でのご意見がありましたらお願いします。

嘉名委員

最近は、子どもたちがタブレットを持っているので、低学年でもそういった活用が進んでいると思います。私たちの世代では考えられませんでした。今は低学年の子ども達でも、とても上手にICT機器を使えるようになって聞かれています。そういったことから、【教出】の下 128 ページ 129 ページはたくさんの使い方が掲載されていて良いと思います。

松本教育長

そうなんです。画面に直接字を書いて記録する使い方とか、友だちが思ったこと、自分が思ったことなどを画面の中で比べる使い方も掲載されていますよね。右下には、「机の端に置かない」というのはもちろんですが、「近づいて見過ぎないこと」や、「人のいやがることを書かない」という情報モラルについても掲載されているのは、低学年だからこそ、とても大切なことだと思います。チェック項目があるので、自分で考えながら確認できるというところもいい点だと思います。他にご意見はありますか。

藤本教育長職務代理者

私からもいいですか。【学図】の上下表紙の裏を見てください。こうやって学習期間を色で分けていると、とても見やすく見通しが持てますね。【教出】の下 2 ページを見てください。ここにも同じように単元の横に月が書かれているのですが、【学図】と並べて比べてみると、見やすさの違いがとても分かりやすいです。

大矢委員

今の点で、感想を言っていていいですか。確かに見やすいですね。これなら、他の教科とのつながりとか学校行事とのつながりも考えやすいと思います。こうやって見通しが持てるということは大切ですね。選定委員におたずねしますが、そういった工夫は、特長のある教科書はありますか。

小滝選定委員

はい。学習活動の工夫については【教出】に特長があります。下 97 ペー

ジの右下をご覧ください。単元の最初のページに「はっけんロード」が設定されており、この「はっけんロード」が次の 98 ページ 99 ページ、そして、単元最後の 103 ページまでつながっております。こうやって、児童が学習活動のつながりを感じられるように工夫されているだけでなく、「はっけんロード」の最後には 103 ページにある「ぐんぐんはしご」が設定されており、自分がこの単元の学習で何が身に付いたのかをふり返って実感できるように工夫されています。

田中明文委員

何が身に付いたのかを実感することは、とても大切です。私はその点については【教出】にとっても特長が表れているなと感じました。選定委員から説明があった【教出】の 103 ページの左 102 ページの左上を見てください。サイコロの中に「考える」「伝える」と記載されていて、この学習を通して、生活科の目標に沿った、本来、子ども達に備わっている力を引き出すことを大切にしていますよ。

大矢委員

田中委員が言うように、こうやって子ども達だけでなく、教える側もこの学習で大切にしたいことが見て分かりますね。そのサイコロの右を見ると、巻末の 109 ページからの「学びのポケット」と対応させていることが分かりますね。

松本教育長

たしかに、こうやって記載することで巻末資料の「学びのポケット」も効果的に活用できますね。他のページを見ていただいても分かるように、すべての学習活動にこの記載がされていますね。

嘉名委員

わたしも同感です。このように分かりやすく提示することで、低学年の子ども達であっても、見通しを持って主体的に学習を進めることができますね。

松本教育長

それでは、生活について採択いたします。本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【教出】が5票。

生活は【教出】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

松本教育長

それでは、算数の審議を行います。選定委員から算数について報告してください。

小滝選定委員

算数の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東京書籍】【大日本図書】【学校図書】【教育出版】【啓林館】【日本文教出版】の6者となります。

項目Aの（1）について、【日文】6年巻末には、取り外して使える学び方ガイドが取り扱われており、どの学習場面でも、見方・考え方や学び方を確認できることで、算数に対して見通しを持って学習でき、算数への学ぶ意欲が高められるよう工夫されています。

項目Bの（1）について、【東書】4年上72ページでは、単元の始めに学校や日常生活との関連のある場面設定、既習のふり返しなどが取り扱われており、課題が明確に理解できるよう設定されています。

また、【日文】3年上85～87ページの「自分でみんなで」では、学び方を4ステップで構成しており、問題解決の過程が段階的に理解しやすい内容となっています。

項目Bの（3）について、【日文】4年下40～43ページの面積の導入では、陣取りゲームによって、広さ比べから「1cm²の何個分」を数えればどちらが

どれだけ広いのかを楽しみながら求めることができるよう工夫されています。

項目Cの（3）について、【啓林館】5年134ページ、面積の単元では、三角形の面積から取り扱われており、底辺と高さを意識させることで、平行四辺形の面積の求め方が理解できるよう設定されています。

【日文】5年265ページからの巻末の「算数マイトライ」の問題集では、「基礎・基本」、「応用・発展」、「探究」の3つの段階で構成されており、児童の習熟度に応じて取り組むことができるよう配慮されています。

項目Eの（1）について、【教出】4年上108ページ、「算数ワールド」では、こわれた電卓、方眼で九九を考えるなどの問題が取り扱われており、数学的な見方、考え方を活用し、学びを広げられるよう工夫されています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

嘉名委員

それでは私からいいですか。算数はできる、できないということが、子どもたちにとって、はっきりする教科ですよ。算数が苦手な子どもは、考え方や学習の進め方がわからないので、算数がどんどん嫌いになってしまう。

そう考えると、選定報告にもありましたが、例えば【日文】6年巻末の取り外して使える学び方ガイドは、どんな学習場面でも、学習の進め方や数学的な見方・考え方を確認して学習を進められるので、いろんな問題にも挑戦しようという気持ちにもなるかなと思いました。

松本教育長

私も同感です。私は中学校で数学を教えていたので、嘉名委員のおっしゃられるとおり苦手であれば、どんどん算数が嫌いになっていきますよね。こういったガイドがあると、少しでも子どものサポートになり、やる気につながりますよ。

田中明文委員

私も同じです。算数にとっては、数学的な見方・考え方は大切なんです。それで言うなら、他では、例えば【学図】の3年下162ページを見てください。考え方モンスターとして、教科書の巻頭や巻末に一覧が提示されていますね。教科書の本文中にも、考え方モンスターが出てきて、一覧とリンクさせて、見方・考え方を確認しながら学習できるようになっています。こういう学び方ガイドが子どもには必要なんじゃないですか。

松本教育長

なるほど。田中委員のおっしゃったのもひとつですね。それに、折り込み形式になっているんですね。教科書を開きながら、いつも「考え方モンスター」を見て、数学的な見方・考え方を確認できるような工夫がされています。委員のみなさん、どうですか。

大矢委員

私もいいですか。確かに工夫されていて、子どもたちは進んで学習に取り組めそうだなと思いました。それに加えて、楽しみながら算数の授業が受けられたら、もっといいかなと思います。報告にありましたが、【日文】4年下の40ページに、面積の導入で、陣取りゲームから学習に入っていく流れは、楽しみながら学習できる展開だなと思いました。

藤本教育長職務代理者

楽しみながら学習できるような展開の取扱いは、他の発行者にもありましたよ。例えば、【大日本】3年16ページの掛け算の導入で、「九九パズルをしよう」では、数の規則性を見つけて、カードを九九表のどこに当てはまるか考えてみる活動が取り入れられています。【教出】6年107ページの円の面積の導入で、「どちらのピザが大きいかな」では、ピザの写真を使って、子どもたちの興味、関心を引き、面積の大きさについて考える。こういった取扱いは、楽しく学習に取り組んでいけそうだと思います。

田中明文委員

そうですね。楽しんで授業を受けることができると、算数がわかる、できるという子どもが増えていくもんなんですよ。それに、算数は一人で学習を進めていくという教科のイメージがありますが、みんなで学び合うような活動を取り入れて、学習が進められると、あきらめることなく、楽しんで授業を受けることができ、算数がわかる、できるという子どもがもっと増えていくと思いますが。どうですか、選定委員さん。その点について、どれも取り扱っていますよね。

小滝選定委員

はい。その点については、【日文】3年上 85～87 ページの、「自分で、みんなで」、【教出】6年 123～125 ページの「学びを進めて、はてな、なるほど、だったら、を見つけよう」【大日本】3年 21～25 ページ、【東書】4年下 65～67 ページの「今日の深い学び」などで、委員がおっしゃる点は取り扱われています。

嘉名委員

どうですか。私は、みんなで楽しんで学ぶことも大事なことです。が、系統性や連続性をはっきりしている算数は、新しく習う単元に入る前に、その単元に関連する既習事項を振り返っておく必要があると思います。答申にもあるように【日文】の3年上の125ページには「つぎの学習のために」が新しい単元の冒頭に設定されています。これから学ぶ新しい学習の内容と関連したことが書かれているので、ケアレスミスというような、つまづきを防いでスムーズに新しい学習に入っていけるのではないかと思います。

松本教育長

嘉名委員のご意見について、【日文】の工夫ですが、どうでしょうか。

大矢委員

私はいいいと思います。先生方は、今まで習ったことの復習問題をするために、学習プリントなどをわざわざ用意されていたと思います。こうやって掲

載されていると便利だと思います。

復習問題に取り組むことのいいところは、他にも、学んだことを忘れてしまわないために、学んだことを定着させることにあると思います。

松本教育長

そうですね。理解を定着させるためには復習問題や練習問題にしっかり取り組む必要がありますね。選定委員から、この点について、特長的な発行者があればお願いします。

小滝選定委員

はい。報告でも申しましたが、【日文】5年265ページをご覧ください。「算数マイトライ」の問題集は、「基礎・基本」「応用・発展」「探究」の3つの段階で構成されており、基礎・基本の問題に取り組む場合や、応用・発展や探究の問題に取り組む場合など、子どもの習熟度、いわゆる学びの段階に応じて取り組むことができます。

松本教育長

このような取扱いは他の発行者にはありませんか。

小滝選定委員

3つの段階で構成された問題集の取扱いは【日文】以外にありません。

松本教育長

なるほど。他にご意見はありませんか。ないようでしたら、それでは、算数について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【日文】が4票、【教出】が1票。

算数は【日文】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

松本教育長

それでは、書写の審議を行います。選定委員から書写について報告してください。

川崎選定委員

書写の選定報告をいたします。選定の対象は、【東京書籍】【教育出版】【光村図書出版】の3者となります。

項目Bの(1)について、【光村】では、5年生6ページのように、学習の進め方を提示し、見通しを持つことで主体的に考え、取り組めるよう工夫されています。

項目Bの(2)について、【教出】では、6年生13ページのように、文字の組み立て方について大きく示すとともに、部分ごとに色分けして表すことにより、ポイントが視覚的に分かりやすくなるよう配慮されています。

項目Bの(3)について、【教出】では、1年生19ページのように、書き誤りやすい文字について、書き順や画線の進む方向、ます目を用いて書く位置に色分けするなど、どの子どもに対しても学びへの支援が適切に工夫されています。また、【東書】では、3年生1ページのように、書写の学習要素を系統的に分類・整理して、各単元の始めにインデックスで示し、系統性を意識した学習ができるよう工夫されています。

項目Cの(1)について、【教出】では、2年生19ページのように、「文字を比べて話し合おう」では、書写の学習で使う言葉を例示し、対話的な学びがスムーズに進められるよう工夫されています。

項目Dの(1)について、【東書】では、4年生25ページのように、「生活に広げよう」において、新聞や折れ線グラフの書き方など、社会や算数と関連させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる力が身に付くよう工夫されています。

項目Dの(2)について、【光村】では、4年生8ページのように、一文字で表す時と、へんになった時とを重ねて色分けすることで、形が変化するこ

とを捉えやすいように工夫されています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

嘉名委員

学校では、子どもたちがタブレットパソコンを使って、授業でも ICT 化されている時代ですよね。普段の生活においても、子どもたちはスマホを使うことが、たぶん多いと思うんですよ。つまり文字を書く機会が減ってきているんじゃないですか。だからこそ、「文字の組み立て」や「形を整えて書く」ことを子どもに意識させる必要があるんじゃないかなと思います。毛筆も、点画の書き方とか筆圧などに注意して書くことが大事なんじゃないかなと感じます。選定委員は、どう思われますか。

松本教育長

嘉名委員の意見で、選定委員では何か話題になりませんでしたか。

川崎選定委員

はい。自分で方法を選択して、練習に取り組むことで、文字の組み立て方や点画の書き方などに注意することにつながると思います。そういった観点に関しては、答申に書いてあります【教出】の6年生8ページのように「練習用紙の作り方」で、文字を整えて書くために一人ひとりが課題を持ち、その課題解決に向けて練習に取り組めるようになっています。また、課題に対して一人ひとりが課題解決に向けた方法を選択することで、より主体的に取り組むことができるよう工夫されているということが話題になりました。

松本教育長

嘉名委員、よろしいでしょうか。では、他にご意見はありませんか。

大矢委員

私は、【教出】の2年生19ページ「文字をくらべて話し合おう」です。答申にもありますように、学習する前に書いた文字と学習の最後に書いた文字を比べて、どう変わったのかを友だちと伝え合う活動をするようになっていきますよね。自分の成長を確かめたり、友だちから認められたりすると、自分の成長を実感することができて、前向きに取り組めそうだと思います。もう一つ。話し合いがスムーズにできるように「しょしゃでつかうことばのれい」で、見本がのっていますよね。子どもたちも、楽しく書写を学べるのではないかなと思います。

藤本教育長職務代理者

今、大矢委員がおっしゃった観点で言うと、同じ【教出】の6年の30ページにも自分の好きな言葉を選んで書くことがあります。友だち同士で筆遣いを見あったり、気づいたことを話し合ったりできますよね。書写は書いて練習するだけでなく、こうやって対話をして学びを深めることが大切なんだと思います。

松本教育長

他にありますか。

田中明文委員

別の観点からでもいいですか。他教科との関連という点では、【東書】の6年26ページを見ていただいてよろしいですか。漢文や漢詩が載っていて、国語との関連をうまく引き出していると思います。他の発行者でも、見ますと【光村】の4年22ページとか、【教出】の5年32ページをご覧ください。SDGsや総合的な学習との関連で学習できるように工夫されています。

藤本教育長職務代理者

私もいいですか。私は、書写は手本をしっかりと見ながら書くという点から、手本が見やすく工夫されていることも大切なことだと考えています。先ほどの報告でもありましたが、【教出】の6年13ページの「文字の組み立て

方」は、三つの部分が色分けされていて、それぞれの幅や位置が分かりやすいと感じました。

松本教育長

なるほど、私も、その色分けされている所が気になって比べてみたのですが【東書】の6年18ページ、【光村】の6年6ページを見てください。「湖」の字があって、文字の組み立て方が同様に色分けされていますが、3者比べると面白いですね。工夫されている点では【教出】が分かりやすいと感じましたね。

嘉名委員

おっしゃることが見れば分かりますね。【教出】では、より鮮明な色使いであったり、文字が大きめになったりしていますよね。より組み立て方が分かるように配慮されていると、私も思います。

他にも35ページを見て下さい。文字の形が分かりやすいように、丸や四角で色付けしたり、矢印や画数を示したりしています。視覚的にポイントが分かりやすいのがいいと私は思います。

松本教育長

そろそろご意見が出つくしたと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、書写について採択いたします。本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【教出】が4票。【東書】が1票。書写は【教出】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

松本教育長

それでは、道徳の審議を行います。選定委員から道徳について報告してください。

川崎選定委員

道徳の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東京書籍】【教育出版】【光村図書出版】【日本文教出版】【光文書院】【学研】の6者となります。

項目Aの(2)について、【教出】6年136ページの「卒業に向けて」では、地域の方々やお世話になった人に感謝の気持ちを持ち、地域とのつながりも意識できるよう工夫されています。

項目Bの(1)について、【日文】3年24ページでは、教材文の後ろに、思考力をより育むための授業展開が示されており、考えを交流する中で、思考力や表現力が育めるよう工夫されています。【光村】4年66ページのように、『考える準備たいそう』を各学年に設け、考えやすいテーマや、小グループで議論や意見交流をするための手順を示して、思考力を育むことができるよう工夫されています。

項目Cの(3)について、【日文】4年別冊14ページや29ページのように別冊「道徳ノート」に書き込むことで教材ごとに、自分の考えを整理し、言語活動の充実を図ることができ、簡単に振り返りができるよう工夫されています。加えて、保護者が記入する欄を設けてあり、家庭でも話ができるよう工夫されています。

項目Dの(1)について、【東書】全学年の巻末に、「考えるツール」が設けられており、心のメーターや、心のものさし、こころの地図、心情円の例が記されており、これらのツールを使って、自分の考えを可視化することができるよう工夫されています。

項目Eの(1)について、【日文】5年19ページのように、コラム「心のベンチ」が随所に配置され、教材で考えた道徳的価値について発展的に考えることができるよう工夫されています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

藤本教育長職務代理者

私から意見を言います。前回の採択では、別冊があった発行者が確かいくつかあったかと記憶しておりますが、今回は【日文】のみとなっているようですね。間違いありませんか。

松本教育長

選定委員、どうですか。

川崎選定委員

はい。今回、別冊があるのは、【日文】の1者のみです。別冊には、発問に対する考えを書き込んだり、振り返りなどの自分の考えを整理することができ、言語活動の充実が図れるようになっています。

松本教育長

この件で、ご意見はありますか。

田中明文委員

私は、自分の考えをまとめたり整理したりするために、書くという活動は有効であると思います。書く活動を通して子どもたちは、じっくりと時間をかけて考え、自分の思いを伝えることができるようになります。また、発言することが苦手な子どもは、書くことで自分の考えを表現することもできます。

指導する側も、一人ひとりの子どもがどんな考えを持ったのか、授業の中での発言だけではわからない部分も、書き残すことで蓄積され、客観的な評価の資料として使えるのではないのでしょうか。

嘉名委員

私も、書く、そして伝えるということは大事だと思います。この【日文】

6年別冊の2ページを見てもらえれば、書くスペースも大きくとられていて、いろいろな使い方ができそうですね。

松本教育長

教員が授業のねらいや学習活動に合わせて書き込ませることができるので、活用の幅が広がるということから、こういったことができる工夫がされているのは、いいのではないのでしょうか。

大矢委員

私も同じです。この道徳ノートを使えば1年間、35回分の記録が残っていくということですね。いいと思います。

松本教育長

大矢委員も同じということですね。他にご意見はありませんか。

嘉名委員

聞くとところによると、道徳が「特別の教科」となって、「考え、議論する」ということが言われていると聞いています。その点について選定委員会では、どうでしたか。

川崎選定委員

はい。まず、【東書】では、4年110ページのように、その前の教材「ぼくらだってオーケストラ」で学習したことを活かして、自分ならどうするかを表現する内容が設定されています。また、【光村】では4年66ページのように、「考える準備たいそう」が設けられており、考えやすいテーマから、小グループで議論・意見交流する手順を示し、思考力を育むように工夫されています。【日文】では、5年146ページのように、その前の教材「すれちがい」を学んだあと、問題解決的な学習や体験的な学習などの手法を用いた効果的な展開の様子が示されています。役割演技や対話を通して、道徳的価値の理解を深めることができるよう工夫されています。また、吹き出しもあって、子どもたちが表現しやすくなる手立ても用意されています。今、報告させて

頂きましたように、「考え、議論する」とは、教材を通して、これまでの経験や感じ方と照らし合わせながら自分との関わりで考え、自分の考え方や感じ方を意見交流する中で、明確にしていくことと捉えています。

嘉名委員

ご説明ありがとうございます。なるほど。問題をつかんで、考え、そして、どう解決するのかという、よく言われる問題解決的な学習の一連の流れになっているということですね。これが、「考え、議論する」という道德の授業のスタイルということなんですね。

川崎選定委員

はい。そうです。

松本教育長

他の観点でも結構です。ご意見はありませんか。

田中明文委員

私からも一つよろしいですか。やはり、昨今スマートフォンの普及が低年齢層にも広がっていますよね。小学校段階から情報モラルの指導も大変重要となってくると感じます。選定委員にお聞きしますが、情報モラルの指導への工夫はいかがでしょうか。

川崎選定委員

はい。やはり、情報モラルの指導の重要度は高く、全ての発行者において、情報を扱う上で配慮すべきことや、ルール、インターネット上で気をつけることなどを発達段階に合わせて掲載されております。その中で、【日文】の6年40,41ページには、読み物教材を用いた学習の後に「めざせ！情報モラルの達人」として、クイズ形式で情報モラル理解度をチェックできるコラムがあり、情報とどのように向き合っているかを確認できるような工夫がされています。

田中明文委員

ありがとうございます。1人1台学習者用端末も整備された今、情報の良き使い手となるための資質の育成が求められていると思います。まずは自分で情報モラルの理解を確認することは大切ですので、そういった工夫された点は評価したいですね。

大矢委員

私もそう思いました。読み物教材でしっかり向き合った後に、このようなクイズで楽しく理解度をチェックできるのはいいと思いました。

藤本教育長職務代理者

そのクイズ形式で子どもたちに興味を湧かせて、情報モラルについて自分でチェックするところは、なかなかいい点だと思いました。

松本教育長

他にご意見はございませんでしょうか。そろそろ意見が出つくしたようですので、道徳について採択いたします。本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【日文】が5票。道徳は【日文】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

(休憩)

松本教育長

それでは、国語の審議を行います。選定委員から国語について報告してください。

川崎選定委員

国語の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東京書籍】【教育出版】【光村図書】の3者となります。

項目Aの(2)について、【教出】2年上120ページから125ページ「町の『すてき』をつたえます」では、生活科の町たんけんで見たことやわかったことをまとまりのある文章に表し、友だちや家の人に伝える活動が取り扱われています。

項目Bの(2)について、【光村】6年276ページから277ページ「言葉の交流」では、世界各地の言葉の交流について取り扱われており、互いの言葉を尊重する内容となっています。

項目Cの(1)について、【光村】5年36ページのように、全ての単元に「問いをもとう」を設け、主体的に学びを進めることができるよう工夫されています。

項目Cの(2)について、【東書】5年172ページから174ページ「提案します、1週間チャレンジ」では、174ページの下段に話し方の工夫が赤字で書かれており、効果的な話し方が提示されています。

項目Bの(3)について、【光村】3年上124ページから127ページ「生活の中で読もう『ポスターを読もう』」では、生活との関連が図れるテーマが取り扱われています。

項目Eの(1)について、【東書】6年10ページから11ページに見開きで「国語のノートの作り方」のページがあり、「書くこと」や自主学習の手立てになる内容となっています。また、【光村】6年278ページから279ページ「課題解決に向けて考える」では、例を提示しながらプログラミング的思考について触れられており、他教科や生活に活かせる内容が掲載されています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

田中明文委員

私からいいですか。学習指導要領では「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」が大事とされています。その点でいうと、【光村】4年生下84ページをご覧ください。「問いをもとう」と「目標」が一緒に示されています。「問い」というのはその授業時間における課題です。ここでいう「目標」というのは、その教材で学ぶ目標です。すなわち、「何を学ぶのか」が示されています。さらに、「見通しをもとう」で、この教材で学習する手順・方法が示されています。このように示すことで「どのように学ぶのか」という流れがわかります。

嘉名委員

私もそう思います。【光村】3年生下50ページをご覧ください。「すがたをかえる大豆」という単元で、「見通しをもとう」に「問いをもとう」と「もくひょう」がここでもあります。学習の後は、次のページに「食べ物のひみつを教えます」という書く教材があって、自分で課題解決していく流れがいいですね。

松本教育長

委員がおっしゃったように、【光村】は「問い」と「目標」を学習のはじめに示すことで、課題意識や目的意識をもって学びに入っていけるとと思いますね。【東書】4年下79ページの下段を見て下さい。ここでも、学習の流れが示されていますよね。こういった学習のめあてと流れが、今の指導要領でも重要とされているところですね。

では、他の観点でのご意見がありましたらお願いします。

藤本教育長職務代理者

私もいいですか。【光村】6年生217ページをご覧ください。日本語の特徴が扱われています。日本語とほかの国の言葉について比べ、気づいたことを話したり書いたりするような活動が示されていますね。日本語の良さやおもしろさを改めて考えたり、世界の言語にも興味をもったりできる機会だと思いますね。

大矢委員

はい。藤本委員のおっしゃった他の国の言葉については、河内長野市の小学校でも、いろんな国の子どもたちが一緒に学んでいると聞いています。お互いの言葉を大切に思うことにつながって、いいと思います。

松本教育長

そうですね。今後いろいろな世界の人とつながることが身近になっていくことを思うと、大事な視点ですよ。私は、最近子どもたちが新聞を読む機会が減っているなかで、社会へ関心を持つきっかけにもなる「新聞の読み比べ教材」について見てみました。【東書】の5年生92ページをご覧ください。

「新聞記事を読み比べよう」では書き手の意図を読み比べる内容があります。96ページには、構成の役割を写真と線で結び、具体的に説明されています。次の98ページの実際読み比べる新聞についても、たいへん見やすく掲載されています。他も見てみると、【教出】5年生上32ページから37ページに「新聞を読もう」。【光村】は5年生106ページから109ページに「新聞を読もう」があります。

田中明文委員

教育長のおっしゃった「新聞の読み比べ」は、資料の比較という点でも、とてもいい教材ですよ。国語科で身につけた力は、他の教科のいろんな場面で活かされることが大きいと思います。

資料を活かし、いろんな情報を活用して考えをまとめるような、情報活用能力といわれるものは、これからの子どもたちに必要な力だと思います。選定委員では何か意見が出ませんでしたか。

松本教育長

なるほど、田中委員の今の質問に、選定委員から説明できますか。

川崎選定委員

はい。いろいろな情報を活用して、自分の考えをまとめたり、必要な資料から情報を選び出したり、資料と結びつけながら自分の考えをもつ。そして、

表現するというのは、学習指導要領でも示されており意見が出ました。教科書でいいますと、【光村】の5年生160ページをご覧ください。「自然環境を守るために」という教材があります。その前に学習した「固有種が教えてくれること」というのがありますが、そこで学んだ、効果的に資料を活用することを生かして、子どもたちが自分で課題をもち、自分の考えを書く内容となっております。必要な資料を集める際の、「統計資料の読み方」に触れているのも特長です。

田中委員

説明はよく分かりました。この教材は、いろいろなグラフが使われていて、今までに算数や社会で学んだ資料の活用ともつながっているように思います。工夫されているんじゃないですか。

嘉名委員

いろいろな教科とつながっている点では都道府県の学習がありました。【光村】の4年生上50ページ。漢字の学習で、都道府県の特長を説明した文章があります。漢字の定着だけでなく、文化や地理についても同時に学べるという工夫がされていると思いました。

他には、都道府県の漢字については、【東書】4年生下127ページと【教出】4年生上74ページをご覧ください。3者を比べてみてください。社会科の地図と対応させて、日本全国の位置関係から文化や特色を楽しみながら学ぶことができるのは、【光村】だと思います。

松本教育長

なるほど、本当ですね。国語と社会の学習が関連付けられていますよね。知識の定着にも興味の広がりにもなりますね。

では、他の観点でのご意見がありましたらお願いします。

田中明文委員

本市で力を入れている言語能力の育成につながる取り組みはありますか。

松本教育長

本市の取り組みについて、選定委員から説明をお願いします。

川崎選定委員

本市では、昨年度からお勧めの本を紹介しあうベストブックバトルを市内小学校 5 年生と中学校 2 年生で行っています。

国語科の学習を活かして、学校間をオンラインでつなぎ、学校の代表が他校の同級生に本の魅力を紹介し、質問などを通して交流します。

この取り組みについては、【光村】5 年生 88 ページから 91 ページをご覧ください。ここでは、本の選び方から、本を紹介しあうまで、読みを広げる内容が扱われています。

田中明文委員

おもしろい取り組みですね。本を紹介するという言語活動は、自分の伝えたい内容を整理しまとめ、構成する思考力と話す表現力が身につく、効果的な学びだと思いますよ。言語能力の育成について、選定委員でも議論されているなら結構ですよ。

藤本教育長職務代理者委員

私からいいですか。私は違う視点で、読書ということで見ていました。【東書】や【教出】でも読書活動がありました。例えば【東書】5 年生の 204 ページに「読書の世界を広げよう」で読書マップが紹介されています。同じく 5 年生 104 ページのように「五年生の本だな」というページを設定し、たくさん本を紹介しています。この「本だな」のページは、各学年にも設定されています。

また、【教出】では 5 年生下 66 ページに「『図書すいせん会』をしよう」という内容が扱われていて、68 ページ 69 ページには、ポスターや本の帯を作成する活動があります。

この 3 者を見比べてみて、本を紹介しあう内容は【光村】が詳しく記述があり、本市の取り組みと合っているように思いますね。

松本教育長

それでは、国語について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【光村】が5票。

国語は【光村】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

松本教育長

それでは、理科の審議を行います。選定委員から理科について報告してください。

吉岡選定委員

理科の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東京書籍】【大日本図書】【学校図書】【教育出版】【啓林館】の5者となります。

項目Aの(2)について、【啓林館】では6年64ページには、「理科の広場」に「発展」のマークと「中学校」のマークがあり、中学校につながる内容が提示されています。

項目Cの(1)について、【教出】6年166ページには、結果から考える場面で最初の予想に対する話し合い活動を通して、新しい予想を考える過程が示されており、児童が主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されています。

項目Cの(2)について、【学図】6年220ページには、図書館での資料の探し方が掲載されており、多様な学習活動ができるよう工夫されています。

項目Cの(3)について、【大日】5年190ページ、191ページには、1年間で学習したことを見開き2ページにまとめ、各單元ごとにチェック項目を用いて、学習をふり返ることができるよう工夫されています。

項目 D の（２）について、【啓林館】４年 116 ページから 118 ページのように、学習活動の字の大きさや色を変えたり、ページ全体に余白を多めに取り入れることで、掲載内容が見やすくなるだけでなく、思考も整理しやすくなるよう工夫されています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。

特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

藤本教育長職務代理者委員

理科の５者を読み比べてみると、【啓林館】がそれぞれの学習活動が見やすく、私は、学習の流れもとても分かりやすく感じましたが。選定委員で議論されていたら教えてほしいのですが。どうでしょう。

松本教育長

選定委員から、この点についてもう少し詳しく説明できますか。

吉岡選定委員

はい。では、【啓林】４年巻頭の２ページをご覧ください。このように「学びのサイクル」が意識されて単元が構成されており、「問題」から「まとめ」、そして、次の学習へ向かうという、問題解決学習を意識した「理科の楽しみ方」が掲載されています。次に、同じく【啓林館】４年 116 ページをご覧ください。このページの「問題」は大きく、しかも色を変えて掲載しており、その問題に対する「まとめ」が 118 ページにあるのですが、この「まとめ」も大きく、しかも「問題」と同じ色で掲載されております。さらに「問題」から「まとめ」までの学習活動を線でつなげることで、学習のつながりを意識することができます。また、余白の取り方については、選定委員会でも話題になりました。その時は、他者と比べても、【啓林館】が余白の使い方のバランスが良いというだけでなく、フォントの選び方も良く、見やすいとい

う意見が出ていました。

大矢委員

今の説明を聞きますと、確かに、見やすいですね。私も、【啓林館】で特長的なところを見ました。5年の133ページにあった、この「ふり返ろう まとめノート」は単元の学習内容が1ページに分かりやすく掲載されていていいですね。でも、他者にも同じようなページがあったと思うのですが。

嘉名委員

私もそう思って探してみたんです。【東書】の5年149ページを見てください。同じようなページで、これは同じ「ふりこ」の単元のまとめノートです。【啓林館】の掲載方法と比べると、【啓林館】は、要点がまとめられていて大変分かりやすく、ページ下に新しく学習した言葉も掲載しているのいいですね。理科を苦手としている子どもにとっても配慮されているのではないのでしょうか。

松本教育長

なるほど。よくわかりました。私も意見を1つ。理科と算数を結び付けて、教科横断的に学習を進めることは大切なんです。【東書】の4年195ページを見てください。理科と算数を結び付けるために、理科の実験結果を算数で学習したグラフで表すことは、各者が取り入れています。その中でも、【東書】は棒グラフと折れ線グラフを重ねて示すという工夫がみられました。2つの結果を重ねて関係をつかむという学習方法は、思考力を高めるために大切ですよ。

田中明文委員

私は、他の観点からということで、よろしいですか。先程、選定委員から報告があった【教出】6年166ページの新しい予想を考える過程が大切だと感じています。学習の過程で、子ども達が考え直す余地を持たせることは必要です。仲間の意見を聞いて、自分の意見について再度考えた後、良い結論へという学び方は、今、求められていることの1つですよ。このような経験

は、主体的・対話的で深い学びへとつながると思いますよ。

松本教育長

そうですね。おっしゃるとおりだと思います。他にご意見はありませんか。

藤本教育長職務代理者委員

はい。【教出】の同じページ、166 ページを見てください。理科の「見方・考え方」を示している文章には色付けされていて、子ども達にとって分かりやすいでしょうね。ただ、その点について、【啓林館】の 6 年 214 ページを見てください。このように理科の「見方・考え方」について記載されているだけでなく、215 ページには、実際の生活に理科の「見方・考え方」が役に立った場面を掲載しているのは良いですね。

松本教育長

たくさんの意見が出ておりますが、他に何かありますか？

大矢委員

では、私もいいですか。【啓林館】は、たくさんの興味深い写真が掲載されています。5 年の 92 ページを見てください。この「ヒトの育ち」の単元で、鮮明な写真を掲載していたのは【啓林館】です。やっぱり、イラストとは違ってインパクトがあると思いますが、どうでしょう。

松本教育長

確かにそうですね。私も【啓林館】の写真には、とても興味を持ちました。同じ 5 年生の 142 ページを見てください。溶けたものについて、このような食塩のつぶが水にとけていく様子は、子ども達も興味を持つのではないのでしょうか。

嘉名委員

そうですね。私も、もう 1 つ。【啓林館】6 年生の 128 ページを見てください。地層の写真ですが、どれも分かりやすいだけでなく、「どろ」・「砂」・「れ

き」の違いを分かりやすく見せたり、その下の火山灰の地層では、観察記録も掲載されていますよね。子ども達が観察に行った時の参考になりますね。写真が効果的なので、子どもたちの興味・関心を引き出したり、理解を深めるのに大変有効だと思います。

松本教育長

たくさんの意見が出ましたが、ほかにはないでしょうか。

それでは、理科について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【啓林館】が4票、【教出】が1票。

理科は【啓林館】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

松本教育長

それでは、保健の審議を行います。選定委員から保健について報告してください。

吉岡選定委員

保健の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東京書籍】、【大日本図書】、【大修館】、【文教社】、【光文書院】、【学研】の6者となります。

項目A（2）について、【東書】では5・6年生33ページや37ページのよう、子ども見守りボランティア、地域合同防災訓練が取り上げられ、地域で子どもを守り育む活動として取り扱われています。

項目B（2）について、【大日本】では5・6年生2ページ等のように、折り込みカードが付帯されており、校外学習などの調べ学習やインタビューなどの様々な活動のヒントになるよう配慮されています。

項目 C の（１）について、【東書】では、５・６年生 28, 29 ページのように、学習課題に対して、調べ、解決策を考え、そして考えを交流し合い、学びを深められるよう、スモールステップの構成により、考え発信するまでの工夫がされています。

項目 C の（３）について【東書】では、５・６年生 53 ページのように、感染症予防の発展として、新しい感染症を取り扱い、これまでの感染症との違いなどから、予防の仕方を考えられるよう工夫されています。

項目 E の（１）について【大修館】では、５・６年生 24, 25 ページのように、「事故やけがの起こり方」の学習の導入が、日常場面を想起しやすいよう、ゲーム形式の題材を扱い、課題に対して関心をもたせる工夫がされています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

藤本教育長職務代理者委員

私からいいですか。保健といえば、やはり、2020 年に緊急事態宣言がだされ、私たちが今まで経験をしたことのない生活を強いられてきた新型コロナウイルスです。教科書ではどんなふうに取り扱われていますか。

松本教育長

選定委員、回答よろしいですか。

吉岡選定委員

はい。新型コロナウイルス感染症については、６者とも５・６年生の「病気の予防」の中で新しい感染症として取り上げられています。様々な感染症を学ぶ中で、結核やインフルエンザ、エイズなどともに新型コロナウイルスも取り上げられています。中でも【東書】５・６年生 53 ページには、健康に関することはもちろんのこと、感染した人を責めるのではなく、その人の立場に立って考えることの大切さについても記載されていて、人権的な面で配慮

されています。また、このことは、【大修館】5・6年生 54 ページ、【光文】5・6年生 46 ページにも記載があります。

藤本教育長職務代理者委員

なるほど。新型コロナウイルスが流行りだした頃は、風評被害など、本当に大変でしたよね。健康面はもちろんですが、人権的なこともとても大切だと思います。これからも新しい感染症が発生する可能性もありますので、このような視点は授業でも扱ってほしいところだと思います。

松本教育長

では、他にご意見はありませんか。

大矢委員

私も選定委員の方にお聞きしてよろしいでしょうか。保健の授業は、昔と違っているように思うのですが、学習の進め方についてはどうでしょうか。他の教科ではどの教科書も、「学びを深める」と言われるよう工夫されていると思いますが、保健の教科書では、この点で特長的なものがありますか。

松本教育長

大矢委員のご質問の観点は大事ですね。選定委員どうぞ。

吉岡選定委員

はい。例えば、少しお待ちください。【学研】3・4年生 5 ページをご覧ください。ステップ1では、振り返ったり、読み取ったり、調べたりする自主的な活動、ステップ2では、話し合ったり、説明したりして課題の解決に取り組むための対話的な活動、ステップ3では、学びを活かす活動を提示する3段階の構成となっています。

他の教科書と比較してみますと、同じような構成ですが、【東書】だけが4ステップで構成されています。【東書】5・6年生 22 ページから 25 ページをご覧ください。ステップ2では、情報を集めたり、調べたり、話し合ったりする活動、ステップ3では、ここまで学習してきたことを元に考え、筋道を

立てて説明する活動になっています。他の教科書ではステップ2に主体的・対話的な活動の一つで設定しているところを、【東書】では、あえて2段階のスマールステップにすることにより、対話的な学びを促す時間を増やしています。この点で選定委員でも工夫されていると意見が出ました。

大矢委員

ありがとうございます。今のご説明でよく分かりました。例えば、【東書】は特に対話するような部分が細かく段階が分けられていて、時間をかけることで、学べるようになっていくということですね。

藤本教育長職務代理者委員

私からもいいですか。対話という部分では、【学研】5・6年生 64 ページをみていただけますか。「比べたことや、出し合った意見を書こう」という箇所があり、グループで話し合った意見を書けるような工夫があると思います。

田中明文委員

【学研】にもそういう箇所があるのですね。私は、【東書】5・6年生 56 ページが気になりました。「ほかの人の意見をきいて考えたことやわかったことを書きましよう」という箇所がありますよね。これは、隣の 57 ページにも、ページをめくった 59 ページにもあります。こういった他の人と対話や交流する場面を多く設けているというのは、たくさんの気づきの機会があって、いいことだと思いますよ。

松本教育長

では、他の観点でもご意見はありませんか。

嘉名委員

私は、防犯の観点から、教科書を比べてみました。いくつかの教科書では「安全マップ」を取り上げているようですね。安全マップは、小学1・2年生の「生活科」でも取り扱っておりますが、発達段階に応じて取り扱うのは重要だと思っています。【東書】5・6年生 35 ページを開けてください。「地域

安全マップ」の例が大きく写真で載せています。マップを作る目的とか注意点が書かれています。防犯の意識から、自分の街のことを地域の方と一緒に調べたり、安全マップを作成したりするというのは、子どもたちにとっては、取り組みやすい活動だと思います。

松本教育長

その点は、私も気になっていました。他の教科書を見てください。【学研】です。5・6年生 39 ページですがよろしいですか。安全マップに関する記載がありますよね。実際に自分の住んでいる地域を歩いてみることを勧めているように思います。他には、【大日本】でした。5・6年生 29 ページ。あと【文教】の5・6年生。36 ページにもありました。私は大きく記載されていると関心がわくと思いますが、みなさんはどうでしょう。

藤本教育長職務代理者委員

そうですね。比べてみるとよくわかりますね。私は、【東書】に特長があると思います。【東書】5・6年生 35 ページになりますが、安全マップの下に「はってん」のマークがあり、知識として防災の観点を加えています。地域安全マップ作りのような活動があって、子どもたちが危険予測できる力を付けたり、その力を防災に活かすことができたりすればなおいいと思いますね。

松本教育長

それでは、保健について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【東書】が5票。

保健は【東書】が多数となりました。ご異論はございませんでしょうか。

全委員

はい。

松本教育長

それでは、家庭の審議を行います。選定委員から家庭について報告してください。

吉岡選定委員

家庭の選定報告をいたします。

選定の対象は、【東京書籍】【開隆堂出版】の2者となります。

項目Bの（1）について、【開隆堂】140、141 ページで「生活の中のプログラミング」では、家電製品と手作業の違いを並べ、比較して考えられるよう工夫されています。

項目Bの（3）について、【東書】巻末には、調理の手元や切った野菜を実寸大で確認できる写真などが掲載されており、主体的に取り組めるよう配慮されています。一方【開隆堂】149 ページでは、巻末に実習に役立つ作業の手元がわかる大きな写真や、裏表紙に切り方の一覧が掲載されており、調理実習時に教科書を開けることなく、いつでも切り方を確認ができるよう工夫されています。

項目Cの（1）について、【開隆堂】66 ページでは、「なぜ衣服を着るのだろう」など、学習の導入のタイトルでは、なぜという問いかけからはじめることで主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。

項目Cの（3）について、【東書】13 ページでは、「ふり返ろう」のマークが学習の段階に応じて下欄に掲載され、具体的な振り返りの内容が記述されており、課題意識が高まるよう工夫されています。

項目Dの（2）について、【開隆堂】100、101 ページの実習作業の流れでは、改行せず左ページから右ページに2 ページを使って、ながれを説明することで、迷わず明確に手順が理解できるよう工夫されています。

以上、報告を終わります。

松本教育長

只今、答申を報告いただきましたので、教科用図書選定の観点に基づき、審議いたします。特に特長的なところで、ご意見、ご質問はございませんか。

田中明文委員

私からいいですか。ここに、家庭科の学習指導要領の目標というのがあるんですが、読み上げますよ。「生活の営みに係る見方、考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的、体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質、能力を育成することを目指す」と書かれています。

その点でいうと、どちらの教科書も学習の進め方という点では、初めに課題を見つけて、解決し、自分たちの生活に活かすという３ステップの問題解決的な学習の構成となっていて、「主体的、対話的で深い学び」ができるものと思いますね。

嘉名委員

私もそう思いました。そのことの説明が【開隆堂】では 6,7 ページ、【東書】では、4,5 ページに記載されています。しかし、「実践的、体験的な活動を通して」となると、裁縫や調理といった実習がありますよね。子どもたちの中には、実習が苦手とする子どももいると思います。

藤本教育長職務代理者委員

私も同じで、そう思います。その点においては、どちらの教科書も、そういった子どもたちに実習の手順をわかりやすく、よく配慮されていると思います。報告にもありましたが、手順を横流れに示していて、とてもわかりやすく工夫されているように思います。

松本教育長

このことについて、選定委員会の話ではどうなっていますか。

吉岡選定委員

はい。例えば、【東書】の 48、49 ページと【開隆堂】の 52、53 ページをご覧ください。

どちらの教科書も、写真やイラストを多く配置して、わかりやすく説明しています。ご覧いただいてわかると思いますが、【開隆堂】では、本文と手順を色分けして見やすくしています。また、作業工程のページを、見開き 2 ペ

ージにまたがって、左から右へ横流れの配置になっています。このようにわかりやすく示された手順を見て、子どもたちは次の作業に迷わず取り組めるようになっております。

松本教育長

今の選定委員の説明を聞いて、ご意見ありませんか。

大矢委員

はい。あります。見比べてみるとよくわかります。【開隆堂】の方が見やすく、実習の流れがわかりやすいです。それに【開隆堂】では、実習の流れの下に、実習で使用する道具が掲載されていて、何が必要かも確認できていいと思います。

藤本教育長職務代理者委員

私も。道具といえば、【東書】は 88 ページ、【開隆堂】は 149 ページに、包丁を使って切った野菜が実寸大で確認できるよう工夫されていますよね。見比べると【開隆堂】は、方眼を併せて表示して、大きさがよりわかりやすくなっています。どちらも工夫されているんじゃないですか。

松本教育長

他にどうですか。

田中明文委員

【開隆堂】は、切った野菜の大きさの確認とは別に、切り方の確認として、裏表紙に、切り方の一覧が掲載されているんですよね。実習中にいつでも確認できるよう工夫されていますよ。それに、切り方には種類がいくつもあるので、どうやって切るのか迷ったときに、一覧があると役に立ちますよね。

嘉名委員

それならば、【東書】にも 136 ページに切り方の一覧があり、実習中に困ったときに見て確かめようとしています。実習中は、教科書を開いて確

認することが難しいので、【開隆堂】の裏表紙に掲載されているところにとっても便利だと思いますね。

松本教育長

そのような配慮や工夫は大切だと思います。家庭科を学ぶには、やはり、家庭や地域、いわゆる日常生活に関わった問題を通して学習して、いろいろなことに気づいて、自分の成長を自覚する。そして、学習した内容を、身のまわりの生活に活かすことが必要だと思います。もし、その点について選定委員から、特長的なところがあれば教えてください。

吉岡選定委員

はい。報告でも申しましたが【開隆堂】66 ページをご覧ください。ステップ1の学習の導入タイトルが、「なぜ衣服を着るのだろう」というふうに「なぜ」という問いかけから始まっています。これは、他の単元でも多く使われています。子どもたちがその「なぜ」を考えることで、「衣服を着る」という一見、当たり前と思われることもあらためて見つめなおすことで、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されています。また、20 ページのように、個々の主体性を尊重して、子どもたちの興味、関心を自分の言葉で記述できるスペースを随所に設けているのが特長です。

松本教育長

なるほど。わかりましたが、みなさんどうでしょうか。

大矢委員

そうですね。毎日、当たり前と思っていることでも、改めて「なぜ」って聞かれると、その理由や意味を答えることって、以外とすぐには思い浮かばないですね。

嘉名委員

私も、そう思いました。問いかけによる導入は、学習する目的が明確になって、学習効果も高まりそうだと思います。

松本教育長

他にご意見はございませんか。

ご意見は出つくしたようですので、家庭科について採択いたします。

本市の教科用図書としてふさわしいものを記入し、投票をお願いします。

松本教育長

投票の結果、【開隆堂】が5票。

家庭は【開隆堂】が多数になりました。ご異論はありませんか。

全委員

はい。

7. 閉 会

松本教育長

全種目の採択を終了いたしました。

以上で7月臨時教育委員会会議を閉会します。

令和6年度使用小学校教科用図書 採択投票結果

○投票者:教育長 1名 教育委員 4名

採択順	教科	投票結果							投票数
1	図画工作	開隆堂出版 1	日本文教出版 4						5
2	英語	東京書籍	開隆堂出版 5	三省堂	教育出版	光村図書	啓林館		5
3	音楽	教育出版	教育芸術社 5						5
4	社会	東京書籍 5	教育出版	日本文教出版					5
5	地図	東京書籍 1	帝国書院 4						5
6	生活	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版 5	光村図書	啓林館		5
7	算数	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版 1	啓林館	日本文教出版 4		5
8	書写	東京書籍 1	教育出版 4	光村図書					5
9	道德	東京書籍	教育出版	光村図書	日本文教出版 5	光文書院	学研		5
10	国語	東京書籍	教育出版	光村図書 5					5
11	理科	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版 1	啓林館 4			5
12	保健	東京書籍 5	大日本図書	大修館	文教社	光村書院	学研		5
13	家庭	東京書籍	開隆堂出版 5						5

令和 5 年 7 月臨時教育委員会會議

議 案 書

令和 5 年 7 月臨時教育委員会会議提出議案目次

(議決案件)

議案第 19 号 学校教育法附則第 9 条に規定する一般図書の給付
について

(説明担当 教育指導課・・・・・・p. 1)

議案第 20 号 令和 6 年度使用中学校教科用図書の採択について

(説明担当 教育指導課・・・・・・p. 2)

議案第 21 号 令和 6 年度使用小学校教科用図書の採択について

(説明担当 教育指導課・・・・・・p. 4)

議案第 19 号

学校教育法附則第 9 条に規定する一般図書の給付について

令和 6 年度において河内長野市立小中学校に設置されている特別支援学級に在籍している児童生徒に対しては、拡大教科書を除き、学校教育法附則第 9 条に規定する教科用図書の給付は行わず、当該学年用の検定教科書を給付する。

令和 5 年 7 月 26 日

河内長野市教育長 松本 芳孝

議案第 20 号

令和 6 年度使用中学校教科用図書の採択について

令和 6 年度使用中学校教科用図書を、「令和 6 年度使用中学校教科用
図書一覧」のとおり採択する。

令和 5 年 7 月 26 日

河内長野市教育長 松本 芳孝

令和 6 年度使用中学校教科用図書一覧

種 目	発行者番号	発行者略称	書 名
国 語	38	光村	国語
書 写	17	教出	中学書写
社 会（地理）	46	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社 会（歴史）	46	帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
社 会（公民）	116	日文	中学社会 公民的分野
地 図	46	帝国	中学校社会科地図
数 学	2	東書	新しい数学
理 科	61	啓林館	未来へひろがるサイエンス
音 楽（一般）	27	教芸	中学生の音楽
音 楽（器楽）	27	教芸	中学生の器楽
美 術	116	日文	美術 1 美術との出会い 美術 2・3 上 学びの実感と広がり 美術 2・3 下 学びの探求と未来
保健体育	224	学研	中学保健体育
技術・家庭（技術）	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
技術・家庭（家庭）	9	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
英 語	9	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE
特別の教科 道徳	116	日文	中学道徳 あすを生きる 中学道徳あすを生きる道徳ノート

議案第 21 号

令和 6 年度使用小学校教科用図書の採択について

河内長野市小学校教科用図書選定委員会の答申を踏まえ、令和 6 年度
使用小学校教科用図書を採択する。

令和 5 年 7 月 26 日

河内長野市教育長 松本 芳孝

令和6年度使用 小学校教科用図書 選定委員会答申

河内長野市立小学校教科用図書選定委員会

選定委員会答申

小学校 種目【国語】

発行者		東京書籍		教育出版		光村図書	
A 目標の取扱いに	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●「言葉相談室」「情報のとびら」では、言葉を正確に読み取り、自分の考えを伝える言葉について取り扱われている。(4年下P92等)	☆☆		☆	●「想像力のスイッチを入れよう」では、報道文から事実と印象を分ける内容が取り扱われ、言葉を正確に読み取る力が身につくように設定されている。(5年P199～210)	☆☆
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとのつながりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。	●「地域のみりよくを伝えよう」では、タウン誌の記事を書く内容が設定され、地元の人にインタビューをするなど、そこでしか得られない内容を、筋道立てて書く活動が取り扱われている。(5年P58～63)	☆☆	●「町の『すてき』をつたえます」では、生活科の町たんけんで見たとやわかったことをまとまりのある文章に表し、友だちや家の人に伝える活動が取り扱われている。(2年上P120～125)	☆☆	●「わたしの町のよいところ」では、自分の住む町の良いところを紹介する活動が設定され、書いた文章を伝え合う中で、自分や友だちの文章から良い点を見つける内容になっている。(3年下P81～85)	☆☆
B 内容の取扱いおよび程度に	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●「インターネットの投稿を読み比べよう」では、それぞれの投稿を読み比べて説得の工夫を考え、自分の意見をまとめる内容が取り扱われている。(6年P90～100)	☆☆	●「作ろう!『ショートショート』」では、想像を広げるための手順が提示され、物語がどう展開するかを考えて書けるよう設定されている。(4年上P126～131)	☆☆	●「インターネットでニュースを読もう」では、ニュースサイトの記事と新聞記事を読み比べ、それぞれの特徴を知り、ニュースサイトの活用の仕方を考え、生活や学習で生かせる内容が取り扱われている。(6年P104～107) ●「自然環境を守るために」では、グラフや表を用い、資料の効果を活かして説得力のある文章を書く内容が設定されている。(5年P160～165)	☆☆☆
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。	●単元の終わりのある「ふり返る『言葉の力』」では、学んだことを図解やイラストを用いて提示されており、視覚的に内容をつかみやすく工夫されている。(5年P122等)	☆☆	●付録「5年生で読みたい本①」では、「アジアの風」とテーマを設定しアジアの国々の昔話や歴史の本が取り扱われている。(5年上P134, 135)	☆☆	●「言葉の交流」では、世界各地の言葉の交流について取り扱われており、互いの言葉を尊重する内容となっている。(6年276, 277) ●「三年とうげ」では、単元の最後に世界の古くから語り伝えられてきた民話や昔話が紹介されており、様々な国や地域のお話に触れられるよう工夫されている。(3年下P77等)	☆☆☆
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●学年巻頭ページでは、見開きで挿絵ありの詩が掲載され、これからの学習に興味を引くように工夫されている。(6年P1等)	☆☆	●言語活動の場面を、イラストを用いて示し、それぞれのステップでどのような活動をすればよいかわかるよう工夫されている。(5年下P104等)	☆☆	●「漢字の広場」では、学習する漢字に関連したイラストを掲載し、言葉のイメージがふくらむよう工夫されている(6年P135等) ●「生活の中で読もう『ポスターを読もう』」では、生活との関連が図れるテーマが取り扱われている。(3年上P124～127)	☆☆☆
C 学習と指導に対する配慮	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するための工夫があるか。	●説明文の学習後に、学んだことを活かして、めあてや内容に応じて書く活動や調べる活動等を設定し、まとめる力や表現力を身に付けることができるよう工夫されている。(5年P164等)	☆☆	●「だんらくに気をつけて、要点をまとめよう」では、説明文の後で具体的な学習活動を順に示すことにより、下段をみながら見通しをもって学べる内容となっている。(3年上P54, 55等)	☆☆	●単元の導入に、これから使う国語の力が提示されており、3年生以上には、題材の前に学習のポイントを習得するための事前教材が設定されている。(3年上P53, 4年上P53等) ●全ての単元に「問いをもとう」を設け、主体的に学びを進めることができるよう工夫されている。(5年P36等)	☆☆☆
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学習展開など、多様な学習活動や学習方法を支援する工夫があるか。	●「道具のうつりかわりを説明しよう」では、レポート作成に向けて手順を示すことで筋道立てて説明できるよう工夫されている。(3年下P100) ●「提案します、1週間チャレンジ」では、話し方の工夫が赤字で書かれており、効果的な話し方が提示されている。(5年P174)	☆☆☆	●「取材したことをほうこく文に」では、取材とインタビューした内容をまとめ、礼状を書くまでの学習が児童自身の体験学習から取り組める内容となっている。(3年上P102～107)	☆☆	●「よりよい学校生活のために」では、学校生活の中から課題を見つけて、話し合う活動が設定され、生活と関連した事柄を表現する活動が工夫して取り入れられている。(5年P136)	☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【国語】

発行者		東京書籍		教育出版		光村図書	
C よび	(3) 学習の振り返り等、知識を十分習得できるよう工夫があるか。	●「ふり返る」では、「言葉の力」の項目を設けて、振り返りの観点を焦点化できるよう工夫されている。（6年P32）	☆☆		☆	●「ふりかえろう」では、3つの観点で振り返りのポイントが示されており、どんな学習に取り組み、どんなことができるようになったかを確認できるよう工夫されている。（6年P39） ●「たから島のぼうけん」では、学習のポイントが2段階に構成され、下段にチェックボックスが設けられ、振り返り等で確認、推敲できるように工夫されている。（3年下P111～115）	☆☆☆
	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。	●「発信しよう、私たちのSDGs」では、領域を広げ、総合的な学習の時間などで相手や目的に応じて発信できるよう取り扱われている。（6年P170～174）	☆☆	●「クラスの『生き物ブック』」では他教科へ学習が広げられるよう工夫されている。（3年上P62～67）	☆☆	●都道府県の漢字の学習では、日本地図と対応させ、都道府県の特徴を説明した文章が示され、文化や地理についても学べるよう工夫されている。（4年上P50, 100）	☆☆
D 組織・配列に 関すること	(2) 本文、さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。	●大きなイラストや写真を用いたり、比較する場面では、見開き全面を使って表示するなど、教材への興味関心を引き出すことができるよう工夫されている。（4年上P94～100等）	☆☆		☆		☆
E 補充・発展的な学習に 関すること	(1) 児童・生徒の興味関心に応じて学習を深め広げていく学びに向かう力が培われるものとなっているか。	●見開きで「国語のノートの作り方」のページがあり、「書くこと」や自主学習の手立てになる内容となっている。（6年P10）	☆☆	●巻末の付録に、語彙を豊かにするページ「言葉の木」や、自分の考えを整理する方法、電話のかけ方、アンケートの仕方など、他教科や生活にも活かせる内容が掲載されている。（3年下P140等） ●自分の考えや意見をまとめるための図や表の活用例が掲載されている。（6年上P22等）	☆☆☆	●「課題解決に向けて考える」では、例を提示しながらプログラミング的思考について触れられており、他教科や生活に活かせる活動が掲載されている。（6年P278, 279） ●「作家で広げるわたしたちの読書」では、本を紹介しあう活動を示し、作品の魅力を伝えることを考えさせるよう工夫されている。（5年P88）	☆☆☆
	(2) I C T機器を有効に活用できる箇所が適切に記載されているか。	●3年生以上の、「デジタルノートの作り方」では、端末を活用してまとめるノート例が提示されている。（6年P12等） ●二次元コードから、前学年の振り返りや、その学年の同領域の学習を見渡せるよう設定されている。（4年下P36等）	☆☆☆	●二次元コード資料として「まなびリンク」へつながる設定があり、教科横断的な学びに活かせる内容となっている。（6年上P106等）	☆☆	●話す・聞く単元の二次元コード資料では、作者のインタビューや狂言の動画、発表の様子を場面ごとに分けた動画等が設定され、学習を深められるよう工夫されている。（3年下P38等） ●「インターネットでニュースを読もう」では、ICTを使った学習活動が具体的に提示され、ニュースサイトの特徴が学べる内容となっている。（6年P104～107）	☆☆☆

小学校 種目【書写】

選定委員会答申

発行者		東京書籍		教育出版		光村図書	
A 目標の 取り扱いに	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●点画の名前では、動物のイラストを使ってイメージ化を図り、適切な字形が書けるよう工夫されている。(2年P12, 13)	☆☆	●「練習用紙の作り方」では、児童が自分のめあてを確かめ、課題に合った方法を選択して練習に取り組むことで、主体的に課題解決を図れるよう工夫されている。(6年P8等)	☆☆	●「書しゃのことば」を使って、気をつけたことを伝え合う活動を取り入れ、表現力を養うことができるよう工夫されている。(2年P34, 35)	☆☆
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさととのつながりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。		☆	●行書を紹介し、中学校の学習内容の興味・関心が高まるよう工夫されている。(6年P44)	☆☆		☆
B 内容の 取り扱いおよび 程度に	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●読みやすいのはどちらか、整えて書くにはどうしたらよいかなどの問いかけがあり、理由や注意点を考えながら表現していく内容となっている。(3年P20等)	☆☆	●「書いてつたえあおう」では見学メモを発表資料にまとめて書いたり、思い出に残る言葉を書いたりする活動があり、思考したことを生活や授業の中で表現できるよう工夫されている。(3年P48, 49等)	☆☆	●伝えたい情報は何かを考えて書く活動があり、情報を分かりやすく伝えるためのポイントを話し合う活動を通して学習に取り組めるよう工夫されている。(6年P16, 17) ●学習の進め方を提示し、児童が見通しを持つことで主体的に考え、取り組めるよう工夫されている。(5年P6等)	☆☆☆
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。		☆	●話し合っている活動写真や発言例を掲載することで、活動をイメージできるよう配慮されている。(6年P28等) ●文字の組み立て方を大きく示すとともに、部分で色分けして表すことにより、ポイントが視覚的に分かりやすくなるよう配慮されている。(6年P13等)	☆☆☆		☆
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●書写の学習要素を系統的に分類・整理して、各単元の始めにインデックスで示し、系統性を意識した学習ができるよう工夫されている。(3年P1等) ●キャラクターに使う色の数や分量を抑制することで集中できるよう配慮されている。(4年P10等)	☆☆☆	●書き誤りやすい文字について、書き順や画線の進む方向、ます目を用いて書く位置に色付けするなど、どの子どもに対しても学びへの支援が適切に工夫されている。(1年P19等) ●運筆のポイントを、「とん」「すうっ」などの親しみやすい動物の動作で表現し、筆の運び方を楽しく理解できるよう工夫されている。(3年P14等)	☆☆☆	●学習のポイントを示す「たいせつ」や課題解決のヒントをキャラクターで示すことで主体的な学習に取り組めるよう工夫されている。(3年P16等)	☆☆
C 学習と 指導に 対する 配慮 および 創意工夫	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するための工夫があるか。		☆	●6年間で学習したことを活かす単元では、自分の好きな言葉を選んで書くことに加えて話し合う活動を設けることで、より深い学びにつなげられるよう工夫されている。(6年P30) ●「文字をくらべて話し合おう」では、書写の学習で使う言葉を例示し、対話的な学びがスムーズに進められるよう工夫されている。(2年P19等)	☆☆☆	●ポスターや俳句、タブレットのプレゼンテーション資料の文例を取り上げ、文字の大きさや配列について学習できるよう工夫されている。(6年P14～17)	☆☆
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学習展開など、多様な学習活動や学習方法を支援する工夫があるか。	●「生活に広げよう」では、「書写のかぎ」を活用して書くことに加えて、どのように活用したかを話し合う活動を通して、考えを伝えられるよう工夫されている。(5年P17) ●「分かりやすく伝える書き方」では、効果的につたえる工夫を考えて、ポスターを完成させる内容となっている。(6年P22, 23)	☆☆☆	●「書いて伝え合おう」では、メモを取ってまとめた後で、グループで分担して一枚の模造紙にまとめる学習活動が設定されている。(3年P48, 49) ●目的に合った書き方を学習するために、書く速さについて気をつけるところを話し合い、対話を通して学習に取り組めるよう工夫されている。(6年P11)	☆☆☆	●場面にふさわしい書く速さや文字の大きさ、読みやすさの理由をグループで話し合う等、対話を通して学習を進める内容が設定されている。(5年P10, 11, 20等)	☆☆
	(3) 学習の振り返り等、知識を十分習得できるような工夫があるか。	●小学校で学習しない読み方をかつこの中に入れて示すよう工夫されている。(4年P45等)	☆☆	●前学年で学んだことを確かめるページがあり、既習内容の定着が図られるよう工夫されている。(4年P10, 11) ●ふり返り伝え合う学び方が示されていて、学んだことが次の学習にも生かせるよう工夫されている。(4年P17)	☆☆☆		☆

小学校 種目【書写】

選定委員会答申

発行者		東京書籍		教育出版		光村図書	
D 組織・配列に関すること	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。	●「生活に広げよう」において、新聞や折れ線グラフの書き方など社会や算数と関連させた学習を取り上げ、他教科においても活かすことができる力が身に付くよう工夫されている。(4年P24, 25等) ●「書いて味わおう」では漢文や漢詩の一部を掲載し、国語と関連させて学習できるよう工夫されている。(6年P26等)	☆☆☆	●レッツトライでは、どの教科で学習を生かすことができるか明記され、他教科に活用できる力が身に付くよう工夫されている。(4年P19等)	☆☆	●「みんなで考えようSDGsブック」は、書写に関連した内容から環境について考えられるよう工夫されている。(4年P22, 23)	☆☆
	(2) 本文・さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。	●1年のひらがな(かきはじめとかきおわり)の学習では、指でなぞりやすい文字の大きさや、「とん」という表現を加え、始筆から終筆まで文字の形を意識して書けるよう工夫されている。(1年P8)	☆☆	●毛筆を学習するページでは、右側のページで文字をよく見て、左側のページで学習ステップを追いながらポイントを確認められるよう工夫されている。(6年P20, 21)	☆☆	●「大切」では字形のポイントが示され、なぞりやすい大きな文字の表記で形をとらえられるよう工夫されている。(4年P10) ●一文字で表す時と、へんになった時とを重ねて色分けすることで形が変化することを捉えやすいよう工夫されている。(4年P8)	☆☆☆
E 補充・発展的な学習に関すること	(1) 児童・生徒の興味関心に応じて学習を深め広げていく学びに向かう力が培われるものとなっているか。		☆	●「かいてつたえあおう」のページでは、習得した書写の力を学習活動や日常生活の様々な場面に活用できるよう工夫されている。(1年P40, 41等)	☆☆	●書写ブックには、6年間の既習事項が盛り込まれ、学習したことを日常に活用できるよう工夫されている。(6年P23)	☆☆
	(2) ICT機器を有効に活用できる箇所が適切に記載されているか。		☆		☆	●ひらがな、カタカナ、ローマ字すべての書き順を確認することができる内容が設定されている。(6年P47等)	☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【社会】

発行者		東京書籍		教育出版		日本文教出版	
A 目 標 の 取 扱 い に 関 す る こ と	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●関連づける、比べて考えるといった社会的な見方・考え方に関する内容が記載されている。(3年4年学年巻末等) ●キャラクターの絵の種類から、社会的な見方・考え方が分かるように工夫されている。(6年歴史編P57等)	☆☆☆	●比べるや関連づける社会科で使う見方・考え方について例をあげながら説明されている。(5年巻頭等) ●キャラクターがヒントを語ることで、社会的な見方・考え方を働かせた学びを促すよう工夫されている。(5年P150等)	☆☆☆	●ページ下部に、毎時間ごとに身に付けるべき資質・能力の目標が提示されている。(5年P182等) ●キャラクターの絵の種類から社会的な見方・考え方が分かるよう工夫されている。(3年P54等)	☆☆☆
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとのつながりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。	●6年生の歴史学習の中に、「日本遺産を調べよう」という学習があり、本市の日本遺産と関連させることができる内容となっている。(6年歴史編P100, 101)	☆☆		☆		☆
B 内 容 の 取 扱 い お よ び 程 度 に 関 す る こ と	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●「住みよい暮らしをつくる」では、水を大切にすることのできることを考え、学校みんなに発表する活動や、ごみを減らすための取組みについてインタビューしたことを紹介し合う活動が提示されている。(4年P48, 49等) ●単元の中で自分の考えを書き込むことができるページが随所に取り扱われている。(5年下P62等)	☆☆☆	●「事故や事件からまちを守る」では、学習したことを生かして話し合い活動を行い、地域の安全マップ作りを行う活動が取り扱われている。(3年P126, 127)	☆☆	●単元末にSDGsについて自分の考えを書き込むことができる箇所が設定されている。(5年P135等)	☆☆
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。	●上下分冊になっており、児童の負担軽減が配慮がされている。(5・6年)	☆☆	●キャラクターに車いすを使用する児童や外国にルーツを持つ児童も登場し、性や国籍の違い、障がいの有無に関わらず互いに協力しあって学習活動に取り組む様子が記載されている。(3年P159等)	☆☆	●グラフでは、色のみで表現せず、グラフの中に柄をつけたり、線種を変えたりして見やすいよう配慮されている。(5年P119等)	☆☆
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●3年生の発達段階を考慮し、量をとらえやすいように、補助線やイラストを使用したグラフが多く掲載されている。(3年P114)	☆☆		☆	●「地震による災害」では、身近な場所で起こった阪神・淡路大震災の復興に関する内容が取り扱われている。(4年P100等) ●3年生の発達段階を考慮し、量をとらえやすいように、補助線や児童が数えやすい工夫が施されたグラフが多く掲載されている。(3年P97等)	☆☆☆
C 学 習 と 工 指 導 に 対 す る こ と 配 慮 お よ び	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するための工夫があるか。	●「いかす」では、学習したことを活用し学習をさらに深める内容が取り扱われている。(3年P38, 39等) ●各見開きごとに、「まなびのポイント」を設け、学習段階に応じた学習活動を例示し、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。(6年歴史編P91等)	☆☆☆	●「つなげる」では、学習してきたことを活用した学習活動が行えるよう工夫されている。(4年P68～71等)	☆☆☆	●発表を通じて自分の考えを深める学習を、漫画で説明しており、児童が理解できるよう工夫されている。(4年P98, 99等) ●交流場面を随所に設け、対話的で深い学びができるよう工夫されている。(5年P119等)	☆☆☆
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学習展開など、多様な学習活動や学習方法を支援する工夫があるか。	●問題解決学習の最後に「まとめる」場面では、かべ新聞やキャッチコピーを考える活動、フローチャートにまとめる活動など、多様な表現活動を通じて学びを深めることができるよう工夫されている。(3年P83, 5年下P62, 6年歴史編P41等)	☆☆	●「まなびの手引き」を随所に設け、多様な学習活動を進めるうえで必要な技能を身に付けることができるよう工夫されている。(6年P72等)	☆☆		☆
	(3) 学習の振り返り等、知識を十分習得できるような工夫があるか。	●単元の最後に「まとめるワークシート」があり、振り返りを行う工夫がされている。(5年上P55等)	☆☆	●単元内で取り上げられたキーワードを重視し、まとめのページに書き込むことで定着を図るよう工夫されている。(5年P19等) ●巻末に当該学年で学習したキーワードにチェックを入れる欄があり、既習事項の中で特に重要な言葉について確かめることができるよう工夫されている。(4年P216等)	☆☆☆		☆

選定委員会答申

小学校 種目【社会】

発行者		東京書籍		教育出版		日本文教出版	
D 組織・配列に 関すること	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。	●教科書下部に、教科関連マークと共に、関連する教科・単元名が具体的に記載されており、他教科と関連して学習を進められるよう配慮されている。(3年P11等) ●「SDGsについて考えてみよう」を掲載し、環境の学習などに活用できるよう工夫している。(5年下巻末)	☆☆☆	●「他の教科などのかかわり」では、具体的に他教科との関連を示し、関連を意識して学習を進められるよう配慮されている。(各学年巻頭)	☆☆	●各単元末に「未来につなげる～私たちのSDGs～」を設け、発展させた教材を、SDGs と関連づけて取り上げ、学ぶことができるよう工夫されている(6年P58等,各学年単元末)	☆☆
	(2) 本文、さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。	●「〇年生で学ぶこと」が設定されており、児童が事前に見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。(5年上P5等) ●児童に親しみのあるキャラクターを使用し、課題について問いかける場面が随所に設定されており、児童の関心が高まるよう工夫されている。(6年歴史編目次等)	☆☆☆	●航空写真とそれを地図化したものを並べ、比較して考えることができるように工夫されている。(3年P30,31)	☆☆☆	●「〇年生の社会科がはじまります!」が設定されており、児童が事前に見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。(5学年巻頭等) ●各学年にSDGsに関するシールが用意されており、児童が関心を持って学習を進められるよう工夫されている。(各学年巻末)	☆☆☆
E 補充・発展的な学習に関すること	(1) 児童・生徒の興味関心に応じて学習を深め広げていく学びに向かう力が培われるものとなっているか。	●二次元コードを読み取ると、動画やクイズ、ワークシートや各省庁子ども向けサイトの案内等、様々なコンテンツにアクセスすることができ、補充的・発展的な学習に対応できる内容が取り扱われている。(5年目次等) ●巻末で、中学校で学習する内容について2ページにわたって掲載されており、中学校の学習を意識した内容となっている。(6年政治国際編P110,111)	☆☆☆	●二次元コードを読み取ると、動画やワークシート等のコンテンツにアクセスすることができ、補充的・発展的な学習に対応できる内容が取り扱われている。(6年P192等) ●巻末で、中学校で学習する内容について触れられており、中学校の学習を意識した内容となっている。(6年P291)	☆☆☆	●二次元コードを読み取ると、動画や画像、ワークシート等のコンテンツにアクセスすることができ、補充的・発展的な学習に対応できる内容が取り扱われている。(各ページ) ●巻末で、中学校で学習する内容について掲載されており、中学校の学習を意識した内容となっている。(6年P278)	☆☆☆
	(2) ICT機器を有効に活用できる箇所が適切に記載されているか。	●紹介パンフレットのデータ等のワークシートがダウンロードでき、それを用いてまとめの学習を行うことができるよう工夫されている。(4年P31)	☆☆	●「タブレット型コンピューターの生かし方」では、タブレット型パソコンを使ってできることについて具体的に取り扱われている。(各学年P2)	☆☆	●ワークシートをダウンロードする際、Googleドキュメント形式を選択できるので、本市が採用しているクロームブックで活用しやすい内容となっている。(4年P179等)	☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【地図】

発行者		東京書籍		帝国書院	
A 関目標の取扱いに	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●日本と世界とのつながりが、時代ごとに表されており、日本と世界の様子を比較したり、つながりを考えたりできるなど、社会的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。(P77～80)	☆☆	●日本の昔の境界地図が掲載されており、現代の地図との違いを調べたり、過去の事象との関連を考えたりできるなど、社会的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。(P109, 110)	☆☆
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとのつながりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。		☆	●本市の日本遺産である観心寺や、伝統的地場産業であるつまようじが掲載されている。(P48)	☆☆
B 内容の取扱いおよび程度に	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●「ホップステップマップでジャンプ」では、地図にまつわる様々な問題が用意されており、考え、発表する機会を設けることができる内容となっている。(P37等)	☆☆	●各ページの「地図マスターへの道」では、地図にまつわる様々な問題が用意されており、考え、発表する機会を設けることができる内容となっている。(P40等)	☆☆
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。		☆	●地形の起伏を表す色分けのコントラストを高くすることで、山地や平地の高低が分かりやすくなるよう工夫されている。(P38等)	☆☆
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●地図標記の決まり事や地図帳の使い方が6ページにわたって詳しく説明されている。(P9～14) ●地図の切れ目がどのページにつながっているか、矢印とページ数で大きく表示されている。(P28等)	☆☆☆	●地図表記の決まり事や地図帳の使い方が10ページにわたって詳しく説明されている。(P11～20) ●中学年向けの「広く見渡す地図(160万分の1図)」から、高学年向けの「都道府県を見る地図(100万分の1図)」の順に配列されており、発達段階に配慮されている。(P21～29)	☆☆☆
C 学習と指導に対する配慮 および創意工夫に	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するための工夫があるか。		☆	●防災マップづくりに取り組む教材を設定し、児童自身が身を守るために何ができるのかを具体的に考えられるよう工夫されている。(P102)	☆☆
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学習展開など、多様な学習活動や学習方法を支援する工夫があるか。		☆	●拡大された島の地図にもそれぞれ個別にスケールバーが表示されている。(P36等)	☆☆
	(3) 学習の振り返り等、知識を十分習得できるような工夫があるか。	●「ホップステップマップでジャンプ」では、地図を見ながらクイズや作業に取り組み、既習事項を生かして楽しみながら知識を習得できるよう工夫されている。(P28等) ●索引にチェック欄がついており学習した地名等を振り返ることができる内容となっている。(P87～96)	☆☆☆	●「地図マスター」では、関心を引きつける簡単な問題から資料活用を高める問題などレベル別の問題が設定されており、既習事項を生かして楽しみながら知識を習得できるよう工夫されている。(P66等) ●「地図マスターへの道にちょうせんしょう!」では、各問題の進捗状況をすごろくのように振り返ることができ、目標を持って取り組んだり、達成感を得ながら社会科の知識や地図帳の活用法を身に付けることができるよう工夫されている。(P40, 124)	☆☆☆
D 組織・配列に	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。		☆	●通常の地図とは別に「自動車産業のさかんな愛知県」の地図が大きく1ページ分用意されており、5年生で学習する「自動車を作る工業」と関連付けて学習を深めることができるよう工夫されている。(P61)	☆☆
	(2) 本文、さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。		☆	●導入時のページでは、文字の字体、情報量などを変え、初めて地図を学習する児童に配慮されている。(P21～30)	☆☆
E 補学習・発展的な 関すること	(1) 児童・生徒の興味関心に応じて学習を深め広げていく学びに向かう力が培われるものとなっているか。	●日本の世界文化遺産や伝統文化などの写真が2ページにわたって掲載されている。(P81, 82)	☆☆	●日本にある世界文化遺産と世界自然遺産の写真が掲載されている。(P127) ●統計のページでは、統計だけでなく、主な農産物や工業生産額の帯グラフも掲載され、視覚的理解を促す内容となっている。(P111～114)	☆☆☆
	(2) ICT機器を有効に活用できる箇所が適切に記載されているか。	●各ページの二次元コードを読み取ることで、デジタルコンテンツのトップページを開くことができるよう工夫されている。(P38等) ●デジタルコンテンツの使い方や使用上の注意等に関して記載されている。(P6)	☆☆☆	●各ページの二次元コードを読み取ることで、そのページの地図をデジタルで見ることができ、「地形のようす」や「交通のようす」など、目的に合わせた地図を表示できるよう工夫されている。(P66等) ●「地図の世界へようこそ」のデジタルコンテンツでは、イラストの拡大や、角度による見え方の違い等を比較できるなど、直感的な操作で学習できるよう工夫されている。(P7)	☆☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【算数】

発行者		東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館	日本文教出版
A 目標の取扱いに	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●登場人物の吹き出し「それなら」「同じように考えると」が問題解決の見通しとなる記載として取り扱われている。(5年上P98, 99等) ●入学初期の学習内容を分冊化することで発達段階に配慮し、中綴じ製本でフラットに開くことにより、具体物を置きやすくなり、直接書き込みやすいよう工夫されている。(1年①) ☆☆☆	●登場人物等の吹き出しを手がかりとして、学習が効果的に進められるよう工夫されている。(4年P61, 108等) ●入学初期の学習内容を分冊化することで発達段階に配慮し、中綴じ製本でフラットに開くことにより、具体物を置きやすくなり、直接書き込みやすいよう工夫されている。(1年①) ☆☆☆	●9種類の「考え方モンスタ―」が、考えを整理する手立てとして教科書のあらゆる場面で登場し、学習が効果的に進められるよう工夫されている。(3年下P97, 162等) ☆☆	●登場キャラクターの吹き出しに示されている内容から、児童が考えるための視点を持つことができるよう工夫されている。(4年上P82, 83等) ☆☆	●登場人物の吹き出しに示されている数学的な見方・考え方がマーカーで強調されており、児童が効果的に学習に取り組めるよう工夫されている。(2年上P12, 13等) ●入学初期の学習内容を分冊化することで発達段階に配慮し、中綴じ製本でフラットに開くことにより、具体物を置きやすくなり、直接書き込みやすいよう工夫されている。(1年すたあと ぶっく) ☆☆☆	●取り外して使える学び方ガイドが巻末に取り扱われており、どの学習場面でも、見方・考え方や学び方を確認できるよう工夫されている。(6年巻末等) ●入学初期の学習内容を分冊化することで発達段階に配慮し、中綴じ製本でフラットに開くことにより、具体物を置きやすくなり、直接書き込みやすいよう工夫されている。(1年①) ☆☆☆
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとをつなぐりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。	☆	☆	☆	☆	☆☆	☆
B 内容の取扱いおよび程度に	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●「マイノートを学習に生かそう」では、数学的な見方考え方が理解できるよう、活用内容が示されている。(3年上P18, 19等) ●単元の始めに学校や日常生活との関連のある場面設定、既習のふり返しなどが取り扱われており、課題が明確に理解できるよう設定されている。(4年上P72等) ☆☆☆	●「算数の学び方」では、教科書の使い方、ノートのかき方、話し方、聞き方等が示されており、学習を効果的に進められるよう設定されている。(6年P6～9等) ●「じっくり深く学び合おう！」では、思考力・判断力を育むよう問題解決の過程が理解できる内容となっている。(5年P27～31等) ☆☆☆	●「ノート名人になろう」では、考えの整理や振り返り等の例が示され、児童の表現力を養うことができるよう設定されている。(4年上P6, 7等) ●「折れ線グラフ」と「しりょうの整理」の単元で学習した基礎・基本を活用するための単元「しりょうの活用」が設定されており、思考力、表現力を高めることができるよう工夫されている。(4年下P142～147) ☆☆☆	●「友だちのノートを見てみよう」では、ノートの書き方のいいところを見つける例が示されており、効果的に学習が進められるよう工夫されている。(3年上P30, 31等) ●「算数が好きになるはじめての一步」では、提示された問題を解決していく流れを通して、算数の学習の仕方を理解できるよう設定されている。(5年P7～9等) ☆☆☆	●「算数ノートをつくろう」では、ノートの書き方の見本が示されており、次の学習に活かすことができるよう設定されている。(3年上P8等) ●「算数のとびら」では、みんなで深め合う学習の進め方を、具体的な問題を通して理解できる内容となっている。(4年上P4等) ☆☆☆	●「算数ノートをつくろう」では、見開きで4つのブロックに分けたノートを提示し、考えた過程や友だちの考えなどの見本が示されており、数学的な見方・考え方が育まれるよう工夫されている。(4年上P6, 7等) ●「自分でみんなで」では、学び方を4つのステップで構成し、問題解決の過程が理解できる内容となっている。(3年上P85～87等) ☆☆☆
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●かさの単元では、等しい量のものを、形の違ういくつかの容器に移し替えるとき、見かけは変わるが量は変わらないいうことに気付かせるための導入が取り扱われている。(1年②P55) ☆☆	●割合の単元では、日常生活の身近な問題や挿絵、図が使われており、興味を持って取り組めるよう工夫されている。(5年P169～177) ●かさの単元では、等しい量のものを、形の違ういくつかの容器に移し替えるとき、見かけは変わるが量は変わらないいうことに気付かせるための導入が取り扱われている。(1年②P88) ☆☆☆	●「分数の割り算」では、面積図に加え、数量関係を整理した表が取り扱われており、立式ができるよう工夫されている。(6年P78等) ☆☆	●かさの単元では、等しい量のものを、形の違ういくつかの容器に移し替えるとき、見かけは変わるが量は変わらないいうことに気付かせるための導入が取り扱われている。(1年P142) ☆☆	●1年のかさの学習で、かさは入れ物が変わっても増えたり減ったりしないことを気づかせるための導入が取り扱われている。(1年②P92) ●面積の導入では、陣取りゲームが取り扱われており、広さ比べから「1cm ² の何個分」を数えればどちらがどれだけ広いのかを求めることができるよう工夫されている。(4年下P40～43) ☆	☆☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【算数】

発行者		東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館	日本文教出版
C 学習と指導に関する配慮および 創意工夫に関する配慮	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するための工夫があるか。	●付録の100までカードを活用して、数学的な見方・考え方を育むことができるよう工夫されている。(1年②P99) ●「九九をつくろう」では、計算の過程を、図を用いて視覚的に考えることができるよう工夫されている。(2年下P41～43)	●「読み取る力をのばそう」では、活用力・表現力を育むことができる問題が取り扱われている。(5年P237等)	●単元の導入「?と発見」では、日常生活の身近な問題が取り扱われており、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(4年下P53等)	●「お気に入りのほこを作ろう!」という課題が示されており、興味を持って主体的に学習ができるよう工夫されている。(2年下P67) ●「算数ワールド」では、数学的な見方や考え方を養うことができる問題が取り扱われている。(4年下P131等)	●問いや気づきを「学びのめばえ」として示し、「めあて」とそれに対応した「まとめ」が提示されている。(4年下P60)	●幼児期の活動と算数の関連をストーリー立てて、問題ではなく、活動課題が提示されており、意欲的に学習できるよう工夫されている。(1年上P1～13) ●「かけ算をつかって」では、計算の過程を、図を用いて視覚的に考えることができるよう工夫されている。(2年下P47～49)
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学習展開など、多様な学習活動や学習方法を支援する工夫があるか。			●「表とグラフ」の単元では、数学的な見方・考え方を育むよう項目を配列させる課題が取り扱われている。(2年上P14, 15)	●平均の単元の「学んだことを使おう」では、「歩はば」を使って長さを求める問題が取り扱われており、体験的な学習活動ができるよう工夫されている。(5年P138, 139)	●付録の九九の表と「九九のまど」を使った数当てゲームを通して、かけ算のきまりについて理解できるよう工夫されている。(3年上P10, 11)	●「四角形」の単元では、巻末付録の三角形と四角形を2枚重ねて四角形をつくることで、図形の性質から、台形や平行四辺形の理解が図られるよう工夫されている。(4年下P15)
	(3) 学習の振り返り等、知識を十分習得できるような工夫があるか。	●「おぼえているかな」では、次の単元に関係する復習問題を取り扱っており、基礎的な学力を定着させるよう設定されている。(3年下P57等)	●「新しい学習がはじまるよ」では、児童の身近な生活に関わる題材が導入に扱われており、学ぶ内容が理解できるよう設定されている。(5年P16, 17等)	●「たしざんえほん」「ひきざんえほん」では、「あわせて」と「ふえと」、「のこりは」と「ちがいは」の言葉の持つ意味理解を踏まえた課題が取り扱われている。(1年上P52, 69) ●「いまのじぶんをしよう」では、一年間で身に付けた内容を確認することができるよう設定されている。(1年下P84等)	●単元末のまとめ「ふり返ろう」では、4コマ漫画を用いて学習内容が確認できるよう工夫されている。(2年上P16等)	●「学びのサポート」を設け、一人ひとりの習熟度や興味関心に応じて学習できるよう工夫されている。(5年P253～等) ●面積の単元で、まず三角形の面積から取り扱われており、底辺と高さを意識させることで、平行四辺形の面積の求め方が理解できるよう設定されている。(5年P134)	●巻末の「算数マイトライ」の問題集では、「基礎・基本」、「応用・発展」、「探究」の3つの段階で構成されており、児童の習熟度に応じて取り組むことができるよう配慮されている。(5年P265～307等) ●「つぎの学習のために」が新しい単元の冒頭に設定されており、新しい単元での学習内容と関連の既習事項に取り組むことができ、基礎・基本の学力が定着できるよう工夫されている。(3年上P125等)
D 組織・配列に関する配慮	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。	●「5をならべよう」では、「5」を図として意識させることにより、5になる数の組み合わせを考えることができるよう工夫されている。(1年①P11)			●「整理の仕方」の単元では、いくつかの視点を順に示し、学びにストーリー性を持たせることで、児童が興味・関心を高め学習が進められるよう工夫されている。(4年下P28～33)		
	(2) 本文、さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。	●割合の単元の数直線では、「くらべられる量」と「もとにする量」が色分けされており、数量関係を理解し立式できるよう工夫されている。(5年下P67等)	●割合の単元の数直線では、「割合」「くらべる量」「もとにする量」が色分けされており、児童が数量関係を理解し立式できるよう工夫されている。(5年P167等)	●「なんばんめかな」の単元では、「め」に色を付けて用語によって数え方の違いを意識させるよう工夫されている。(1年上P33)			●割合の単元の数直線では、「くらべる量」と「もとにする量」が色分けされており、児童が数量関係を理解し立式できるよう工夫されている。(5年P215)
E 補充・発展的な学習に関する配慮	(1) 児童・生徒の興味関心に応じて学習を深め広げていく学びに向かう力が培われるものとなっているか。	●「算数で読みとこう」では、社会的な問題や課題が取り扱われており、算数的な思考力を活用し、学びを広げられるよう設定されている。(5年下P122, 123等) ●算数卒業旅行「国際コース」では、世界の筆算を取り上げ、日本の筆算形式と比較することで、探究的な学習活動ができるよう工夫されている。(6年P224, 225)	●興味・関心を高め、個に応じて学びが広げられるよう「なるほど算数教室」が設定されている。(4年P210, 270等)	●海外のわり算の筆算を取り上げており、日本の筆算形式と比較することで探究的な学習活動ができるよう工夫されている。(4年上P99)	●「算数ワールド」では、こわれた電卓、方眼で九九を考えようなどの問題が取り扱われており、数学的な見方、考え方を活用し、学びを広げられるよう工夫されている。(4年上P108等) ●学んだことを確認し生かすことができるよう各単元末に「学んだことを使おう」が設定されている。(2年上P29, 下P53)	●「算数の自由研究」では、学びを深め広げていくことができるよう設定されている。(4年上P98等)	●海外のわり算の筆算を取り上げており、日本の筆算形式と比較することで探究的な学習活動ができるよう工夫されている。(4年上P40) ●「使ってみよう」では、算数の楽しさやよさを感じられるように作業的・体験的な活動が取り扱われている。(5年P188等)
	(2) ICT機器を有効に活用できる箇所が適切に記載されているか。	●デジタルコンテンツでは、考え方の確認や練習問題の採点機能等、単元導入で活用できるオープニングムービー等が取り扱われており、効果的な学習が進められるよう設定されている。(3年下P14等)	●デジタルコンテンツでは、動画の学習内容の解説や練習問題後のチャレンジ問題が用意されており、一人ひとりに応じた学習ができるよう設定されている。(3年P65等)	●デジタルコンテンツでは、図のかき方や計算のしかたを閲覧したり、操作できたりする等、一人ひとりに応じた学習の進め方ができるよう設定されている。(2年下P72等)	●デジタルコンテンツでは、グラフの作成や考え方を動画で確かめる等、一人ひとりに応じた学習を進められる内容が取り扱われている。(6年P113等)	●「解説動画(スマートレクチャー)」が各単元ごとに設定されており、家庭学習で学び直しや予習復習ができる内容が取り扱われている。(3年上P51等)	●デジタルコンテンツでは、一人ひとりに応じた学習に取り組むことができるよう、動画や練習問題等が取り扱われている。(5年P23, 6年P66等)

選定委員会答申

小学校 種目【理科】

発行者		東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
A 関 目 標 の 取 扱 い に	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●「問題をつかもう」「考えよう」等の問題解決の活動の中で、見方・考え方について「理科のミカタ」でヒントが提示されている。(3年P43～46等)	●「問題を見つけよう」「予想しよう」「考えよう」等の問題解決の活動の中で、見方・考え方についてキャラクターの吹き出しでヒントが提示されている。(3年P147等)	●理科の見方・考え方を働かせる項目を3つに整理することで学習活動で何が身に付いたのかを実感できるよう工夫されている。(5年P7, P19等) ●「問題を見つけよう」「けっかから考える」の学習活動では、見方・考え方についてキャラクターの吹き出しを用いて分かりやすく提示されている。(3年P119等)	●「見つけよう」「予想しよう、計画しよう」「結果から考えよう」等の問題解決の活動の中で、見方・考え方についてキャラクターの吹き出しにピンク色で網掛けし効果的に学習に取り組めるよう工夫されている。(3年P77, 78等)	●学習活動の中で、見方・考え方について、緑色で線引きし強調することで、学習を進めていく上で留意することができるように工夫されている。(3年P95等)
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとのつながりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。	●「流れる水のはらたき」では、生き物がすみやすい川にする取組みが掲載され、身近な川について主体的に考えられるよう工夫されている。(5年P93)	●「りかのたまてばこ」に「伝統」のマークが示されており、日本の伝統文化を学ぶことができる内容が掲載されている。(6年P165等)	●「わたしの自由研究」では、身近な自然や生き物について、考えて調べられるよう計画が記載されており、興味を持って活動できるよう工夫されている。(5年P64, P65等)	●「資料」や「ステップアップ」では、発展問題が多く掲載されており、中学校の学習やより深い学びにつながるよう工夫されている。(6年P38等)	●「理科の広場」に「発展」のマークと「中学校」のマークがあり、中学校の学習につながる内容が提示されている。(6年P64等) ●近畿地方の事象や場所が随所に取り上げられており、学習内容が身近に感じられるよう掲載されている。(5年P63等)
B 内 容 の 取 扱 い お よ び 程 度 に	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●「電気を通す物と通さない物」では、実験の結果を色違いの付箋を使って掲載され、自分の考えを整理し考察ができるよう工夫されている。(3年P138等)	●「結果の分析」等、各学年の巻頭では、特に意識させたい学習活動が掲載されている。(6年P2等) ●「確かめよう」「学んだことを生かそう」で学んだことを説明する問題を設定し表現する力を養えるよう工夫されている。(5年P18, 19等)	●「問題を見つける」学習活動において、「活動」の項目を取り入れ、グループで意見を出し合ったり理由を考える場面が設定されている。(6年P75等) ●「月の形と太陽」では、考察を2つの側面からとらえるよう設定されており思考力が高まるよう工夫されている。(6年P116, 117)	●「人のたんじょう」では、様々な調べ方を提示し児童が学習活動に取り組みやすく、調べたことを発表する方法についても提示されている。(5年P180, 181)	●「活用しよう」では、おかしの色の変化など身近な現象を取り上げることで意欲を高めて活用問題に取り組めるよう工夫されている。(6年P112等) ●書く活動について、ノートのまとめ方が示されており、友達の考えもノートに書いて自分と比較する工夫についても取り上げられている。(6年P206～208等)
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。	●外国にルーツを持つ児童や車いすを使用する児童が活動する場面が随所に掲載されている。(6年P38等)	●電動車いすでスポーツする写真が掲載されており、学習したことが多くの人達の生活を支えていることが実感できるよう工夫されている。(5年P153)	●「じしゃくのひみつ」の魚釣りゲームを行う場面で、車いすを使用する児童も一緒に楽しく活動しているイラストが掲載されている。(3年P156)	●「体のつくりと運動」では、義足の陸上選手が走る写真を掲載し、「科学のまど」では、同じ陸上選手から学習内容が取り扱われている。(4年P33, 37)	●教科書全体の配色に関して、3, 4年生はオレンジ色、5, 6年生は青色に設定し、発達の段階に合わせて学習活動に取り組めるよう工夫されている。(各学年教科書)
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●「チョウのかんざつ」では、モンシロチョウのたまご・幼虫・さなぎの実際の大きさを示す際に、鉛筆でこすると目に見える方法が掲載されており、興味を持って学習活動に取り組めるよう工夫されている。(3年P26～P28)	●「月や星」の夜空を扱う單元では、見開き2ページを使って夜空を鮮明に掲載することで興味関心を持てるよう工夫されている。(4年P100, P101等)	●「もっと知りたい」では、「くらし」というマークが多数記されており、自分たちの生活と結びつけて学習できるよう工夫されている。(6年P101等)	●「川と災害」では、洪水などの災害に関するハザードマップを掲載する一方で、巻末の「メッセージ」に、川のめぐみを大切にする視点を掲載し、多様な考え方に触れることができるよう工夫されている。(5年P127) ●実験の結果をまとめたノートの図の一部が例として掲載されており、どのように記録するかについて、提示されている。(3年P135等)	●「くらしとリンク」では、学習した発電の技術が資源を無駄なく使うために活用されている例を取り上げており、学習内容を発展的に学べるよう工夫されている。(6年P190等)

選定委員会答申

小学校 種目【理科】

発行者		東京書籍		大日本図書		学校図書		教育出版		啓林館	
C 学 創 意 と 工 指 導 に 関 す る こ と に 対 す る 配 慮 お よ び	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で 深い学びが実現するための工夫 があるか。	●「ふりこのきまり」では、考察の場 面で二次元コードを用いて話し合い活 動を示すことで、対話的な学習活動が 行われるよう工夫されている。(5年 P147等) ●「こんなところにも！」を設定し、 学習内容が普段の生活やこれからの生 活につながっていることを意識できる よう工夫されている。(6年P135等)	☆☆☆	●問題から結論までの学習過程にイラ ストとコメントを効果的に用い、学び 方が分かりやすく掲載されている。(6 年P62～P64等)	☆☆	●「観察」「計画」「考察」等の学習 活動の項目に色を塗るハートが設けら れており、学習の中で力を出せた分の 色を塗ることで学習過程を自分で確認 できるよう工夫されている。(5年P70 等) ●「伝える・聞く」では、話し合う活 動で使う表現がグループで話し合うイ ラストと共に示されており、話し合う 活動が効果的に行えるよう工夫されて いる。(3年P169等)	☆☆☆	●「自分たちの考えを伝え合い、学び 合おう」では、自分の考えを伝える際 に使う表現の例とともに各学年で大切 にしたい言葉が提示されている。(6年 P5等) ●結果から考えようの場面で、最初の 予想に対する話し合い活動を通して、 新しい予想を考える過程が示されてお り、主体的・対話的で深い学びができ るよう工夫されている。(6年P166)	☆☆☆	●「伝える」では、話すときや聞くとき、 発表するときのポイントがイラス トとともに示されており、話し合う活 動を効果的に進められるよう工夫され ている。(5年P184等) ●実験のまとめのあとに「もっと知り たい」活動を示し、疑問に感じたこと を話し合う場面や発展的な実験につい て示すことで、主体的・対話的で深い 学びができるよう工夫されている。(5 年P146, 147等)	☆☆☆
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学 習展開など、多様な学習活動や 学習方法を支援する工夫がある か。	●「自然の中の水のすがた」では、簡 単に体験できる実験方法を紹介し、学 習活動においてより理解が深められる よう工夫されている。(4年P96等)	☆☆	●「生物と地球環境」では導入での身 近な生物への問題発見から単元末の食 べ物・空気・水の関わりまで、広い視 点を持って学習活動に取り組めるよう 工夫されている。(6年P70, 71等) ●問題を見つける場面では、注目させ たいことを記載することで、視点を明 確にした問題解決学習が展開されるよ う工夫されている。(4年P42等)	☆☆☆	●「調べる①」では、図書館での資料 の探し方が掲載されており、多様な学 習活動ができるよう工夫されている。 (6年P220等) ●「ものの燃え方と空気」では、体積 の割合について予想する学習活動にお いて、イメージ図を掲載することで多 様な考え方ができるよう工夫されてい る。(6年P22, P23等)	☆☆☆	●SDGsについて説明されており、「科 学のまど」では、これまでの学習と SDGsを関連付けた内容を記載すること で理科と生活を結び付けて活動できる よう工夫されている。(各学年巻頭, 6 年P203～P207)	☆☆	●「植物探検シート」が掲載されてお り、観察する際に活用できるよう工夫 されている。(3年巻末) ●学習活動を線で結んだうえで「問 題」と「まとめ」等、対応している内 容にはフレームを統一して示すことで 問題解決的な学習が進められるよう工 夫されている。(5年P164～P168, P2, 3 等)	☆☆☆
	(3) 学習の振り返り等、知識を十分 習得できるような工夫がある か。	●単元冒頭に「学ぶ前に」、最後に 「学んだあとに」が設定されていて、 何を学んだかを振り返り、何が身に付 いたのかを実感できるよう工夫されて いる。(6年P120等)	☆☆	●「学びをリンク！」では、学習した 単元のまとめが整理され、これまでの 学習を効果的に振り返ることができる よう工夫されている。(6年P192) ●「学年のまとめ」では、1年間で学 習したことを見開き2ページにまと め、各単元のチェック項目で自らの学 習を振り返ることができるよう工夫さ れている。(5年P190, 191)	☆☆☆	●「ふりかえろう」では、短答式の問 題だけでなく活用問題も掲載し、様々 な問題に取り組み知識を十分習得でき るよう工夫されている。(6年P102, 103 等)	☆☆	●「ふり返ろう」では、学習前後の自 分の考えの変化に触れることで、学習 によって何が身に付いたのかを実感で きるよう工夫されている。(5年 P172, 188等)	☆☆	●単元冒頭の「はじめに考えてみよ う」と最後の「もう一度考えてみよ う」で同じ問いかけを設定することで 自分に何が身に付いたのかを振り返 ることができるよう工夫されている。 (6年P155, 169等) ●「まとめノート」「新しく学習した 言葉」が掲載されており、これまで学 習したことがふり返ることができるよ う工夫されている。(5年P133等)	☆☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【理科】

発行者		東京書籍		大日本図書		学校図書		教育出版		啓林館	
D 組織・配列に 関すること	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。	●「思い出そう」では、これまでの学習で気を付けたこと等を掲載することで効果的な学習活動が展開できるよう工夫されている。(3年P108等) ●「算数科で学んだことを活用しよう」では、観察や実験結果を、算数で学習したグラフに表す方法等が示されており、2つのグラフを重ねる工夫が提示されている。(4年P195)	☆☆☆	●「ゴムと風の方のはたらき」では、「生活科とのつながり」が記されており、既習事項を活用し学習を進められるように工夫されている。(3年P57等)	☆☆	●「もっとしりたい」では、学習した内容を他教科と関連付けて掲載することで、より効果的に学習に取り組めるよう工夫されている。(4年P53等)	☆☆	●「算数とのつながり」では、気温の変化を取り上げ算数の折れ線グラフと関連付けて学習できるよう工夫されている。(4年P225等)	☆☆	●適所に他教科マークを表示し、他教科との関連を意識できるように工夫されている。(3年P97等) ●巻末資料で「理科につながる算数のまど」で他教科とのつながりを意識した上で、分度器を用いた角度の測り方等、算数の既習事項と理科との関連が取り上げられている。(4年P194, 195等)	☆☆☆
	(2) 本文、さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。	●「天気と気温」では、3種類の天気の気温を同じページに並べて掲載し、学習を効果的に取り組めるよう工夫されている。(4年P34等)	☆☆	●全国4か所の川の変化の様子をとらえた複数の写真が教科書の向きを変えて見れるように掲載されており、児童が比較しやすいよう工夫されている。(5年P88, 89)	☆☆	●「考えて調べよう」では、顕微鏡について、使う前の扱い方や使い方の手順を写真を用いて分かりやすく掲載されている。(5年P186, 187等)	☆☆	●「人や他の動物の体」では、人の体の様子が前面・背面ともほぼ実際の大きさと掲載されており、視覚的に理解が深められるよう工夫されている。(6年P42～P45) ●重要語句を太字にし黄色で網掛けをすることにより、重要な語句や他学年との学習のつながりが分かるよう工夫されている。(5年P114, P122等)	☆☆☆	●ホウセンカとヒマワリのそれぞれの成長を年間を通じて同じ配列で掲載することで成長の変化が、比較しやすいよう工夫されている。(3年P24, P42等) ●学習活動の字の大きさや色を変えたり、ページ全体に余白を取り入れることで、掲載内容が見やすく思考も整理しやすくなるよう工夫されている。(4年P116～118等)	☆☆☆
E 補充・発展的な学習に関すること	(1) 児童・生徒の興味関心に応じて学習を深め広げていく学びに向かう力が培われるものとなっているか。	●「広げよう！理科の発想」では、興味あることを自分で読み進め、発展的な学習につなげられるよう工夫されている。(6年P16等)	☆☆	●「もののあたため方」では実際の生活体験の場面から問題を見付ける形式を取り入れることで、主体性を持って問題解決学習に取り組めるよう工夫されている。(4年P170, P171等) ●「りかのたまてばこ」では、単元で学習した内容が日常生活に取り入れられている例を多数掲載し、興味を持って学習を深められるよう工夫されている。(6年P134等)	☆☆☆	●巻頭や「科学者を知ろう」に科学者のメッセージや業績を掲載することで、理科の学習を活かして学びを深めるきっかけとなるよう工夫されている。(各学年巻頭, 3年P167等) ●「もっと知りたい」「やってみよう」では、学んだことが次の学習や日常の生活につながるような内容を取り上げ、学びが深まるよう工夫されている。(6年P20等)	☆☆☆	●「学びを広げよう」では、自分の身の回りの様子やこれまでの経験を取り上げることで、学習内容を活かして学びを深められるよう工夫されている。(4年P65等)	☆☆	●二次元コードが随所に掲載されており、様々なコンテンツを児童の学び方に応じて活用できるよう工夫されている。(5年P24, 25等)	☆☆
	(2) I C T機器を有効に活用できる箇所が適切に記載されているか。	●「雨水の流れ方」では、端末を使った記録の仕方が画像を使って説明されており、随所に端末を使った学習活動が提示されている。(4年P53等) ●「月や星の見え方」では、月の動きを操作して予想を立てるシミュレーションのデジタルコンテンツがあり、効果的に学習が進められるよう工夫されている。(4年P80)	☆☆☆	●「タブレットを使ってみよう」では、写真や動画の取り方やインターネットの活用について全学年で共通した事項が取り上げられている。(3年P197等)	☆☆	●「調べる②」では、データを見ながら話し合う場面やデータをまとめて話し合う場面を掲載し、ICT機器を使って多様な学習活動ができるよう工夫されている。(4年P195等)	☆☆	●「人や他の動物のしくみ」では、調べ学習で使用するウェブサイトを指定して掲載することで、効果的に学習できる手立てを提示している。(6年P29等) ●「電気の利用」では、センサーのプログラムを例にプログラミングについての内容がアプリの紹介とともに掲載され、興味を持って学習に取り組めるよう工夫されている。(6年P187～P191)	☆☆☆	●「WaCBT」では、学習者用端末を用いて学年で学習したことを映像で見て回答する問題に取り組むことができるよう工夫されている。(6年P216等) ●ICTマークをつけて、具体的な目的やバーチャルリアリティー等も取り入れた活用方法が提示されている。(6年P117等)	☆☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【生活】

発行者		東京書籍		大日本図書		学校図書		教育出版		光村図書		啓林館			
A	目標の取扱いに	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●大切な習慣や技能、学び方などをまとめた「かつどう べんり てちょう」を巻末に設定し、各単元の導入ページから参照できるよう工夫されている。(上P87等)	☆☆	●1年生のはじめに「やってみようせいかつか」のページを設け見開き2ページにわたり学校生活での学習場面を掲載し、身に付けたい力や学び方がわかるよう工夫されている。(上P10, 11等)	☆☆	●「まなびのずかん」では、身に付けたい力をねらいとした学習方法が掲載され、活動の中で活用できるよう設定されている。(上P125～136)	☆☆	●生活科の学習目標を「六つの力」で示し、学び方の手立てとなる「学びのポケット」の7項目と対応させることで学習活動が効果的に行えるよう工夫されている。(上P26等) ●「わくわくスイッチ」では、体験や自分の考えについてチャート式で答え、個々の児童に合った学習活動に取り組めるよう工夫されている。(下P39等)	☆☆☆	●生活科の学習で大切にしたいことを14個の項目に整理し各学習活動のページに掲載することで、児童に何が身に付いたのかを実感させるよう工夫されている。(上P5, 23等)	☆☆		☆	
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとのつながりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。	●「むかしからつたわるあそびをたのしもう」では、高齢者と共に活動する写真が掲載され、地域のつながりの中で学習に取り組むことができるよう工夫されている。(上P100, 101)	☆☆		☆☆	●「ものしりノート」では、電車とバスの乗り方について写真を用いて説明し、公共交通機関を利用する時のマナーが身に付くよう設定されている。(下P16, 17)	☆☆	●「まちが大すき たんけんたい」では、各地のシンボルが示され、自分の住んでいる地域の伝統や誇りに感じているものに興味が持てるよう工夫されている。(下P34, 35)	☆☆	●「なつのたのしみ」では、行ってみたい公園等が掲載され、大阪府の公園が取り上げられている。(上P54) ●「つうがくろをたんけんしよう」では、児童の登下校を見守る地域の活動が写真で大きく掲載され、地域のつながりを意識して学習できるよう工夫されている。(上P26)	☆☆☆	●びっくりずかんLIVEでは、季節の行事や祭りを掲載し、日本の文化や季節の変化を感じることができるよう工夫されている。(下P74, 75等)	☆☆☆	☆☆	
B	内容の取扱いおよび程度に	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。		☆	●「あきを見つけよう」では、春と同じ場所を掲載するだけでなく、木々の写真を白黒で示し、春と比較した秋のイメージが持ちやすくなるよう工夫されている。(上P82, 83)	☆☆	●「おもちゃ大会をしよう」では、みんなで遊ぶ場面を掲載し、作成したおもちゃカードを時系列に並べて示すことで、単元を通して様々な学習活動に取り組めるよう工夫されている。(下P94, 95)	☆☆	●「つたえる」活動の場面では、目的に沿った発表方法を随所に掲載し、自ら考え表現する力を養えるよう設定されている。(下P44等) ●付箋を使って整理する活動や思考ツールを使ってまとめる活動等、多様な学習活動が示されている。(下P57, 113等)	☆☆☆	●「はっけんしたことをつたえよう」では、学習者用端末と大型テレビを活用した教室や話し合いの活動の様子を掲載することで、表現力を育む学習活動に取り組めるよう工夫されている。(下P70, 71等)	☆☆☆	●「わくわく(単元導入)」「いきいき(主な活動)」「ぐんぐん(ふりかえり)」の3段階に分けて学習活動を進めることで児童の学びがくり返し深まるよう工夫されている。(上P86等)	☆☆	☆☆
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。	●「じぶんで できるよ」では、学習の流れが示された小さなホワイトボードが黒板に掲載されており、見通しを持って学習活動が行えるよう工夫されている。(上P49等)	☆☆	●「せかいのなかま」では日本以外の国々のあいさつ・食べ物やじゃんけん等が紹介され、様々な国への興味関心が高まるよう工夫されている。(下巻末)	☆☆	●「たんざくを かいてみよう」では右手で書く場合だけでなく、左手で書く児童についても配慮されている。(上P65)	☆☆		☆		☆		☆		☆
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●「ほんとうのおおきさ いきものずかん」は、花や昆虫等が実物大で掲載され、関心を持って学習を進められるよう工夫されている。(上巻末) ●「あそびのずかん」では、季節ごとにページを設定し、季節に合ったおもちゃを掲載することで、生活経験を活かした活動ができるよう工夫されている。(上P50, 51等)	☆☆☆	●「がくしゅうどうぐばこ」では安全に関する内容や葉書の書き方等に加え、外国の郵便物も掲載し、様々な活動に興味を持って取り組めるよう工夫されている。(上P130～137等)	☆☆	●「わたしのあきがお」では、簡単な言葉の記述から文章を書きこむ形式へと変化しており、発達段階に応じて学習に取り組めるよう配慮されている。(上P29, 33)	☆☆	●「学びのポケット」には、伝え方、乗り物の乗り方、電話のかけ方などが示され、発達段階に応じた知識や技能が身に付くよう工夫されている。(下P109～129等) ●「きせつとなかよし はる・なつ」にある、「のはらずかん」では、様々な生き物を実物大で掲載し興味を持って学習が進められるよう工夫されている。(上P50, 51)	☆☆☆	●切り離して使用できる四季の生き物と植物が掲載されたシートを取り入れ、興味・関心を高めて学習活動を進められるよう工夫されている。(上巻末)	☆☆☆	●「わたしのはなをそだてよう」では、自分の体を使って、アサガオの芽が出てくる様子を真似した写真が掲載されており、興味・関心を高めて学習活動に取り組めるよう工夫されている。(上P26, 60等)	☆☆		☆☆

小学校 種目【生活】

選定委員会答申

発行者		東京書籍		大日本図書		学校図書		教育出版		光村図書		啓林館	
C 学習と指導に対する配慮および 創意工夫に関すること	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するための工夫があるか。	●「かんさつずかん」では、何をどのように観察し、表現すればよいのかが具体的に示されており、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。（上P34, 35等） ●「つたえよう」「つたえ合おう」等の場面では、様々な発表方法や話し合いの様子を掲載することで、主体的・対話的な学習活動ができるよう工夫されている。（下P48, 49等）	☆☆☆	●「12 学び方名人 話し合い名人」や「3 学び方名人 はっぴょう名人」では、いろいろな話し合いの仕方や発表の仕方が示されており、対話的な学習が進められるよう工夫されている。（下P116～119）	☆☆	●学習をさらに深める問いかけをページ右下にイラストとともに設定し、学びを連続的・発展的に深められるよう工夫されている。（上P15, 16等）	☆☆	●単元の初めに設定されている「わくわくスイッチ」では、児童の想いや経験をもとにした問いかけがあり、学習意欲が高まるよう工夫されている。（上P55等）	☆☆	●吹き出しに観察の仕方や学習活動の進め方について示すことで、効果的に学習を進めることができるよう工夫されている。（上P60, 61等）	☆☆	●「友だちと考えよう」では、2人・グループ・クラスの3種類の話し合いの形態が示され、対話的な学習に取り組めるよう工夫されている。（下P120等） ●ページ右下に次の学習につながる言葉を掲載することで、単元を通して多様な学習活動ができるよう設定されている。（下P29等）	☆☆☆
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学習展開など、多様な学習活動や学習方法を支援する工夫があるか。	●ふきだしを、1年生の児童とその他の人物とで色分けをして区別し、1年生の児童の多様な考えを示すことにより、多様な学習活動へとつながるよう工夫されている。（上P17等）	☆☆	●「ようこそ あきのテーマパークへ」では、4ページを用いて学習活動の様子を掲載し、多様な活動に取り組めるよう工夫されている。（上P96～99） ●「えがおでこんにちは」では、1年生の最初の仲間づくり活動のヒントとして活用できる様々な手立てが、活用しやすいよう切り取りシートで設けられている。（上P16）	☆☆☆	●「生きもの大すき」では、劇やペープサートで表現する場面が設定され、表現を楽しみながら学習活動が進められるよう工夫されている。（上P75等） ●「ありがとうがいっぱい」では、家の仕事の様子や児童が活動している写真を多数掲載し、多様な学習活動に取り組めるよう工夫されている。（上P94～99等）	☆☆☆	●板書例を掲載し、めあてに沿った学習活動の流れが共通理解できるよう工夫されている。（上P77等） ●「はっけんロード」では学習のつながりが視覚化されており、探求的な学び方が身に付くよう工夫されている。（下P97～107等）	☆☆☆	●「ひろがるせいかつじてん」では、多様な学習方法から適切な学習方法を見つけることができ、取り外し式にすることで様々な学習活動に活かせるよう工夫されている。（上下巻末）	☆☆	●「ためす」「くらべる」「くふうする」など学びのキーワードを学習活動の写真とともに掲載し、多様な学習活動が行えるよう工夫されている。（上P74, 75等）	☆☆
	(3) 学習の振り返り等、知識を十分習得できるような工夫があるか。	●「見つける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」など、気づいたことを基に考える多様な学習活動例が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品等を用いて取り上げられている。（上P44, 45等）	☆☆	●「きもちマーク」を掲載し、学習活動を通して自分の気持ちと向き合えるよう工夫されている。（上P47等）	☆☆	●「はっ見カード」で振り返りを表現する場面が設定され、自分の思いや気づきを表現して学びを深められるよう工夫されている。（下P69等）	☆☆	●振り返り活動ができるよう、各単元末に「何をかんじたかな」を設定し、「ぐんぐんはしご」に達成度を書き込むことで児童が自己評価できるとともに、それぞれの児童の達成度が視覚化できるよう工夫されている。（上P21等）	☆☆	●「ふりかえろう」を設定し学習後の気持ちの変化を考えることで、学習内容の定着が進むよう工夫されている。（上P23等）	☆☆	●「できるかな できたかな？」が設定されており、資質・能力の3つの柱に対応した3つの項目に沿って学びを振り返ることができるよう工夫されている。（上P33等）	☆☆
D 組織・配列に関すること	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。	●「つながるひろがる」では、3年生で始まる新しい教科について生活科とのつながりも併せて紹介されている。（下P102） ●「つながる」では他教科で学習したことを活かすヒントを示し、教科横断的な視点を持って学習を進めることができるよう工夫されている。（下P29等）	☆☆☆	●「もうすぐ2年生」では、1年間の学習の振り返りだけでなく、新1年生を迎える活動や2年生で挑戦したいことを書くページを取り入れ効果的な指導ができるよう工夫されている。（上P120～127）	☆☆	●目次に単元とともに「学習期間」が記されており1年間の見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。（上下表紙裏） ●「学び方図かん」には、作文の書き方について掲載し、国語科と関連して学習できるよう工夫されている。（下P121）	☆☆☆	●「学びのポケット」に設けられている、「本から学ぼう 国語」に関連する図書が記載されており、生活科の学びを読書に広げられるよう工夫されている。（下P124, 上125）	☆☆	●学習内容を導入（単元扉）、展開（学習活動）、振り返り（まとめ）3つの項目に分け小単元ごとに統一して掲載することで、効果的に学習できるよう工夫されている。（上下P4, 5等）	☆☆	●「あんしん あんぜん」が巻頭「すたあとぶつく」に掲載されており、1年生の最初に命を守る学習ができるよう配慮されている。（上P1） ●「せかいでひとつ わたしのおもちや」では、おもちゃの作り方や招待状の書き方について国語や書写の学習が意識できるよう工夫されている。（下P69等）	☆☆☆
	(2) 本文、さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。	●「どきどきわくわく まちたんけん」では、まちの特徴を示す際に必要な場所のみをカラーで掲載することで児童が効果的に学習に取り組めるよう工夫されている。（下P22, 23等）	☆☆		☆		☆	●「きれいにさいてね わたしのたね」ではページの左端に生長過程がわかる写真を連続して記載し、学習活動の見通しが持てるよう配慮されている。（上P26～P35等） ●小単元名の前に、学習の観点を示したサイコロのアイコンを配置し、学習のめあてをつかみやすいよう工夫されている。（上P70等）	☆☆☆	●ページ右に「こんなこともあるかもね」を設定し、イラストで単元に関連する内容を掲載することで、児童が学習を進められるよう設定されている。（下P39等） ●1年生の最初に学習への興味が高まる場面をイラストで3ページ：掲載し、効果的に学習に取り組めるよう工夫されている。（上P6～8）	☆☆☆	●「がっこうだいすき いちねんせい」、「3年生へのステップブック」は紙面の大きさを変えることで、学習に見通しをもったり、ふり返ることが出来るよう工夫されている。（上巻頭、下巻末）	☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【生活】

発行者		東京書籍		大日本図書		学校図書		教育出版		光村図書		啓林館	
E 補充・発展的な学習に 関すること	(1) 児童・生徒の興味関心に応じて学習を深め広げていく学びに向かう力が培われるものとなっているか。	●二次元コードを読みとると、活動をする際の約束や虫の鳴き声などのコンテンツにアクセスすることができ、補充的・発展的な学習が出来る内容となっている。（上・下目次）	☆☆		☆	●「もっと〇〇」では、児童の興味関心に応じて発展的な学習が進められるよう工夫されている。（下P14等）	☆☆		☆	●「ひろがる せいかつじてん」の「いろいろな れんらくほうほう」では、手紙や電話だけでなく、メールやオンライン通話も掲載され、児童の興味に応じて学習が進められるよう工夫されている。（下巻末資料P10）	☆☆	●「みらいにむかって」では、生活科の学びが3年生以降につながっていくことを示すとともに、3年生の学習や将来の夢につなげて考えられるよう設定されている。（下3年生へのステップブックP7） ●おもちゃの作り方では、紙面だけでなく、二次元コードで動画を見ることができ、10種類の動画が設定されている。（下P73）	☆☆☆
	(2) I C T 機器を有効に活用できる箇所が適切に記載されているか。	●活動や体験の中で、ICT機器を使って記録や観察をしたり、撮影した画像を発表したりする学習活動が掲載され、児童がICT機器を有効に活用できるよう工夫されている。（上P32, 33等）	☆☆	●「どんな生き物がいるかな」では、生き物の姿の変化を端末を使って撮影したり、映像を使って発表する場면을掲載し、多様な学習活動に取り組めるよう工夫されている。（下P38, 39等）	☆☆	●ICT機器を活用する際のルールやマナー、プライバシーの配慮などを学ぶことができるよう設定されている。（下P25等）	☆☆	●「えがおのひみつ たんけんたい」では、端末を用いたインタビュー方法について写真を用いて掲載し、ICT機器を効果的に活用できるよう工夫されている。（下P54等） ●「コンピュータをつかうとき」では、端末も含めたICT機器の活用場면을掲載し、使用時のルールやマナーが学べるよう設定されている。（下P128, 129）	☆☆☆	●学習資料の二次元コードを、内容ごとに分類した、4色のキャラクターを用いて配置することにより、興味を高めてICT機器を活用した学習に取り組むことができるよう工夫されている。（下P5等）	☆☆	●「とび出せ！町のたんけんたい！」では、町の人と話す場面では、端末を用いた活動が注意点とともに掲載されている。（下P36）	☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【音楽】

発行者		教育芸術社		教育出版	
A 目 標 の 取 扱 い に 関 す る こ と	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●「学習マップ」では、各学年の学習内容を表し、年間で学習する内容について大まかなイメージを持つことができるよう工夫されている。(3年P4, 5等)	☆☆	●「学習マップ」では、学年を通した学習の見通しを示しながら、各題材で学習する内容が説明されている。(3年P2, 3等)	☆☆
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとのつながりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。	●「越天楽今様」について、旋律の歌唱に加えて、雅楽を演奏する写真と歴史が掲載され、総合的に学んだうえで鑑賞できるよう設定されている。(6年P46, 47) ●知識をより広げるための発展的な学習「チャレンジ」が設定され、地域や家族とつながる学習が取り扱われている。(6年P42)	☆☆☆	●「越天楽今様」について、旋律の歌唱と伴奏の楽譜が掲載され、雅楽の特長を学んだ上で笛の演奏ができるよう設定されている。(6年P44, 45)	☆☆
B 内 容 の 取 扱 い お よ び 程 度 に 関 す る こ と	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●題材ごとに「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」等のアイコンで学習のポイントを示し、学習の目当てをつかみやすいよう工夫されている。(4年P13等) ●音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動を進めるために、キャラクターのセリフによるヒントが示されている。(6年P35等)	☆☆☆	●「まなびナビ」では、指導上の留意点が示され、思考させたい内容について記載されている。(6年18, 19等)	☆☆
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。	●外国の遊び歌を取り上げ、音楽を通して国際理解ができるよう工夫している。(1年P10, 11等)	☆☆	●諸外国の音楽文化について取り上げ、音楽を通して国際理解ができるよう工夫している。(6年38, 39等)	☆☆
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●鍵盤ハーモニカの学習では、ド（親指）とソ（小指）の位置を学んでから、「ドレミ」を学び、「ドレミファソ」を身につけるよう段階的に学べるよう配慮されている。(1年P38～43) ●1～4年では、風船の挿絵を使って音の高低を表し、高低をイメージして歌えるよう工夫されている。(1年P43等)	☆☆☆	●「全校合唱」として全学年に共通した2曲が設定されており、全校で合唱に取り組めるよう配慮されている。(5年P71, 72等)	☆☆
C 学 習 と 指 導 に 対 す る 配 慮 お よ び 関 す る こ と	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するための工夫があるか。	●2拍子や3拍子を手合わせなどで楽しく体感しながら学べるよう工夫されている。(2年P14～19) ●旋律づくりについて、系統的に取り上げられており、表現力を身に付けられるよう工夫されている。(2年P27等)	☆☆☆	●「音のスケッチ」で音楽を作る学習を取り入れており、表現力を身に付けられるよう工夫されている。(4年P26, 50等)	☆☆
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学習展開など、多様な学習活動や学習方法を支援する工夫があるか。	●感じたことや自分の考えを書きこむ欄が設けられており、多様な学習活動ができるよう工夫されている。(6年P33等) ●「音楽づくり」をする際に、音符やリズムを選択することで曲が作れるよう工夫されている。(6年P22, 23)	☆☆☆		☆
	(3) 学習の振り返り等、知識を十分習得できるような工夫があるか。	●「ふり返りのページ」があり、1年間で学んだことを確認できるよう工夫されている。(1, 2年P80, 81等) ●「そだてよう」では、教材と関連させながら、スモールステップの活動を積み重ねることで、音楽の力を育てることができるよう工夫されている。(3年P9等)	☆☆☆	●1～4年生では、『『音楽のもと』まとめ』で音楽を形づくっている要素をイラストで視覚的に捉えられるよう工夫されており、5・6年生では、それらが音楽の縦と横との関係（音の重なり方と音楽の進み方）で表示されている。(5年P78等)	☆☆
D 組 織 ・ 配 列 に 関 す る こ と	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。	●地域に伝わる音楽が都道府県別に示されており、社会科と関連付けて学習できるよう工夫されている。(4年P28, 29) ●「ごんぎつね」が取り上げられており、国語と関連付けて学習できるよう工夫されている。(4年P72, 73)	☆☆☆	●「ショートタイムラーニング」では、「みんなで九九」、「たんいのうた」や英語の歌など教科横断的な教材が設定されている。(2年P70, 71等) ●「大きなかぶ」が取り上げられており、国語と関連付けて学習できるよう工夫されている。(1年P62, 63)	☆☆☆
	(2) 本文、さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。	●「いつでもあの海は」は、特徴のある旋律部分を取り上げ、旋律の重なり方を視覚的に理解できるよう工夫されている。(5年P18, 19等)	☆☆	●「ふじ山」、「さくらさくら」、「こいのぼり」、「おぼろ月夜」等風景の写真を折り込みで掲載し、情景をイメージしながら歌えるよう工夫されている。(3年P40, 41等)	☆☆
E 学 習 に 関 す る 補 充 ・ 関 心 の 点	(1) 児童・生徒の興味関心に応じて学習を深め広げていく学びに向かう力が培われるものとなっているか。	●「地域に伝わる祭りばやしを調べよう」では、学んだことから自分の学習へとつなげられるよう工夫されている。(3年P63)	☆☆	●「がっきをつくってみよう」では、楽器を作成する教材、「しの笛のみりょく」では、横笛に挑戦する教材が掲載されており、発展的な内容が取り扱われている。(5年P62, 63等)	☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【音楽】

発行者		教育芸術社		教育出版	
発展的な すること	(2) I C T 機器を有効に活用できる箇所が適切に記載されているか。	●各ページに二次元コードがあり、主旋律の音、楽器の使い方の例、言葉の説明などのページにつながり、実際に音を聞いたり、文字での説明を見られたりするよう工夫されている。(6年P11等)	☆ ☆	●二次元コードの「まなびリンク」では、奏法や解説動画、関連資料、音源、ワークシートなど幅広いコンテンツが150本以上用意されている。(2年P33等)	☆ ☆

選定委員会答申

小学校 種目【図画工作】

発行者		開隆堂出版	日本文教出版
A 目標の取扱いに 関すること	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●当該題材で育てたい資質・能力が、観点ごとに種類分けされたキャラクターと文章で明示されている。(3・4年上P12等)	●当該題材で育てたい資質・能力が、観点ごとに種類分けされた絵と文章で明示されている。(3・4年上P12等)
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとのつながりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。	●「地いきとつながる」では、全国各地の造形活動や造形品を、市町村名を載せて紹介することで、より地域を意識するよう工夫されている。(3・4年下P54～57)	●「すてられそうなものがよみがえる」では、都道府県の特徴が地域で手に入る材料を用いて紹介されており、原材料から制作される工芸品や子どもの作品を紹介しながら地域を感じられるように工夫されている。(3・4年下P32, 33) ●「受けつがれてきた形」では、日本各地で昔から受けつがれてきた形や色、イメージなどに着目した写真を見比べながら、共通点や違い、特徴などを見つけられるよう工夫されている。(5・6年下P38～41)
B 内容の取扱いおよび程度に 関すること	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●「たからもののものがたり」では、自分の宝物を紹介する際に、物の特徴を入れた理由を発表させることで、図工の見方・考え方を育むことができるよう工夫されている。(1・2年下P38, 39)	●「あんなところがこんなところに」では、場所の形や色などを生かして、どうつくりかえるのか考えられるようにいくつかの例が提示されている。(5・6年上P14, 15) ●「草花のおしゃべり」では、写真に吹き出しをつけて「どんなおしゃべりがきこえてきそうかな」と問いかけることで想像力を掻き立てるよう工夫されている。(1・2年下P52, 53)
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。	●「人とともに未来をつくる」では、さまざまな体の特徴に合わせて使用できる水飲み場や、使いやすい文房具を取りあげ、全ての人がくらしやすい社会について考えることができるよう工夫されている。(5・6年下P54, 55)	●「平和を願って」では、ゲルニカを見開きで大きく取り上げるとともに、原爆ドームをかき続ける作者の思いが紹介され、作品に表現された作者の思いに触れられる内容となっている。(5・6年下P48, 49)
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●「ビー玉大ぼうけん」「学校もりあげますコット」など、どんな活動をするのがイメージしやすく、興味を持たせる題名が設定されている。(5・6年上P12, 3・4 年下P36等)	●高学年では、フェルメールやモネなどの作品や現代アートなど、幅広い地域と時代の作品をミニ・アートカードにして紹介されており、児童の興味・関心を高めるとともに、カードを使って様々な活動ができるよう工夫されている。(5・6年上P68) ●「きをつけよう」では、彫刻刀を使用する教材を、児童のアングルで大きな写真を掲載するなど、事故防止に留意する資料が発達段階に応じて取り扱われている。(3・4年下P62等)
C 学習と指導に 対する配慮および 創意工夫に関する こと	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するための工夫があるか。	●「ひらめきショートチャレンジ」では、身近な材料を使った簡単な教材を紹介しており、家庭でも取り組めるよう学びを広げる工夫がされている。(3・4年上P64) ●「ぞうけいあそび」では、学びの資料の中に話し合いながら協働して制作する作品の教材が設定され、互いの意見を大切にしながらまとめていくことができるよう工夫されている。(3・4年下P16, 17等)	●「ひらめきマーク」を随所に設け、発想を広げる方法など特に大切なめあてと関連させて具体的な手立てが示されており、例えば詩や物語の言葉から感じたイメージを表現する学習においては、試行しながら形や色を考える等、考えるためのヒントを与える工夫がされている。(5・6年上P32等) ●「消してかく」という教材において、「色を塗る」ではなく、「塗った色を消す」という逆の発想で作品を生み出すという楽しさから創作意欲が高まるよう工夫されている。(5・6年上P16, 17)
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学習展開など、多様な学習活動や学習方法を支援する工夫があるか。	●「美術館をたのしもう」では、実際に美術館を訪れるような体験的な学習が掲載されており、全国にある美術館の特徴的なプログラムを紹介することで、様々な楽しみ方ができるよう工夫されている。(5・6年上P52, 53)	●「美術館へ行こう」では、実際に美術館を訪れるような体験的な学習となっており、多様な楽しむポイントが示されている。(5・6年上P56, 57) ●「ならべてならべて」では、石や葉っぱ、教室にあるものなど、身近なものを使って作品をつくることができるように工夫されている。(1・2年上P42, 43等)
	(3) 学習の振り返り等、知識を十分習得できるような工夫があるか。	●「ふりかえり」では、振り返るポイントを掲載することで、目標に沿った振り返りができるよう工夫されている。(5・6年P47等)	●「ふりかえり」では、目標を意識した振り返りのポイントが児童の言葉で掲載され、自分自身のこと置き換えられるよう工夫されている。(3・4年上P7等)
D 組織・配列に 関すること	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。	●「地球まるごとたからばこ」では、落ち葉などの自然物を利用する造形遊びが設定されている。(5・6年上P34, 35) ●SDGsについてのコラムがあり、学習内容と関連付けて考えられるよう工夫されている。(5, 6年上P35等)	●「カタツムリのおやこ」「なんだか、はじめての花火がうれしい」など、季節に合わせた自然の様子を表現する教材を適切な時期に配置されている。(1・2年上P19, 3・4年上P20等) ●持続可能な社会について考えられるようESDの観点に立った題材や事例や、SDGsを扱ったページが掲載されている(5・6年上P37等)
	(2) 本文、さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。	●単元ごとの作品や作品作りに取り組んでいる写真が見開きで紹介されており、見通しを持って学習を進められるよう工夫されている。(1・2年下P5～7等) ●子どもたちがマスクをしておらず、表情が伝わりやすいよう配慮がされている。(5・6年上P48, 49等)	●見開きで「教科書美術館」が設定されており、発達段階に応じた作品や現代アートを紹介して、興味関心を持って学習を進められるよう工夫されている。(1・2年下P44等)
E 学習に 関する 補充・発展的な こと	(1) 児童・生徒の興味関心に応じて学習を深め広げていく学びに向かう力が培われるものとなっているか。	●「自分のマークを書きましょう」では、児童それぞれが創造したマークを描くことで、教科書そのものに興味が持てるよう工夫されている。(3・4年上裏表紙等)	●「つながる図工」では、図工を通して人とつながる場面について紹介している。(3・4年上裏表紙等)
	(2) ICT機器を有効に活用できる箇所が適切に記載されているか。	●二次元コードを読み込むと、「はじめに」「ちょうこく刀の使い方」「グラデーションのつくり方」「作品」「作品カード」「かんしょうカード」「ふりかえりカード」等の項目があり、必要に応じて単元の見通しや用具の使い方、ワークシートなどを活用することができる内容となっている。(3・4年下P42, 43等)	●二次元コードを読み込むと、「ざいりょう用具の使い方」「友だちの作品を見てみよう」という項目があり、用具の使い方の詳しい説明や、子どもの作品例が多く取り扱われている。(3・4年下P48, 49等)

選定委員会答申

小学校 種目【家庭】

発行者		東京書籍		開隆堂	
A 目標の取扱いに 関すること	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●各単元の導入ページに「家庭科の窓」が配置されており、巻頭内折込ページの「家庭科の窓」で示されている生活における見方・考え方の視点で学習に取り組めるよう工夫されている。(P3, 12等)		●巻頭内折込ページでは、家庭科における生活の見方・考え方の4つの視点を四つ葉のクローバーを用いて示し、各単元の導入だけでなく、4つの視点をもとにした具体的な活動例や考え方にも活用できるよう工夫されている。(P3, 36等)	
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとのつながりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。	●「日本の伝統」のマークを用いて、日常生活に係る伝統文化について、道具や器、食品等の写真を交え随所に掲載されている。(P149等)		●「伝統」のマークを用いて、日本各地の地域行事や伝統工芸、受け継がれている衣生活の文化、伝統食等が随所に掲載されている。(P57等)	
B 内容の取扱いおよび程度に 関すること	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●「ゆでる調理でおいしさ発見」では、食材によっておいしく食べられるゆで時間のちがいを、理科の実験のように調べ、結果を導き出し、どうしたらいいのか考える授業展開となるよう工夫されている。(P20～27)		●「生活の中のプログラミング」では、家電製品と手作業の違いを縦に並べ比較して考えられるよう工夫されている。(P140, 141) ●ゆで時間にちがいがある複数の野菜に合う手順を考える活動や、ごはんのみそ汁が同時にできあがる手順を考える活動などを取り上げ、調理を段取りよくすすめる方法について考えることができるよう工夫されている。(P18, 141)	
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。				
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●巻末には、調理の手元や切った野菜を実寸大で確認できる写真などが掲載されており、主体的に取り組めるよう配慮されている。(P136～139) ●裁縫用具の写真に添えて使用方法が示されており、基礎的な知識が習得できるよう工夫されている。(P29)		●巻末に実習に役立つ作業の手元がわかる大きな写真や、裏表紙に切り方の一覧が掲載されており、調理実習時に教科書を開けることなく、いつでも切り方を確認ができるよう工夫されている。 (P149, 裏表紙) ●裁縫の導入段階では、裁縫用具を一つずつ確認できるチェックボックスが設けられており、自分自身で準備物を確認できるよう工夫されている。(P21)	
C 学習と指導に対する配慮および 創意工夫に関する こと	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するための工夫があるか。	●「プロに聞く」では、プロの視点で職業の内容が紹介されており、仕事や生活に興味・関心を持つことができるよう設定されている。(P101等)		●「なぜ衣服を着るのだろう」など、学習の導入のタイトルでは、なぜという問いかけからはじめることで主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(P66等) ●「キャリアインタビュー」では、学習内容に関わる職業へ興味を持てるよう内容が取り扱われている。(P16等)	
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学習展開など、多様な学習活動や学習方法を支援する工夫があるか。	●冒頭の折り込みページに、学習の進め方が示されており「課題発見」「課題解決・実践活動」「評価・改善」の3つのステップを紹介し、各単元の導入ページにもそれに対応した学習の流れを提示することで、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。(P4等)		●冒頭ページに、学習の進め方を「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つの順序で示され、それに対応した学習のめあてが各単元の導入ページに取り扱われており、児童が課題解決的な学習ができるよう工夫されている。(P10等)	
	(3) 学習の振り返り等、知識を十分習得できるような工夫があるか。	●「ふり返ろう」のマークが学習の段階に応じて下欄に掲載されており、具体的な振り返りの内容が記述されており、課題意識が高まるよう工夫されている。(P13等)		●単元の最後には「学習を振り返ろう」のコーナーを設け、単元初めのページに示されているめあてに戻って項目をチェックしながら振り返りができるよう工夫されている。(P98～102) ●5年生から6年生への学習のつながりや、中学校への関連性が掲載されており、次の学年との系統性を意識したページが掲載されている。(P78～83, 136～137)	
D 組織・配列に 関すること	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。	●調理器具の正しい扱い方や基本的な作業、後片付けの仕方が紹介されており、安全に安心して学習が進められるよう配慮されている。(P10, 11)		●実習において必要となる用具の名前、基本的な作業方法、後片付けの仕方等が紹介されており、児童が主体的に学習を進められるよう工夫されている。(P12, 13)	
	(2) 本文、さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。	●玉結び、玉どめの成功例・失敗例を写真で例示しており、視覚的に捉えやすいよう工夫されている。(P30, 31)		●玉結びの作業の流れでは、指で押さえて見えない糸をイラストで見えるように書くことで、児童が具体的なイメージを持ち、実習できるよう工夫されている。(P23) ●実習作業の流れでは、改行せず左ページから右ページにわたって、流れを説明することで、迷わず明確に手順が理解できるよう工夫されている。(P100, 101等)	
E 補 充 学 習 ・ 発 展 的 な 関 心 に 関 す る こ と	(1) 児童・生徒の興味関心に応じて学習を深め広げていく学びに向かう力が培われるものとなっているか。	●「夏休みにチャレンジ」のコーナーを設け、長期休業中に興味関心を広げられるよう工夫されている。(P35, 101)		●買い物に関するトラブルについて、具体的な2つの事例を紹介することで実生活と重ねて考えられるよう工夫されている。(P64)	
	(2) I C T 機器を有効に活用できる箇所が適切に記載されているか。	●トライシートには、Yチャートやベン図などの思考ツールがあり、考えを整理して学習を深められるよう工夫されている。(P21等)		●かきこみカードがダウンロードでき、学習支援ソフトウェアで意見を共有することができるよう工夫されている。(P30等)	

選定委員会答申

小学校 種目【保健】

発行者		東京書籍		大日本図書		大修館		文教社		光文書院		学研	
A 目標の取扱いに 関すること	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●各項がステップ1からステップ4で構成され、問題解決の過程が表示されている。(3・4年P7等)	☆ ☆	●課題を発見・解決する活動、学習したことを活かす活動により、思考力、判断力、表現力育成されるように配慮されている。(5・6年P10等)	☆ ☆	●身近な生活の中から課題をつかみ、ステップ1（見通しをもつ）、ステップ2（課題を解決するための活動）、ステップ3（まとめる）の3ステップで設定されている。(3・4年P6等)	☆ ☆	●各項目に学習のめあてが示されており、学習の進め方がわかるように工夫されている。(3・4年P4等)	☆ ☆	●見つける、知る(話し合おう、調べよう)、生かす(生かそう)の3つの要素で学習の流れが設定されている。(3・4年P12, 13等)	☆ ☆	●導入(課題をつかむ)、ベース①(自ら取り組む活動)、ベース②(対話的な活動)、ベース③(活用)で設定されている。(3・4年P8)	☆ ☆
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとをつなぐりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。	●子ども見守りボランティア、地域合同防災訓練が取り上げられ、地域で子どもを守り育む活動として取り扱われている。(5・6年P33, 37) ●「安全マップ」作りで、家庭や地域の人と協力して調べる活動が取り扱われている。(5・6年P35)	☆ ☆ ☆	●防犯パトロールや「安全マップ」作りで、地域の様子を知る活動が取り上げられている。(5・6年P29等) ●「はってん」に家族や地域で、子どもの成長をお祝いする行事が取り上げられている。(3・4年P38等)	☆ ☆ ☆	●「地域での安全な環境作り」では飛び出し注意や川の増水注意の看板が記載され、地域で安全対策を実施していることが取り上げられている。(5・6年P33) ●地域の保健活動の取り組みについて、具体的な内容が紹介され、理解しやすいよう工夫されている。(5・6年P70～71)	☆ ☆ ☆	●地域安全パトロールや「安全マップ」作りで、地域の様子を知る活動が取り上げられている。(5・6年P36) ●交通事故の発生と原因では、都道府県ごとの死傷者数を取り上げ、自身の地域ではどうなっているかを意識させる資料が提示されている。(5・6年P26)	☆ ☆ ☆	●防犯教室、登下校見守り活動が取り上げられ、地域で子どもを守り育む活動として取り扱われている。(5・6年P31) ●他の学年との関連を示すマークに「中学校」も取り上げ、中学校での学習のつながりが提示されている。(5・6年P33等)	☆ ☆ ☆	●「安全マップ」作りや地域住民による見守り活動があり、地域の様子を知る活動が取り上げられている。(5・6年P39) ●「もっと知りたい・調べたい」で地域の防災活動などが取り扱われている。(5・6年P45)	☆ ☆ ☆
B 内容の取扱いおよび程度に 関すること	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●まとめる・生かすでは、学習した内容を自分なりに文章として書き出して振り返ることができるよう工夫されている。(5・6年P26等)	☆ ☆	●「活かそう」が随所に設けられ、自分の生活に振り返る活動など、学習した内容を広げて深めることができるよう工夫されている。(3・4年P17等)	☆ ☆	●自分の考えだけでなく、他者の意見を記入する欄が設定されていることで、思考力・判断力が深まるよう工夫されている。(3・4年P14)	☆ ☆	●「けがを防止する方法」では、身近な学校生活における調理実習を例示し、危険予測することで、けがを回避できることが記載されている。(5・6年P24)	☆ ☆	●「生かそう」では学んだことを実生活でどう生かすのかを考えることができるよう工夫されている。(3・4年P17)	☆ ☆	●単元末の「振り返る・伝える・つなぐ」では既習事項を振り返り、理解度を評価できるよう設定されている。(5・6年P48)	☆ ☆
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。	●さし絵や写真に高齢者、障がい者、外国人などが使われ共生の意識づけに配慮されている。(5・6年P7等)	☆ ☆	●折り込みカードが付帯されており、校外学習などの調べ学習やインタビューなどの様々な活動のヒントになるよう配慮されている。(5・6年P2等)	☆ ☆		☆		☆		☆		☆
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●「ストレスに対する対応表」を作ることで、自分のストレスの状態を可視化できるよう工夫されている。(5・6年P15)	☆ ☆	●単元の注目させたい場面を子どもたちの興味をひくようなさし絵で示されている。(3・4年P8, 9等)	☆ ☆	●家族の手伝いをすることや、エスカレーターを使わずに、階段を歩いてみることなど、身近な生活に落とし込んで示されている。(3・4年P16, 17)	☆ ☆		☆		☆		☆

小学校 種目【保健】

選定委員会答申

発行者		東京書籍	大日本図書	大修館	文教社	光文書院	学研
C 学習と指導に関する配慮および 創意工夫に対すること	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するための工夫があるか。	●学習課題に対して、調べ、解決策を考え、そして考えを交流し合い、学びを深められるよう、スモールステップの構成により、考え発信するまでの工夫がされている。(5・6年P28, 29) ●「気づく・見つける」にノート欄があり、児童が見つけた気づきを記入することで、意欲を高められるよう工夫されている。(3・4年P7等)	●「つかもう」にノート欄があり、児童が見つけた気づきを記入することで、意欲を高められるよう工夫されている。(3・4年P10等) ●「活かそう」に学習内容を自分の生活に活用することを表現する欄が設定されている。(5・6年P33等)	●「課題をつかもう」にノート欄があり、児童が見つけた気づきを記入することで、意欲を高められるよう工夫されている。(3・4年P14等) ●「話し合おう」では、他者の考えを記載する欄が設けられ、対話的な活動が設定されている。(5・6年P49等)	●脚注にメッセージや豆知識があり、意欲を高められるよう工夫されている。(3・4年P10, 11等) ●「もう一歩先の自分へ」では、学習内容を自分の生活にどのように活かすかを考え、表現する欄が設定されている。(5・6年P41等)	●「生かそう」に学習内容を自分の生活にどのように活かすのかを考え、表現するノート欄が設定されている。(5・6年P23等)	●「ふり返る」にノート欄があり、気づきを記入することで、課題をつかめるよう工夫されている。(5, 6年P9等) ●「ほけんのはこ」では既習事項について学びを広げる資料があり、個人・グループが詳しく調べてみたいと思うきっかけを提示している。(3・4年P31等)
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学習展開など、多様な学習活動や学習方法を支援する工夫があるか。	●データや図版等の読み取りの場面では、スモールステップで自分の考えを発信できるよう工夫されている。(5・6年P28, 29等)		●身近に起こりうる場면을提示し、問題点について考えることができるよう工夫されている。(5・6年P65)	●熱中症を疑うときの行動についてフローチャートで示し、確実な対処が学習できるよう工夫されている。(5・6年P44)	●「人との接し方を考えてみよう」では、気持ちを大切にしたコミュニケーション方法について、具体的なアドバイスが記載されている。(5・6年P18～19)	
	(3) 学習の振り返り等、知識を十分習得できるような工夫があるか。	●「ステップ4」がまとめとして、自分の生活に生かせるような学習の振り返りができるよう設定されている。(5・6年P8等) ●感染症予防の発展として、新しい感染症を取り扱い、これまでの感染症との違いなどから、予防の仕方を考えれるよう工夫されている。(5・6年P50～53)	●「〇年のまとめ」があり、3段階で学習の振り返りができるよう設定されている。(3・4年P23等) ●「もっと知りたい！」で学習内容に関連した学びを広げるための資料が提示されている。(3・4年P20～22)	●「学習をふり返ろう」では3段階で評価できるよう工夫されている。(5・6年P22等)	●「わたしの〇〇宣言」があり、目標をもつことで学習した内容を活かし振り返りができるよう設定されている。(3・4年P19等) ●「発展」では、学習内容に関連した学びを深めるための資料が提示されている。(5・6年P18等)	●「学習のまとめ」のページがあり3段階で学習の振り返りができるよう設定されている。(3・4年P40等) ●「広げよう深めよう」で、学習内容に関連した学びを広げるための資料が提示されている。(5・6年P34, 35等)	●「ふり返る・伝える・つなぐ」のページがあり、3段階で学習の振り返りができるよう設定されている。(5・6年P24等)
D 組織・配列に関すること	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。	●「つなげよう」では他教科、他の単元との関連が記載されている。(3・4年P6等)	●他教科、他単元との関連が一目でわかるようなマークが記載されている。(3・4年P10等)	●脚注に関連教科が記載されている。(5・6年P11等)	●課題や場면을英語表記にすることで、外国語活動と連携できるよう工夫されている。(5・6年P16)	●「科学のとびら」では実験が記載されており、理科と関連した内容が取り扱われている。(5・6年P16)	●「つなぐ」を随所に設け、他学年や他教科の学習内容や保健に関するつながりを提示し、関係性を調べやすいように工夫されている。(5・6年P7等)
	(2) 本文、さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。	●「受動喫煙のない社会をめざして」のロゴマークなど、実際に使用されているマークが掲載されており、生活に密着した内容となっている。(5・6年P63)	●「人との関わり」では、成長とともに、関わる人が広がっていくことを大きなさし絵で表示されている。(5・6年P16)	●「相談名人になろう」では、イラストを用いて、コミュニケーションの取り方が掲載されている。(5・6年P20)	●「事故の原因」では、さし絵を見るだけで内容が分かるように配慮されている。(5・6年P33等)	●各単元の導入がマンガになっており、学習に興味をもつよう工夫されている。(5・6年P7等)	●各単元の導入に大きな写真やマンガで表現することで、学習意欲を高めるよう工夫されている。(3・4年P16等)
E 補充・発展的な学習に関すること	(1) 児童・生徒の興味関心に応じて学習を深め広げていく学びに向かう力が培われるものとなっているか。	●SDGsの主な目標を各単元ごとに記載することで、SDGsの理解につながるよう工夫されている。(3・4年P26等)	●中学年から正しいスマートフォンを使い方が取り扱われている。(3・4年P44)	●「事故やけがの起こり方」の学習の導入が、日常場面を想起しやすいよう、ゲーム形式の題材を扱い、課題に対して関心をもたせる工夫がされている。(5・6年P24, 25)	●「もう一歩先の自分へ」で、自分の考えの記入欄が設定されており、学んだことが深まるように工夫されている。(3・4年P5等)	●「歩きスマホ」などが原因でおこる事故など、当該学年より少し進んだ内容を取り扱い、学びを広げる「はってん」が随所に設けられている。(5・6年P29等)	
	(2) ICT機器を有効に活用できる箇所が適切に記載されているか。	●二次元コードが配置され、動画やシュミレーション、思考ツールなど、詳しい内容をすぐに見ることができるよう工夫されている。(5・6年P68等)	●二次元コードがページ右上部に固定されており、見つけやすいよう配慮されている。(5・6年P10等)	●二次元コードの中でも、「ほけんクイズにトライ!」のように、イラストと一緒に配置することにより、子どもたちの興味を高めるよう工夫されている。(3・4年P29)	●二次元コードが脚注に統一して配置されているため、見つけやすいよう配慮されている。(3・4年P26等)	●学習のはじめに二次元コードが配置されており、動画・資料を見て、学習内容をつかみやすいよう設定されている。(5・6年P62等)	●各単元のはじめに二次元コードが配置されており、単元に関連する学びを広げる項目をみることができるよう工夫されている。(5・6年P49等)

小学校 種目【英語】

選定委員会答申

発行者		東京書籍		開隆堂		三省堂		教育出版		光村図書		啓林館	
A 目標の取扱いに	(1) 学習指導要領で示されている資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●「My Picture Dictionary」では、2年間で1冊になっていることで、既習表現の確認だけでなく、今後習う表現にも触れることができるよう工夫されている。(別冊P36～41等)	☆☆	●音声から文字へつながるよう「読むこと」の指導が段階的に設定されている。(6年P36, 37等) ●指導と評価の一体化を図るため、記録に残す評価を行う場面が明示されており、計画的な指導に活かしやすいよう工夫されている。(5年P93等)	☆☆☆	●「My Dictionary」では、2年間で1冊になっていることで、既習表現の確認だけでなく、今後習う表現にも触れることができるよう工夫されている。(別冊P34～37等)	☆☆	●単元末の「Sounds and Letters」では、発音と書くことを結びつけて学習できるよう配慮されている。(5年P38等)	☆☆	●UNITごとに5領域の中心となる活動が示されており、重点領域を意識できるよう工夫されている。(5年目次等)	☆☆		☆
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとのつながりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。	●「日本探検」では、日本の文化や伝統を日本で働く外国人が紹介しており、日本の魅力について再発見できるよう工夫されている。(5年P96等)	☆☆		☆		☆		☆		☆		☆
B 内容の取扱いおよび程度に	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●「Check Your Steps」では、シンキングツールを使って、自分自身の考えを整理できるよう工夫されている。(6年P37等)	☆☆	●英語でお互いのことを伝え合う活動が設定されている。(6年P75等) ●Lessonの最終言語活動に向け、シンキングツールのような書き込みスペースがあり、思考に沿って内容を整理できるよう工夫されている。(6年P92等)	☆☆☆	●「JUMP」では、準備することや発表の際に気を付けること等が書かれており、学んだことを表現できるよう工夫されている。(6年P34, 35等)	☆☆	●自分が行ってみたい都道府県の紹介から、海外の友達といっしょに行ってみたい都道府県の紹介へと発展させることで、自分の考えを深められるよう工夫されている。(5年P70～73)	☆☆☆	●「Let's try」では、実際に英語を使用してお互いのことを知るために伝え合う言語活動を設定し、主体的に取り組めるよう工夫されている。(6年P25等) ●「Plus One」では、既習表現に加えて、さらに詳しく相手に尋ねることから、思考力・判断力・表現力を養えるよう工夫されている。(6年P35等)	☆☆☆	●「会話を楽しむフレーズ集」があり、相手に伝える際に会話が楽しめるよう工夫されている。(5年巻末)	☆☆☆
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。	●「Who is your hero?」では盲目のピアニストを取り上げ、多様な価値観を受け入れるよう工夫されている。(5年P86)	☆☆	●「My hero」で車いすバスケットボールの選手を紹介されている。(5年P97) ●「Around the World」や「Our world」では、様々な視点から国際理解が深められるよう工夫されている。(6年P84等)	☆☆☆	●「あこがれの人を紹介しよう」では、盲目のピアニストや車いすテニスプレーヤーを取り上げられている。(5年P40等)	☆☆	●「I can run fast.」でパラリンピック選手や盲目のピアニストを取り上げられている。(5年P56) ●アメリカの手話を掲載し、人権意識を高めるよう工夫されている。(5年P87等)	☆☆☆	●金子みすゞの詩「わたしと小鳥とすずと」を発想のもとにした「Everyone Is Special」の発表で「共生」の意識を育むよう配慮されている。(5年P78, 79)	☆☆	●付録のカードが厚めでかつ、マット紙になっているため、児童が鉛筆で書きやすくなるよう工夫されている。(5年巻末)	☆☆
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。	●興味・関心を持って取り組めるように、友だちや先生について知ったり話したりする活動が取り入れられている。(5年P40～43等)	☆☆	●「play video games」等、生活経験や興味に考慮した表現が取り扱われている。(5年P50) ●4線幅において、小文字に配慮し、第2線と第3戦の幅を広げて児童が書きやすくなるよう工夫されている。(5年P17等)	☆☆☆	●ページの下に「ミニ情報」が掲載されており、児童の興味・関心を高めるよう工夫されている。(5年P27等) ●4線幅において、小文字に配慮し、第2線と第3戦の幅を広げて書きやすくなるよう工夫されている。(5年P45等)	☆☆☆	●発問が簡潔に記載され、様々な学習段階の児童が学べるよう、配慮されている。(5年P16, 17等)	☆☆	●各単元の導入のページでは、「About You」で話題を身近なことから考えられるよう工夫されている。(5年P80, 81等) ●4線幅において、小文字に配慮し、第2線と第3戦の幅を広げて児童が書きやすくなるよう工夫されている。(5年P95等)	☆☆☆	●カードの枚数が200枚あり、全てのUnitに対して準備されているので、ゲームなどを通して楽しみながら学べるよう工夫されている。(5年巻末)	☆☆

小学校 種目【英語】

選定委員会答申

小学校 種目【英語】

発行者		東京書籍		開隆堂		三省堂		教育出版		光村図書		啓林館	
C 学習と指導に対する配慮および 創意工夫に関すること	(1) 児童・生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するための工夫があるか。	●「世界探検」では、映像を見て分かったことや自分の考えを書くスペースが設けられており、自分や他者との意見を共有しやすいよう工夫されている。(6年P23等)	☆☆	●「Let's Say it」では、会話を楽しめるような表現が取り上げられている。(5年P57)	☆☆	●UNITの最初に目標を書く欄があり、伝えたいことが明確になるよう工夫されている。(5年P11等)	☆☆	●「知らない英語の言葉に出会ったら」では、発展として辞書の使い方が取り上げられている。(6年P99)	☆☆	●「Let's watch and think.」では、外国の生活や文化についての話し合いを促し、考えを深める課題で、対話的な学び、深い学びにつながる活動となるよう工夫されている。(5年P42等) ●ゲームではなく、言語活動を通して自分の考えや気持ちが表現できるよう工夫されている。(5年P70, 71等)	☆☆☆	●「Story」では、絵や写真を見ながら英語を聞いて内容を想像させることにより関心を持たせる工夫がされている。(5年P104) ●「REVIEW」では、既習の表現を場面や状況を変えて使用できるかを問い、実際にコミュニケーション活動を行う中で、表現力を養えるよう工夫されている。(5年P76等)	☆☆☆
	(2) 体験的な学習や問題解決的な学習展開など、多様な学習活動や学習方法を支援する工夫があるか。	●指示文などの文字情報や資料ページが、主体的に学んだり理解したりできるよう工夫されている。(5年P80, 81等)	☆☆	●単元に必ずペアワーク、グループワークを取り入れ、友だち同士で協力し学習に取り組める内容が設定されている。(6年P54等)	☆☆	●1枚絵の楽しいイラスト「Panorama」でSmall talkや絵さがしゲームなど多彩な活動が展開できるよう工夫されている。(5年P42, 43等)	☆☆☆	●「名所・名物マップ」では、日本全国や世界各国を紹介し、興味・関心を高めるよう工夫されている。(5年P66～69、6年P56～59) ●自由な時間にしたいことなど、表現意欲を高める教材や活動が多く設定されている。(5年P48等)	☆☆☆		☆	●UNITの最初が、見開きのイラストになっており、イラストについて、聞いたり話したりできるよう工夫されている。(5年P46, 47等)	☆☆
	(3) 学習の振り返り等、知識を十分習得できるような工夫があるか。	●「Enjoy Communication」には、発表などの活動に対する振り返りができるよう設定されている。(6年P65等)	☆☆	●「Can-doチェック」では、4技能ごとに表記されており、各Lessonの中心的な技能について振り返ることができるよう工夫されている。(5年P128等) ●学期末に「Let's Check」で学習内容をを復習できる場が設定されており、知識が十分に習得できるよう配慮されている。(5年P44等)	☆☆☆	●UNITのふりかえりでは、記述スペースが設けてあり、自分の思いが表現できるよう工夫されている。(6年P35等)	☆☆	●各単元の終わりや巻末のワークシートの裏面に、学習や活動のふりかえりがあり、何ができるようになったか、何を意識して活動するのかが確認できるよう工夫されている。(6年P77等)	☆☆	●UnitのStepのページでスモールステップの活動が生まれ、英語の知識、技能を身に付けることができるよう配置されている。(5年P18, 19等) ●単元末の「ふりかえろう」では、各UNITの中心となる領域ごとに振り返ることができるよう工夫されている。(6年P39等)	☆☆☆	●UNITの最後に「Look Back」を設け、できたことをチェックし、共に自分の言葉で表現することができるよう工夫されている。(6年P34等)	☆☆☆
D 組織・配列に関すること	(1) 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導ができるよう適切に組織・配列されているか。	●UNITの最初に、他教科との関連を表記し、教科横断的な学習ができるよう配慮している。(5年P8等)	☆☆	●他教科と関連がある箇所にマークを付し、教科横断的な学習ができるようよう配慮している。(5年P15等)	☆☆	●年間3回、めあてがあるプレゼンテーション単元「TRY」が設けられており、話す力を意識した構成がされている。(6年P76, 77等)	☆☆	●低学年で扱う道徳教材を扱うなど、英語に親しめるよう工夫されている。(5年P86) ●各単元末に「Final Activity」が設定され、児童の興味・関心や経験等を発信できるよう工夫されている。(6年P62等)	☆☆☆	●他教科等と関連できる箇所にマークを付し、教科横断的な学習ができるよう配慮している。(5年P79等)	☆☆	●UNITにある「Did you know?」では、世界文化や習慣、SDGsの取り組みなどを紹介し、児童が世界に目を向ける内容となっている。(6年P48等)	☆☆
	(2) 本文、さし絵、写真、図表などの表現や配置は、学習を効果的に進めるものとなっているか。		☆	●全単元を8時間配当に統一し、学習活動が何時間目にあたるのかを可視化することで、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。(6年P51等) ●「授業で使える20の表現」を掲載し、英語の授業の中でよく使われるような挨拶や指示などのクラスルームイングリッシュを一年間の学習活動で効果的に使えるよう工夫されている。(6年P10, 11等)	☆☆☆	●UNITの「Hop」「Step」「Jump」の活動を、各ページに明示することで、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。(5年P30等)	☆☆		☆	●Goalと学習の進め方(Hop, Step1, Step2, Jump)を明示することで、児童が見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。(6年P23等)	☆☆	●単元の最初にGOALを示すだけでなく、各Stepごとにもめあてを記載し、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。(5年P23) ●「Word List」では単語だけでなく、Unit番号や二次元コードも併せて記載して、学習を効果的に進められるよう工夫されている。(各学年P108～P129)	☆☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【英語】

発行者		東京書籍		開隆堂		三省堂		教育出版		光村図書		啓林館	
E 補充・発展的な学習に 関すること	(1) 児童・生徒の興味関心に応じ て学習を深め広げていく学び に向かう力が培われるものとな っているか。	●見開きのページに「Small Talk」「Sounds and Letters」 が示されており、補充や発展学 習の際に「My picture Dictionary」を活用できるよう 工夫されている。(5年P10, 11 等) ●「Over the Horizon」では、 世界の文化や日本についての学 習が深まるよう工夫されてい る。(5年P68, 69等)	☆☆☆	●「Story Time」で、SDGsの目 標が添えられており、社会的な 課題の解決に興味関心を深める 事ができるよう配慮されてい る。(6年P43等)	☆☆	●「世界のおはなし」では、ス トーリーが想像しやすいよう に、複数枚の挿絵や、文字を 1, 2文しか載せない等工夫され ている。(5年P79等)	☆☆	●「Let's Read and Act」で は、児童の既習事項(2年国 語)を取り上げ、英語で物語を 読むことで自分の成長を実感し やすくなるような工夫がされて いる。(6年P66～69)	☆☆	●単元を支える教材として、 「英語の物語」、「言葉につい て考えよう」「災害と英語」 「早口言葉」「おすすめの本」 などがあり、英語圏の文化に興 味を持ったり、他教科等の学習 と関連させたりしながら、学習 を深め広げていけるよう工夫さ れている。(6年P98等)	☆☆	●「Tips」では、ページ下に、 発展的な学習につながるような 助言があり、児童の興味関心を 深めることができるよう工夫さ れている。(5年P63等)	☆☆
	(2) I C T 機器を有効に活用でき る箇所が適切に記載されてい るか。	●二次元コードで、教科書に書 き込むワークシートのデジタル 版があり、聞く活動にも書く活 動にも活用できるよう工夫され ている。(5年P62等)	☆☆	●「Let's Listen and Read」 では、児童が自分の端末で、音 声を聞きながら文字を追う活動 を行うことができるよう工夫さ れている。(6年P37等) ●デジタル教科書の「Let's Play」には、アクティビティの 進め方が示されており、活動の ルールを理解し安心して取り組 めるよう工夫されている。(5年 P60, 61等)	☆☆☆	●二次元コードからアクセスで きるサイトのイラストをタッチ すると、表記された語句以外の 音声も聞くことができるよう工 夫されている。(5年P12, 13等)	☆☆	●デジタル教科書には「学習者 支援」という機能があり、個に 応じた学習の支援ができるよう 工夫されている。(5年P76, 77 等)	☆☆	●デジタル教科書の「Story」 では、会話すべてに字幕を付け るのではなく、主要な単語のみ を表記するよう工夫されてい る。(5年P58等) ●「Let's Chant.」では、文字 の色がマーカーで変わること で、児童の発音がしやすいよう 工夫されている。(5年P60等)	☆☆☆	●デジタル教科書に「単語クイ ズ」があり、各単元で学習する 単語を児童自身が楽しく確認で きるよう工夫されている。(6年 P64) ●「Watch and Do」では、児童 が自分の端末で、音声を聞きな がら文字を追う活動を行うこと ができるよう工夫されている。 (6年P32等)	☆☆☆

選定委員会答申

小学校 種目【道徳】

発行者		東京書籍		教育出版		光村図書		日本文教出版		光文書院		学研	
A 目標の取扱いに 関すること	(1) 学習指導要領で示されている 資質・能力の育成を図るため、各教科の特質を生かした適切な内容が取り上げられているか。	●日常生活の身近な場面を題材に示すことで、自分の事として考えられるよう工夫されている。(1年P16)	☆☆	●「つなげよう」では、学んだことをこれからの生活にどう活かすかを考えることができるような発問が設定されている。(1年P71等)	☆☆	●「学びの記録」があり、学んできたことを、シールで貼り、自分の成長を目で感じられるよう工夫されている。(1年巻末折込資料)	☆☆	●日常生活の身近な場面を題材に示すことで、自分の事として考えられるよう工夫されている。(1年P26)	☆☆		☆		☆
	(2) 本市の教育大綱の基本理念「ふるさとのつながりによる豊かな学び」の方針に基づいた内容となっているか。		☆	●「卒業に向けて」では、地域の方々やお世話になった人に感謝の気持ちを持ち、地域とのつながりも意識できるような内容となっている。(6年P136)	☆☆		☆		☆	●地域資源の新たな活用で美しい棚田を守るという題材を通して、自分たちのまちを活性化させたり、伝統を引き継いだりしたいと考えられるように工夫されている。(6年P74～77等)	☆☆		☆
B 内容の取扱いおよび程度に 関すること	(1) 思考力・判断力を育み、考えたことを表現する学習活動を展開することができる内容となっているか。	●「つながる・広がる」の中に、その前の教材で学習したことを活かし自分ならどうするかを表現する内容が設定されている。(4年P110等)	☆☆	●教材文の後に配置されている「考えよう」「深めよう」は学びの手引きとなっており、道徳的判断力を養うための問いかけを提示している。(4年P19等)	☆☆	●「心を通わそう」を全学年に設定し、相手にどのように伝えれば良いかを考え、実践してみる活動を通して、道徳的判断力を育めるよう工夫されている。(2年P34等) ●「考える準備たいそう」を設置し、考えやすいテーマから、小グループで議論・意見交流する手順を示し、思考力を育むよう工夫されている。(4年P66等)	☆☆☆	●日常生活で対照的な場面をイラストで示し、比較しながら考えられるよう工夫されている。(1年P12等) ●教材文の後ろに、学習展開として話し合いの場面を多くできる教材を設定しており、考えを交流する中で、表現する力も育めるよう工夫されている。(3年P24等)	☆☆☆	●巻頭で進め方を示し、思考ツール・対話ツールの使い方やまとめ・ふりかえりの仕方について説明することで、考えを深め、自分の思いを表現できるよう工夫されている。(5年P6等)	☆☆	●「深めよう」には、学習の進め方のヒントが示されており、話し合いを経て考えを深め、自分の思いを表現できるよう工夫されている。(3年P53等)	☆☆
	(2) 国際理解等を含む人権尊重の観点から、内容や素材の取り上げ方、ユニバーサルデザインに関して、適切な配慮がされているか。		☆		☆		☆	●教材がすべて見開きページから始まっており、一つの教材に集中しやすくなるよう工夫されている。(6年P68等)	☆☆	●教材がすべて見開きページから始まることで、一つの教材に集中しやすくなるよう工夫されている。(6年P22等)	☆☆	●教材がすべて見開きページから始まることで、一つの教材に集中しやすくなるよう工夫されている。(6年P50等)	☆☆
	(3) 文章の記述や分量、写真、さし絵、図表、資料などは、本市の児童・生徒の生活経験や興味、発達段階を考慮したものになっているか。		☆		☆		☆		☆		☆		☆

令和6年度使用小学校教科用図書に対する意見

教科【国語】

発行者名	こ 意 見
光村図書	・現行のしっかり読み込ませたい単元が多く残っており、子どもたちにとっても(きょうだい関係など)わたしたちにとっても(資料など)スムーズにスタートできると思います。 (1年)表紙や始めの方の絵がパステルカラーで素敵。説明文「つぼみ」が生活科と関連している為、指導しやすい。フォントが少々小さく感じる。 (2年)興味を引き付けられるような挿絵で、見やすかった。 (3年)各単元の前に、導入文が用意されているのがよく、教えやすい。 (3年)各単元の前に、導入文が用意されているのがよく、教えやすい。 (4年)お話の後ろのページに学習の流れが書かれていてわかりやすい。 (5年)説明文の単元に練習があつて、指導者にとっては指導内容が明確になり、学習者にとっても繰り返し学べ、良い。各単元のはじめに「問いをもとう」があり、子どもとの問いから学びが始まる形が良い。3観点の「ふりかえろう」があり、良い。挿絵は現行の方が良かった。 (6年)全体的にすっきりしていて読みやすい。挿絵の大きさやレイアウトも良い。読み物の後の学習の部分が丁寧に書かれている。 (その他 良い点) ・教科書タイトルの詩 ・言葉のたから箱 ・シンキングツール ・観点のマークが大きく分かりやすい ・学び方(2年以上)が別冊風であり、目標を書く欄がある ・今まで指導や研究をしてきた良い単元を引き継げる。教材の学年が重なることもない。
東京書籍	(1年)「ねことねっこ」「のぼすおん」「いしやといしや」の叩いてみようの動画と教科書のイラストが良い。体を使って促音や長音を指導することは、早く定着できることにつながる。また、絵日記のページが丁寧に説明されていて分かりやすい。 (2年)全体的に見やすかった。 (3年)フォントが大きく、読みやすい。 (4年)色づかいや説明の仕方、レイアウトが見やすく、読みやすい。 (5年)国語のノートのつくり方・デジタルノートのつくり方があって良い。宮沢作品が5年生で『注文の多い料理店』だが、繰り返しすぎて、最後は少しだれてしまう。 (6年)平和に関する教材、SDGsに関する教材が載せてあるので教科を超えた活動に取り組みやすい。 (その他 良い点) ・学習のすすめ方がわかりやすい ・ノート指導、デジタルノートの作り方ページがある ・既習の読むポイントがQRになっている
教育出版	(1年)物語教材「くまさんとありさんのごあいさつ」のフォントがおもしろい。文字の大きさが変えられていることで、音読の工夫の幅が広がり、良い。 (2年)他の会社に比べ、字体が見にくいように感じる。 (3年)イラストがはっきりして取りつきやすいが、フォントが小さく、読みづらさを感じる児童がいそう。 (4・5年)意見なし。 (6年)上下で分かれている。メイン教材が上に載せられている。 (その他 良い点) ・学年ごとの表紙裏に詩・観点別の目標があげられている(目次の後) ・「言葉の木」として様々な種類の言葉 ・上下に分かれているので持ち運びが楽。 ・1年「くまさんとありさんのごあいさつ」では体の大きさを声(文字)の大きさを表現するなどの工夫

教科【 書写 】

発行者名	ご 意 見
教育出版	・1, 2年生に、水書板がついており、使い方が写真でのせてあるのがわかりやすい。 ・QRコードがついていた。 ・水書筆を使った方が効果的なところは、筆マークがあった。 ・毛筆の筆圧が3. 2. 1とマーク入りで書いてあり、力の入れ方がわかりやすい。
東京書籍	・1, 2年生に、水書板がついている。教科書に直接書き込めるところが多くあった。
光村図書	・1, 2年生に、水書板がついている。 ・1年生の水書板にはマスが書いてあり、使いやすそうであった。 ・QRコードがついてあった。 ・水書筆を使った方が効果的なところは、筆マークがあった。

教科【 算数 】

発行者名	ご 意 見
東京書籍	・文字が細かく、読みにくい。 ・授業のながれがわかりにくい。 ・1年生の最初がわかりやすい。イラストが簡潔で見やすい。 ・単元の順番がわかりやすい。
啓林館	・バランスよくレイアウトされていて見やすい。 ・シンプルでわかりやすい。 ・めあてが教科書に載ってしまっている。子どもたちに考えさせたい。
日本文教	・見方、考え方がわかりやすい。 ・慣れているので、非常に見やすくわかりやすい。 ・2年生使い慣れたもので見やすい。算数ブロックが同じもので、説明しやすい。
大日本図書	・まとめの部分が分かりにくい。
学校図書	・毎時間の流れが一定していない気がする。 ・算数ブロックが同じもので、説明しやすい。 ・高学年になると、問題数が多い。 ・見づらい。
教育出版	・まとめ部分がなくて1時間のめあてがつかみにくいところがある。 ・5年生の練習問題の数が多く、文字も小さい。

教科【 理科 】

発行者名	ご 意 見
大日本図書	・今回の教科書の中でも一番写真や絵、図の割合が大きいと感じた。 ・視覚重視の教科書として特化されているように感じた。 ・子どもの思考に沿って、学習段階が分かりやすくシンプル。 ・縦長で使いにくい。
学校図書	・写真のコマ割りが大きく他の教科書よりも多用されていると感じた。その分、文字が少なく端的にまとめられていると感じた。 ・写真が多すぎて、ごちゃごちゃしている。 ・挿絵がアニメのため好みが見られる。
啓林館	・二次元バーコードが所々についており、内容も見やすく、観察ノートの書き方の例なども見やすいと思った。 ・一番バランスが取れているように感じた。 ・サイズが丁度よい。 ・学習段階に沿ったものになっていて分かりやすい。 ・今年度まで採用されているものと同じ出版社なので使い慣れている。 ・予想の部分や実験の方法が、詳しく書かれすぎておらず扱いやすい。
教育出版	・理科のまとめの時に重要なワードをマーカーで押さえていたのがわかりやすかった。 ・構図が大きく分けられているので児童の目に入りやすいと感じた。 ・サイズが丁度よい。 ・掲載されている実験方法が、子どもにとって行いにくいものがある。(例:唾液の実験)
東京書籍	・縦長で使いにくい。 ・実験の手順を示した写真や図が少なく、詳細が欲しいところがある。(例:6年 気体を集める)

教科【 生活 】

発行者名	ご 意 見
大日本図書	・字が小さい。 ・1年生で野菜は育てない。 ・植物の育ちの様子が少ない。
教育出版	・クイズ形式が多い ・振り返りがあっていい。
啓林館	・文字が見やすい。 ・スタートブックがついていて就学前の振り返りがしやすい。
東京書籍	・写真が多い。
光村図書	・別冊資料があるのでわかりやすい。 ・取り外せる資料が加工されているので水にも強そう。 ・取り外せる資料が、低学年に使いやすいそう。
学校図書	・文字が少なくイラストが多い ・学び方のポイント(こんな時どうする?)が最後に集結してあるのでみづらい

教科【音楽】

発行者名	ご意見
教育芸術社	・以前の表紙は各学年続き絵のようになって、子どもたちも楽しみにしていたが、そうではなくなり残念に思う。 ・音符、歌詞のフォントも大きく見やすい。 ・単元で学習する共通事項が表記されており、めあてを明確にして学習することができる。 ・鑑賞教材では、使われている図形楽譜が、視覚的にイメージして聞きやすいように工夫されている。
教育出版	・教材ごとに写真が多く使われており、景色などイメージしやすい。 ・音符や歌詞のフォントが小さく、少しわかりにくい。 ・共通教材以外の楽曲が、対象の学年に履修させるには難しいのではないかと思います。

教科【 図工 】

発行者名	ご 意 見
開隆堂	・文字が少なく、写真が大きくて見やすい。 ・こちらの方が作品の写真が多いように感じた。 ・写真などが見やすく感じた。 ・児童の活動の場面を切り取った写真が多く、作品の写真があまり目立たないページがあった。 ・各学年の材料と道具の引き出しのスペースが広くとってあり、説明がわかりやすい。 ・材料がそろえやすい
日本文教出版	・説明などがしっかり書かれている。これまでの教科書として見慣れている。 ・子どもの会話の吹き出しが多く、図工の授業を通して、会話の充実も目標としているように感じた。 ・作品の写真が多く、参考になると思いました。 ・造形遊びや工作などにおいて廃材が使えるものもあるが、購入して用意しなければいけないものが多いと感じた。

教科【 家庭 】

発行者名	ご 意 見
東京書籍	・SDGsについての言葉の説明があり、ウェブページ(二次元バーコード)がわかりやすい。
開隆堂	・紙の質が良い ・SDGsについて、5年生単元とのつながりあり

教科【 英語 】

発行者名	ご 意 見
光村	・別冊と単語一覧なし ・アニメの雰囲気の絵が多い。 ・書く活動少なめ。 ・振り返りが各単元にある。学年末の振り返りもある。
三省堂	・別冊あり(1冊) ・巻末カード(小さい分は使いにくそう) ・単語一覧なし ・書くところが多い。QRコードがある。物語が載っている。付属の辞典がある。
啓林館	・別冊なし ・巻末カード多い(点線あり) ・アルファベット練習など、書くところが少ない。
教育出版	・シールあり ・巻末カード多い ・別冊なし ・絵が多い。外国の風景や様子、食べ物などがわかる写真が少ない。
開隆堂	・別冊と単語一覧あり ・書く活動や話す活動が多い。 ・アクティビティーカードの代わりに、英単語を調べられる冊子がついている。 ・単元ごとの振り返りが一枚のシートにまとめられている。
東京書籍	・別冊1冊あり ・単語一覧あり ・巻末カード少ない ・書くところが多い。児童に活動させるようなものが多く載っている。

教科【 道徳 】

発行者名	ご 意 見
日本文教出版	・ノートがついているのが良い。 ・ノートの発問が無くなったのがマイナス点ではあるが、限定されず自由に書けるという点ではプラスの意見もあった。 ・教材ごとに二次元バーコードがついていて資料が見られる。コロナ禍の話が入っていて実感しやすい。
光文書院	・教科書に書いてある、「発問→まとめる→広げる」が、繋がりがあって良いが、ノートが無い点だけマイナス。 ・イラストがコマになっていてわかりやすい。 ・最後にまなびのあしあとで、振り返りができる。 ・インターネット教材がある。
光村図書	・資料は良いがノートが無いから扱いにくい。 ・教科書がコンパクトで良い。 ・まなびのきろくがシールになっていて楽しい。 ・高学年になると一言感想がある。 ・インターネット教材がある。
教育出版	・二次元バーコードが使いにくい。 ・自分で評価(振り返り)ができる欄がある。 ・低学年の字が大きくて見やすい。 ・学習の振り返りが巻末にある。
東京書籍	・一つ一つの教材に、二次元バーコードがついていて、朗読・紙芝居・デジタルノート・スライドがあって使いやすい。 ・心のものさが付録でついていて便利。 ・3年生でサステナブル、5年生で情報モラルに触れていて、学びのバリエーションがある。

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【保健】

発行者名	ご意見
大日本図書	刑事事件をおいさ会社のものは教育上好まれない
光文書院	5・6年の表紙で自転車に乗って大人がヘルメットをかぶっていない。義務化のほうでは？
東京書籍	スキルが沢山ありすぎてこれだけ身につけないとダメなのか理解をまねくと思います。二次元コードの横にはタイトルだけで内容はわかって何を学ぶかわからない
Gakken	やはり表紙がすばらしい。内容がわかりやすい。
大修館	資料が多く学習内容とかけ離れていて難しすぎる。調べた事を書くらんが少なくノートが必要となる。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
ほけん 金社	社会的に成功している人を出してその人の生活が一番正しいと思わせるような内容に甘え、ほめおかし。知識の乏しい身体、家庭の環境などでも差別は人によってあるから
すべての教科書	QRコードによる説明がほしい

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会】

発行者名	ご意見
日本文芸出版	6年 中学の社会科の基本が「日本国憲法を軽視して改憲できる」という記述で始まっているのに対して、小学校は三原則がのっていると思いました。
	p184、185 日清、日露戦争、東郷平八郎、山本五十六氏などが肯定的に描かれている。 日本の、朝鮮、中国に対する植民地侵略も他人事のように記述されている。
	p262 自衛隊が堂々と登場しているが、スキャンダル活動は憲法違反の武力紛争他への派遣なの2
	取り上げるべきではない。 自衛隊の扱いは政府に委ねるべきだ!!
全ての科目、何に導いてのせない。	全ての教科書会社に共通で「QRコード」はありえない。わからない。
教科書重い。読み書き下さい。	内容多い。→ ちと精選に学習量と減らすべき。知識のつめみや、誘導する設問より、計算の習熟時間をたっぷりとて

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会科】

道徳

発行者名	ご意見
日本文教出版	韓国との竹島、北朝鮮の拉致問題、シベリヤとの北方領土問題などを取りあげています。これらの周辺国との対立だけでなく子どもたちが平和な世界の未来を築けるような記述が
	ありたいと思います。日本の主張だけでなく韓国、 北朝鮮 中国の主張や歴史などの事実を教えてほしい。
光村図書 P.52	「隣人」……ただ一緒にいること。 中川 翔子さんのメッセージ 良かったです。これらも入れてほしい。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 (/ /)

教科【社会】

発行者名	ご意見
月本文教出版	6年「税金のはたらき」について、 近年度の収入と支出を用グラフで示してほしいです。
	日本全体の収入と支出を用グラフで示し、 比率のちがいを子どもたちに示すのがよいと思います。
教育出版	6年(330)税金のはたらきの中で「教科書が無償で 配られるのは、税金が使われているため」とあるが、 憲法第26条「義務教育は無償とする」ところが 示されていることも同時に教えてほしい。
あ	

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会】

発行者名	ご意見
日本エ教出版 小学社会6	消費税の税率3%に引き上げ消費税を3%に引き上げる必要はないと思います。
" 小学社会5	国土の環境を守るには地球温暖化の問題をどうやって解決していくかというところを扱うべきだと思います。
同上	戦場となった沖縄、のちや広島、長崎への原爆投下について記述がみづかしくありません。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 (,)

教科【社会】 6年生

発行者名	ご意見
日本文教出版	6年生の教科書で「税金の働き」について 足元の収入と支出が円グラフで示されて いるが、日本全体の収入と支出を円グラフ で示し子供たちにわかるように示す方が よいのではないかと。
教育出版	6年で税金で教科書が無償で買えるのは 憲法26条で「義務教育は無償とする」とある ためられている事も知らせるべきだと思ふ
社会 (5年生)	
教育出版 東洋館 日本教育出版	3社の5年生の「領土問題」については 千島列島が1875年5月7日、ロシアと樺太 千島列島を換条約調印」という事実も教えて いく事が大切で、又、政府は「北方千島の返還 を主張してきたが、最近では「島の返還」に まわっていることも教えるべきです。
	日本一方向の主張しかのびませんが、日本の主張だけでなく 韓国や、ロシア、中国の主張や歴史的な経緯も示す方が 子供たちに、今後の関係をどうしていくかを考えさせる という深い学びにつながるのではないかと。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【^{小学}社会5】

発行者名	ご意見
教育出版	北方領土(歯舞群島, 色丹島, 国後島, 択捉島)内閣については、我が国の固有の領土であることは明らかで疑いなく、大切である。
	政府は「北方領土」だけでなく、返還交渉の対象としており、全千島、千島返還を放棄している。しかし、北千島については「1875年(明治8)年5月7日、ロシアと樺太、千島列島交換条約調印」という事象によって交渉すべきである。
教育出版	「...、千島では、韓国が自国の領土であると主張し、不法に侵入を続けようとする」とについては、日本の主張を紹介すべきである。
	また尖閣諸島については、日本と中国との「力と力」ではなく、外交によって解決すべきである。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会】

発行者名	ご意見
東京書籍 3年	QRコードが、読み取りやすい、子供がQRコードに頼ることによって、安易に情報を知ることができると、自分で本を読んだり、辞書で調べたりして、考えることをしなくなるのではないかと感じます。思考能力を養うものだから、つける事は大事な事だと思っています。
東京書籍 新訂版 教科書版 6年社会	6年生社会(こころの日本)という章では、日本と韓国との「44島問題」、北朝鮮の「拉致問題」、中国との「尖閣諸島問題」、ロシアとの「北方領土問題」を取り上げているが、日本の主張だけでなく、中国・韓国・ロシアの主張や歴史的背景を示し、子供たちにそれぞれの国境をどう模索するか考える、主体的、対話的で深い学びにつなげるようにはないような感じがします。
	① 周辺国との関係をいかに強固にすることで、子供たちが平和な社会、世界の将来を担う世代の仲間である。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会科】

発行者名	ご意見
三社とも 同じような内容	北方領土問題
	北方領土問題は国際法上からみ、ロシアが 不法に占拠しているのは事実だが、史実ではない。 竹島や尖閣諸島については日本の
	一方的な主張しか載っていないのは問題である。 尚且つ
	指導要領の解説には全部、国際法上も 正当であるとも踏まえ、指導するようにすると 書かれている。
	周辺国との対立を強調することは、 子ども達に友好かつ平和な世界を考えられる のか。
	大変疑問である。問題である。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会】

発行者名	ご意見
教育出版 5年	戦争時(戦時)に、日本の状況、 日本国民が戦争を遂げて 教科書にのせるべきである(評議も含め)* 必要

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会】

発行者名	ご意見
教育出版	3社の5年生の「領土問題」については 千島列島が1875年5月7日、ロシアと樺太、
東京書籍	千島列島交換条約調印」という事実も教えて いく事が大切です。又政府は「北方4島の返還 を主張してきたが、最近では「2島の返還」に
日本文教出版	まりがえていることも教えるべきです。 日本の一方的な主張しか載っていませんが、 日本の主張だけでなく
	韓国や、ロシア、中国の主張や歴史的な経過 を示す方が、子どもたちに、今後の関係どう していかを考えさせるという深い学びにつながる のではないのでしょうか。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会】

発行者名	ご意見
東書、日文	歴史の学習で神話を使うのは、科学的に見てもおかし 東書「神々の子孫が大和地方に入って国をつくり……」ほど 歴史と始めて学ぶ子たちには史実に基づく情報を提 供すべき。そういうことでは。
教出	「教出」は一定「……これは神話といわれ、すべてが 真実ではありませんか」とことわっているが、いすれに せよ、とり扱う教科をそろえている。
東京書籍	中国への「侵略」という歴史的、世界から見ても明らかな事実を、 懸命にいつくおとする歴史修正の意図と教科書の執 筆者に感じる。たとえばP.130「満州で日本がもっていた権利 や利益を守らなければ日本がほろびると主張する人をも いました」とあるが、他国の領土を侵していることの非を全 く目をむけようとしないで、教科書で「はじめて他国に侵略 している日本」に当面の子たちにそんな見方をかけかけること自体 が、片ふた考を抽出するものにならないでしょうか。
	ほかにも史実を曲げた書き方があります。P.131「日本軍 と中国軍が北京郊外で戦いを始め、それが中国各地 に広がって全面的な日中戦争となった。」誰がしかけたのか！ この謀略は今も明らかな事実となっているのに、そのあたりを「ほ かしている。次も「……ナンキンを占領したとき、武器をすてた 兵士や女性や子どもをふくむ多くの中国人が殺害された」と あるが、どちらも、まるで「よそごと」で「誰が殺したのか」の主語 をぼかしてしまっている。
	非常にこけいなのは、その次のページには「ヨーロッパでは ヒットラーが率いるドイツが、まわりの国々を侵略し……」と わざわざ「個人名もたし「侵略」という言葉まで、使っている のである。それにならえば、満州の資源とねらって、
教出、東書、日文	天皇が率いる日本軍が中国を侵略し……ふどなり そうですが、 決戦戦の記述で「有力軍の攻撃においみられ……集団自決…… について、日本軍が手りめ弾を渡したり、泣く子を母親に殺させた

○ご自由にご意見をお書きください。日本軍のした罪状も書いてあるわけ
れば、戦争の真の姿を認識させること
はできない。いすれも、日本自身を問う
直す姿勢に欠ける。

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会】

発行者名	ご意見
東京書籍 P25	税金の使い方が円グラフも四角で囲んで 絵の中にも軍事費が抜けている。
教育出版 P30	「組税教室の先きの話」の中で、納税は国民の義務と いうことは強調されているが、一番大切な事は 各教科書が無償であることは子どもの権利であると述 べています。
教育出版 P31	「税金は何に使われているだろう」で軍事費が増 加している現代社会においては軍事費がどう使われ ているのか記述すべきだと思えます。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会】

発行者名	ご意見
東書	6斗... 「朝鮮人戦時労働」について 「志願して兵士になり、朝鮮の若者」と あり。日本、韓、中三国の歴史学者の研究 の到達点の本を讀んで、歴史事実と合致 す。特に、韓、中諸国からの批判も増 え、と思う。記述は国際的な研究結果を ふまえたものにしたい。
日文	ネットリテラシーに關して 身辺にゴチ当初の日の、レポートページ不足 にあり、言語情報とレポートを教えて い。点。大切な身辺に課題を教えて 重要な指摘でありと思う。
社会と 6斗	南京事件の記述はあつた。著者の言葉はない 自身でアジア各地へ旅行した時日本の国の 歴史を正確にとらえていふと、氣がいらぬ。思いやり アジア各国では真逆に正確に教えているため 6斗の記述は後退しているのは、気がいらぬ。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会】

発行者名	ご意見
教育出版	6年憲法学習に、「米光金の使われ方」について「総務省署の人の話」について記述されています。
	教科書の無償について言及してはいますが、憲法第26条「義務教育は無償とする」ところが欠落しています。
東京書籍 書籍	6年同上について、「医師の診察」は何の説明もされていません。
教育出版	6年同上について、絵図に「お年寄りや障害のある人を支援する」ところは重要です。福祉予算連年の推移を示すことにより、そのことについて学習できます。を深めることができます。
日本文教出版	6年同上について、東京都足立区の福祉予算の収入と支出の割合を円グラフで紹介しています。
	しかし、日本の福祉予算の資料が不足しています。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 社会 】

発行者名	ご意見
教育出版	3社の5年領土問題について、3社とも千島列島が1875年(明治8)5月7日、ロシアと樺太。
東京書籍	千島列島交換条約調印」という歴史的な事実が欠落している。政府はこれを放棄して、
日本文教出版	「北方4島」の返還を主張してきたが、最近では「2島の返還」に切りかえています。
	何故か返還はオウケのために返還要求を切り下げています。「降参外交」に あっている。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 社会 】

発行者名	ご 意 見
	大阪城が載っていない会社があり、少し驚いた。 大阪の子どもたちには、できれば大阪城を見せてあげたい。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会】

発行者名	ご意見
日文 6年	関東大震災での朝鮮人虐殺について、現行ではコラムの中で「朝鮮人が井戸に毒を入れたなどのうたがながり、多くの朝鮮人が殺害された」と記述されていたものが削除されている。
	負の歴史についても、事実をきちんと伝えることが大切。真の日朝友好のためにも記述してほしい。東書・教出は本文でふれているが、犠牲者数は書いていない。
日文 6年 P185	子どもの言葉で「日本にとって朝鮮半島はとても大切な場所なんだね」と記述しているが、その後の韓国併合を正当化する侵略者の論理ではないだろうか。
日文・東書・教出 6年	ふ社とも南京事件について触れているが、虐殺の言葉は使われず、朝鮮人虐殺事件同様、犠牲者数もふれていない。歴史的事実を正確に記述してほしい。
教出 6年 P239 日文 6年 P255 東書 6年 P105	「国旗・国歌」について ふ社とも「君が代」は「繁栄と平和」「平和で豊か」を願うと書き、天皇制の道義として利用された負の歴史について書いていない。「日の丸、君が代」が戦争に
	利用された事実を知ることが真の友好につながっていくのではないか。
東書 6年 P19	「平和と安全を守るために、自衛隊の役割は重要」と書き
	教出や日文にある「憲法に違反していると考え人もいる」という両論併記が無い。ふ社とも災害派遣で出動する自衛隊の一面のみを描き、自衛隊を全面的に美化している。
◎ 6年社会科 がどのような	は政治→歴史の流れになっているが、日本国憲法がどのような歴史の過程で成立したのかつかまないと正しく理解できないのではないか。歴史→政治にすべきである。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【道徳】

発行者名	ご意見
教育出版 6年	9.32のタイトル、「国や郷土を愛好心」。 ‘国を愛して当り前’と押しつける事になりが、
教科【社会】 専章書籍 6年 歴史	PB3 強制的に動員され、... は、連行されたのが事実では？ 兵士として加わるようになり、曰、‘従軍した’ 男真んも、‘志願して’の範囲... 不適切では？
教科【算数】 専章書籍 1年	QRコードが多用されている、便りにさせない子供も いるのでは？、読4を聞いたり、自分で考える事も必要、
教科【英語】 (後記)	、4年生から学習するのは語彙が多すぎるのでは？

○.ご自由にご意見をお書きください

- 、歴史的事実や、直理、直皇へ行った編集が必要、時の政府の目解や意図の
押しつけになっているが、検証が必要、
- 、子ども達や父母、教員等により、現実や地実を根拠し、自主的に人格形成を
促すもの

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【とく】1年

発行者名	ご意見
光文書院	SDGs.があるをみて、びっくりした 17の目標は、大切なことだ
	良しとくの本です 子供たちが生きていく力をつけていける
	いいなと思います 〇
	教科書にQRコードがついているのもびっくり した 図書館で調べたり 辞書をする たりするなり、考える力がなくなるのではないかと 心配です

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【道徳】

発行者名	ご意見
光文書院 3年	文芸作品「花きき山」をとり上げられているのに 説明で「心がうつくしい」とはと書いてある 子ども(3年生)が作品にひたまり、感じたことを まとめられたいらよしとしたい 「心がうつくしい」を説明にすると必要 ない!
日本文教 出版	アスリートの言葉 必要ないと思う どこかで みんな努力 している
	野口英世をとり上げて ほしくない

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前（ ）

教科【道徳】

発行者名	ご意見
	子どもの自立は、生活の中で身に付けていくもの 低学年から教科書や評価によるおし付けは、いかがなものか？ 教科としての道徳はやめてほしい

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【道徳】

発行者名	ご意見
全書として	科学的な学問として、道徳など成立しない。 いや観念に、正や邪、悪が普通なものとして存在しない。正・邪は立場、世界観が違えば、 違ふもの。教育の中で押しつけるのはあやまりなので、 道徳の科目は廃止してほしい。点教などつけられない。
東洋書籍	P164 国を思ふ心 ― 龍馬の心 とありますが、 明治維新＝大日本帝国の成立をよしとして、外国に 対抗できる、開明的人物を推奨する教本なの ですか？ 国を思ふ心というのであれば、自由民権運動の指導 者も同じです。現憲法の理念、「国民主権、基本的 人権、平和主義」にふみかる教材を / P122 「権利と果たさなければならぬ義務について 考えてみましょう」とありますが、「義務を果たす」とは権利 行使は別もの。義務を果たせぬ人にも全人々に 権利は保障されるという趣意点がない。 P162 中村哲氏を取り上げたのはよい。一歩ふみこんで 武器ではなく、自立を助けるのが平和への一歩とまで考え させてほしい。 0号としての権利条約の条文をただけを並べただけでしかない。 権利を保障されていない状況、どうするか、1年かけて扱う くらいの重い項目にしてほしい。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【道徳】

発行者名	ご意見
①	総じて、同じ内容でもまとめられている 一冊の教科書のつづきの話としては、道徳に出たら、痛 い目に合うので、自分も、いじめの今までの、自己責任論 が、おしつけ、ではなか
②	無理でも、国や郷土を愛おむを押しつけておき、子ども 達が無意識に「正解」を習得するように、自分 の心の考えを表現することが出来なくなっているのか？
③	皆んなの思いが、出せて、対話できる環境を 作りべきだ、 けれど、話し合いをすべきではない

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前（ ）

教科【道徳】

発行者名	ご意見
東京書籍	表紙のイラストの目が青白くて怖い。お母さんが家事子育てをしている教材ばかりで問題化しているヤングケアラーに配慮が必要だと思います。
日本文教	デジタルコンテンツがやたらと目立つが子供が集中出来ないと思います。
光文書院	イラストが古い。多様性については表紙以外は配慮が足りない。
Gakken	表紙が今風で色あってもやさしく見やすい。話題の人物や子供の関心が高い出来事を教材にしている。
光村図書	表紙が今風で色あってもやさしく見やすい。
日本文教	表紙がイラストで親近感がわくのでいいと思いますが、ノートをつけず教科書に記入スペースを多くとってほしい。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【道徳】

発行者名	ご意見
3社とも	道徳に教科書があるのが問題。 一方的に正解と不正解で判断するのはおかしい
	編集委員会作の教材が多いと聞く。最初から結論が見えてしまうのはつまらない。
	教育の一つの型にはめた。判断をおしつけて良いものか。
	これからの子ども達には、ますます国際的にも活躍していけるように多岐に渡る幅広い考え方ができるような教育が必要だと思う。
	凝り固まった=愛国心教育は絶対におかしいと思う。
	道徳教育は考えるきっかけになる文学作品を讀ませたり、学校生活の出来事から道徳を
	考えていくのでも良いのではと思う。
	孫や一律に一方的な価値観で押し込まれていくのは大変不安を感じる。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【道徳】

発行者名	ご意見
	教科書や評価によって 徳目を押しつける様な「教科 道徳」では本当の生きる力は育たないと思います。
	ゆとりを持って、豊かな教育活動を通して互いを認め合い、社会を考える事ができる経験と積む事が大事だと
	思います。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【道徳】

発行者名	ご意見
日本文教出版	生きる力 6年 P131 「楽しい」とは... を書かずにが文中に楽しいといふ
	くどくどはいい。「楽しい」と決めつけるのは何故? 多岐達を正通な思いを導き出すことが重要と 思える
【小学社会6】	
日本文教出版	P115 子供達の考え方や感じ方を押し付け、多岐達 してると思われる

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【道徳】

発行者名	ご意見
Cricken 6年 届け！ぼくらの願い	板橋区 6年生がボールを使える遊び場を求めて、 陳情書を提出し採択された実話にもとづく優れた教材 子どもの権利条約の視点に立ち 声を上げることで決まりを
	変えることができることを示している。それだけに、 文末の「考えよう」①②が薄っぺらいことが残念。
光文 2年 ろっかをあそびた だけなのに	「きまりをまもろう気持ちよかった」と言わせているが、本来 「なぜ、なんのためにきまりがあるのか」「おかしいきまりは 変えていけなさい」と考えることが大切ではないだろうか。
光村 6年 「隣人」そして 寄りそふ	いじめを根絶するのができない、声を上げて立ち向かう、という 正しいことの一面強調は子どもを追い詰めてしまうことに つながりかねない その点「ただいっしょにいること」の大切さを語る 中川さんのコラムは貴重だ。
日本文 1～6年	編集委員会作成のものが多く、良質な教材が少ない 印象。1. 光村図書に見られるような優れた文学 作品や詩があまりない。とりわけ問題文だと思うのは 全学年に別冊ノートがあると、教科によっては読んで 少し話し合うだけのものもあるはずで毎回書かせることは 子どもにとっても負担である
あらためて道徳の 道徳によって「愛国心」を	教科化に反対。各社とも「日本のよさ」を強調し、 すりこんでいるように思われる。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【道徳】

発行者名	ご意見
光村 4斗	『国や郷土を愛する』に当たって 祭壇等にそぐ わはいむかしい項目や記述で読前より目立つ感 べし。たとえば4斗で「日本のいいなと思うところ」 という問いかけがあり が、他国と日本の比較もこの学年では無理だし、主 んていい地域の良さをみせしめ 日本の良いに ついてもよい情報や旅行の経験がありとは思われる
光文 4斗 学研 5斗	SNSにふりいじめについて 大人が知らない間のスマートフォンにより特定の人の 「ほめ」や「いじめ」が多いと云々。子どもにもぜひ 教えるべき課題であると思う。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【道徳】

発行者名	ご意見
Gakken	6年 27 大みそかの朝に 季節の行事やお祝いの日には特別な料理を作り 家族や仲間とのきずなを深めている」という文章につい
	✓ 家族形態が多様化している。日本の伝統食 を作らない家庭も増えているので現状には 合わないと思う
日本文教出版	6年 わたしのせいじやない いいめを受けてる子を見て「わたしのせいじやない」 と4人が各々の立場で言っている。自分だったら その子達に何と話しかけるか考えさせている のがすごく良いと思った。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
道徳	無理やり「国」「日本」を強調するのはいいかげんなものでしょう。 どうやってよりよいものにしていいのか、していきたいのか？
	大切にしていきたいものを発表しう等、のように態度や行動を強要するおかしなことはやめて下さい！！
教科書	全体的に こどもにとって おずかしすぎる、量が多すぎるのではないのでしょうか？
	課題や「考察」「話し合いなど」「まとめ」にいたるまで、すべて教科書に書かれているのも、いいかげんなものでしょう。教科書に書いてあることを
	なぞっていくことが、本来の学力のあり方ではないか？
	先生の説明を聞いて、教科書を読んで考える。 端末を使って自分で調べながら学ぶといったやりかたはすべきではない？ 調べたいことをあらかじめ示すことは
	親切すぎるのではないのでしょうか？ 道徳の「おしつけ」が強まっているのはいいかげんなものでしょう。
社会科	歴史認識にかかわる記述が少ないうえ、自衛隊がよく顔を出すのはいいかげんなものでしょう。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
	実際に子どもたちと一緒に教科書を使う先生たちの意見をよく聞いて下さい。
道徳の教科化	子どもたちは一人の人間として自立し 周りの人と協力はから生きていく力をつけてほしいです。 それは学校でのあらゆる教育活動を通して育ていくものです!!
	教科書や評価によって徳目を一律におしつけるのは、いかかかなものでしょう。教科としての「道徳」はやめて下さい。
社会科について	竹島問題 → 韓国、北朝鮮の「独島問題」「ミサイル問題」、中国の「尖閣諸島問題」等を取りあげてロシアとの「北方領土問題」を取り上げていますか。
	周辺国との対立を強調することはいかかかなものでしょう。 子どもたちが 平和な世界の将来を見通せる力になるかは「き」もん」です。
	今の教科書には 日本の一方向的な主張ばかりありません。
	日本の主張だけでなく、韓国、朝鮮、ロシア、中国の歴史や歴史的経緯を示す方法が、子どもたちには、これからの関係をどう「もさ」するのかを考えられる
	よいものにして下さい。 主体的な対話を深い学びにつなげるのではないだろうか。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前（ ）。

教科【 】

[illegible]

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【社会】

発行者名	ご意見
日文 東書 教出	本文にのせているところ、のせていないところがある内容の教科書は、どうなのかな？ あつた出来事を削除しないでのせて欲しい！ (朝鮮半島に711と)
保健6年 から	差別平等、LGBTQなどの性の多様性について取り上げているところは、とても良いと思いました。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
社会	社会の歴史については、史実をきちんと伝えてほしい（わが国の主張だけでなく、外国からどう思われているかも含めて。）
	QRコードがよく出てくるが、タブレットを使っている情報はすぐ調べられて便利な反面、情報が多すぎて判断に困らないか。
	辞書などの利用も含め、じっくり考えるやり方や時間も必要では？
英語	小学校で習う英語としては難しい気がする。中学に進学した時、すでに英語嫌いになっている生徒も増えるのではないかな。
道徳	教科としての「道徳」はやめてほしい
	学習することが多い方が、勉強が嫌いにならない様に

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【英語】

発行者名	ご意見
	話す・書く、全般的にわたって、しっかりした教科書で、小学生にとっては負担になる
	のではないのでしょうか。 小学生から英語への苦手意識がでるのではないのでしょうか？
	幼児への早期教育に拍車がかかるだけで、生きた英語になるのか疑問です。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 算数 】

発行者名	ご意見
各社 にて	各社にも本格的なものと 感じました。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
おんかく 「おんかく」について	日本の国がずっとながいあいた"さかえて なげ 国がへいわがつづくことをねがううたです。 こんなうそを小学1年生におしえていいのですか？
英語について	教科書がむづかしいです。 「英語きらい」から「落ち=ほれ」のこともかてめいではないか心配です。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
	英語の教科書により、これまで中学から学習していた内容を下へおろしてただけの様に思う。実際に塾などで学習できる子供とそうでない子供との分断があると思う。 小学生には、まず興味を持つ様な事から、おまが会話に興味を持つ様にしてほしいと思う。
	道徳は、そもそも教科書にすべきではないと思っている。 話し合う場を持つ様な学校であってほしい。
	全体としてではなく、個人を大切にする、それぞれのおり方が大切だという事を認め合える様な社会をめざせる子供を育ててほしいと思う。 ＬＧＢＴＱにも通じる事である。 に対する問題
	QRコードは使い方が少し難い子と思う。 子供たちの負担になってしまう。
	現在の有名人たちに記事が頼りすぎ。 例、藤井そうた、他のアスリートなど。 内容が軽薄になるのでは？

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【国語】

発行者名	ご意見
全訂版	英語について、5年からは教えるが 早いのではないかと、先生が少なすぎるのでは

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
教育出版 東京書籍 いすゞ出版	全体に良いとか、悪いとの判断がつかない 文書に遅延あり
東京書籍	ダメ 1年の18
日本出版 (5年)	読者の指摘が素直に人々を悲し ませる。
Gakken	グループに入れない子 抱きかかると

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
※	私達から見ると、カラーで昔の教科書と違って見ただけで 楽しめそうですか、厚みがあって重たくて、ランドセルだ けでも重くて大変そうで、何とかならないか、と思いま す。
※	今回からQRコードがたくさんついてきているので、資 料はもつとQRコードで見れるようにして、教科書を 薄くできたらいいかな、と思います。(今回は無理だ けど) 保護者にもQRコードがついていることを
※	知らせる必要があるので、子どもがどんなことを 調べているのかわかるように。
※	私達から見ても、全部の1~6年までの資料をこの 短時間で理解できないので、実際に使用して授業 をしている先生方にじっくり見てもらえり期間をとり 意見をうかがってほしい、 選定委員の人だけの 決定ではなくて、

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【全体】

発行者名	ご意見
全体的に	デジタル活用が増えているからか、教科書にQRコードが数多くみられ、簡単に情報が得られている様子を、反面、「子どもの学び」という面から見れば、
	はたしていいものなのではないでしょうか。
	すぐに結論が得られる事よりも、辞書や辞典を調べたり、図書館で調べたり、多様な資料を用いて学んでいく力を育てていく事こそが大事だと思う。その過程を大事にしてほしいと思います。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
	今回の教科書にはQRコードが載っているが、授業中はタブレットで見られるの
	でしようが、帰宅後はスマホで？ レザレ無い子供は？
	QRコードを取り入れるから、教科書の 内容を薄くでき、通学時の重さを軽減に
	するのですね、いいでしょう？
	教科書の採択は、数人の教育委員のみ です、子供と一緒に教科書を使う
	教職員や保護者、市民の声にもとづいて 行う方がよいと思います。
	子供が、興味を引く様な見出しの 画質で、私達の頃とは違い工夫
	されていて良いです!!

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
	全体としては、子どもにとって難しすぎると思うし、見れば多すぎるのではなか。
	デジタル授業が多くあれば、学習態度が受け身になりやすくなるのではなかとい心配です。子ども自ら学ぶことが大切だと思います。
	辞書を使って調べ学習、考える機会がさらに増えてほしい。 図書館で調べたり、年間の思考につながる。
	歴史は、事実に基づいて、本来の事を書くべきです。 と思ひます。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
教育出版	歴史の中で特に太平洋戦争の記述で日本の加害責任 もついで載せられおぼしに、もっと詳しく記述してほしいと思 まにいか。そうすると難読化するのでは？ 個人の尊厳や 暴力では解決できない事を強張してもいいのでは はないか？
QRコードの載	せられおぼしに、読み取る手段のない人々 と と有る人との 分断になりかねないのではないのでしょうか？
教科書採択	は数人の教育委員(だけ)でなく、現場の教職員や 市民の声にもとづいて行ってほしい。
文字より図表	や絵の部分が多いように思う。想像力の低下に ならないか？ そのため教科書のページ数や重さにつな がるのでははないかと。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【全体】

発行者名	ご意見
	書籍(本)の量が多いのには驚きました。子どもにとっては大変難しいような様な気がします。
	教科書も大変だと思ったり。 「英語」「イェス」「ノー」の答えを求めるだけでなく、ちゃんと立ち止まって考える事があっていいと思ったり。
	政府(国)の意見(見解)だけを述べているところがあるのか。子どもたちにも考えるように育ていくことも大切ですね。
	教科書を選ぶのは、先生たちのご意見をきいてほしいです。
	英語の教科書は5年から学ぶようですが、大変子どもにとっては難しいと思います。昔いようですか。私としては、中学1年から英語がはじまりました。
	「英語」は女子になれば「楽しい」と思ったりか。楽しくなる様に教えてほしいです。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
	教科書の大きさ、重さ考へただけで学校へ行きにくくなるのではないかと思います。教育委員の方達も、身長130cm程の低学年が何キロの重量を毎日持ち歩いているか経験した事はあるのでしょうか？
東京書籍	6年生、厂災編、最後の方に東日本大震災の記述があるが、福島原発事故については一言もふれていない。これこそ今後またまた被害を苦める元ではないんでしょいかい
	教科の種類が多すぎと思います。教科に副読本らしきものや、国語と書写も2冊113ページでしょいか。説明や絵、写真などが多すぎ、今の子供の創造力がなくなってしまう。
	タブレット1人1台の社会になって、自分の力で調べ、考えるなどの時間がとれているのでしょうか。ボタンひとつで何でも解決と思っでは何の力もつきません

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
	全体的に授業時間と学習内容が×やクチャ多いてす。詰め込みすぎはよくない。いりいり1人1人意見が言えるよう授業すすめてほしい。受身の子を多くつくらないでほしい。
	今の時代なのでスマホ、ネットがあたり前の世の中なのに辞書や本、図書館などで調べることが大事だと思いつつQRコードがところどころ出てきますが簡単に答えが出てあけない。
東京書籍	3年4年～6年 QRコードがページをめくることに出てくる。
日文6年	団地と子犬、子ども達が目の見えない犬犬を育てたいか、規則はダメだけど、自治会に相談し、子ども達の意見とあっていて
	規則を改正し、目の見えない犬犬も飼えることになった話はすごくいい話だと思う。復活させてほしい。
	。関東大震災のは、朝鮮人が井戸に毒を入れたなどというわけが広がり、多くの朝鮮人が被害にあったという部分や南京大虐殺は日本人がしたことであって消え去ることのできない事実です。加害の責任を歴史の事実にもとづいて子どもたちに伝えるべきです。
	。実際の授業では教科書だけでなく、先生方が工夫に補助教材など工夫して、子どもたちにもわかりやすく教えてほしいと思います。

○ご自由にご意見をお書きください

令和6年度使用小学校教科用図書に関するご意見

お名前 ()

教科【 】

発行者名	ご意見
	教科用図書を一冊一冊でいいに読んでいるわけではありませんが、各教科書会社が工夫して作られている箇所があるものだと思います。昨今、子ども
	たちの基礎学力の低下や、できる環境にある子もできるし、家庭的にしんどい子はフォローできてないという話をよく聞きます。親切でいいに作られている教科書の内容を理解できないまま学年が上がることは子どもにとって辛いでしょう。さらに学ぶ量も多く、日々新しいことを学んでいかないとこなしていけない内容だと思います。計算、漢字、音読など反復する時間があれば、家庭でなく授業中にあればと思います。今や無理なのでしょう。
	教師の命である授業研究の時間からとれない多忙さや、教育の質に影響するでしょう。インターネットを使う授業も準備にたくさん時間がかかるでしょう。
	QRコードも多く見つけられました。授業の広がりも学びも多くあるのでしょうが、本当に必要にしていく子どもたちから使い
	のかい西已でもあります。子どもたちから友達を好きになって学びのある学校を好きになって自分と大好きになってくれることを願っています。
	自由に思うことを喜ばせてもらいました。(スミマセン)教科書は重いですね。

○ご自由にご意見をお書きください



小学校教科書採択方式に関する要請書

平素より、子どもたちの健やかな成長発達を保障する、教育条件の整備にご尽力されていることに敬意を表します。

今年は、小学校の教科書採択が行われます。また、2018年度から使われている道徳の教科書が3回目の検定を受け、採択に付されます。

教科書採択については、現行制度では「教育委員会が教科書を採択する」ことになっていますが、子どもたちによりよい教科書を手渡すためには、毎日、子どもたちと一緒に教科書を使って授業をすすめ、子どもたちが理解する道筋や、つまずきやすい内容・場面などを熟知している教員の意見を十分にくみとった上で採択が行われることが不可欠ではないでしょうか。

日本政府も批准している「ILO・ユネスコ「教員の地位に関する勧告」は、「教員は、児童・生徒に最も適した教材および方法を判断するために格別の資格を認められたものであるから、承認された計画の枠内で、教育当局の援助を受けて教材の選択と採用、教科書の選択、教育方法の適用について不可欠な役割を与えられるべきである」と述べています。主権者である保護者や地域住民の声も、十分に反映される必要があります。

以上の観点から、来年度の教科書採択にあたり、教員および保護者・地域住民の声を十分に反映した教科書採択が行われるよう、次のように要請します。

(要請項目)

1. すべての教科書採択手順を公開して市民に開かれた採択を行ってください。
2. 教科書の調査研究にあたり、一部の教員を調査委員にするだけでなく、各学校の教員の意見も集約し、採択のための正式な資料として位置付けてください。
3. 教科書展示会でのアンケートも採択の場で広く取り上げ、議論してください。
4. より多くの保護者、地域みなさんが教科書展示会に出向いて意見を出せるよう
(1) 多くの市民が気軽に立ち寄れるよう、また、十分な閲覧スペースが取れるよう、駅近くの公共スペースを活用するとともに、勤労者が仕事帰りに行けるよう、平日の終了時刻を延長するなど多くの市民が参加できるよう工夫してください。
(2) 文部科学省の「教科書採択の状況に係る調査結果」でも例示しているように、見本本を各学校に巡回させることで、各学校の教員が調査研究を行うとともに、各学校の保護者・地域住民も見本本を手にする機会を確保してください。
(3) 教科書展示会においてコピーを取れるように、または写真撮影ができるようにしてください。
(4) 市の広報やHPでの案内だけではなく、小中学校の学校だよりやHPにも掲載するなど広く市民・保護者への周知を図ってください。
5. 採択に関わる教育委員会会議を公開し、傍聴できるようにするとともに、会議終了後遅滞なく採択結果と採択理由を公表してください。

以上

2023年 5月16日

団体名 河内長野教育を考える会

